



志高考動。

令和6年度 消防大学校救助科第89期

企画総合訓練

令和6年10月2日(水)～3日(木)



目次

1	企画総合訓練実施計画	1
2	別紙1-1 企画総合訓練場案内図	6
3	別紙1-2 10月2日各訓練実施場所及び参観・見学者動線	7
4	別紙1-3 10月3日各訓練実施場所及び参観・見学者動線	8
5	別紙2 企画総合訓練時系列及び担当割振	9
6	別紙3 開会式・閉会式整列隊形図	11
7	別紙4 開会式・閉会式 式次第	12
8	別紙5-1 開会式 進行表	13
9	別紙5-2 閉会式 進行表	15
10	別紙6 訓練検討会実施隊形図	18
11	別紙7 企画総合訓練担当表	19
12	別紙8 ビブス色別役割一覧	20
13	別紙9 企画総合訓練統一事項	21
14	別紙10 企画総合訓練 検証シート	23
15	別紙11 企画総合訓練 安全管理シート	24
16	別紙12 企画総合訓練 実施結果報告書	26
17	訓練実施要領（訓練実施順）	
	===== 【1日目】 =====	
(1)	6班（低所救助想定訓練）	29
(2)	1班（火災救助想定訓練）	39
(3)	3班（交通救助想定訓練）	53
(4)	2班（高所救助想定訓練）	63
	===== 【2日目】 =====	
(5)	4班（低所救助想定訓練）	77
(6)	5班（火災救助想定訓練）	88
(7)	7班（交通救助想定訓練）	98
(8)	8班（高所救助想定訓練）	108

企画総合訓練実施計画

1 目的

この訓練は、消防大学校救助科第89期で学んだ高度な知識、技術を最大限に発揮させるため、学生相互を認め合い連携強化を図る。また、48名で企画を行うことにより訓練企画力及び安全管理能力、検証力の更なる向上を図り、併せて隊員教育のための指導能力を向上させることを目的とする。

2 訓練日時

- (1) 令和6年10月2日（水）9時00分から17時00分
- (2) 令和6年10月3日（木）9時00分から17時00分

※教育支援隊及び支援教官は両日とも8時30分までに第2本館南側テントまで、お越しください。

当日、消防大学校敷地内で誘導員（学生）を配置しております。

※駐車場所は別紙1「企画総合訓練場案内図」をご覧ください

3 訓練場所

東京都調布市深大寺東町四丁目35番3号
消防大学校 屋外訓練場及び各訓練施設

4 訓練重点項目

- (1) 訓練の企画及び立案
- (2) 訓練計画書等の資料作成要領
- (3) 安全管理体制の確立
- (4) 評価能力の向上

5 実施内容

- (1) 火災救助想定訓練
- (2) 高所救助想定訓練
- (3) 低所救助想定訓練
- (4) 交通救助想定訓練

6 安全管理体制

- (1) 訓練統括責任者 貴志教授
- (2) 安全主任者 救助科担当教官
- (3) 安全管理員 救助科第89期学生

※安全管理員の配置等は、各学生企画訓練実施要領に詳細を定めるものとする。

7 訓練時系列

別紙2「企画総合訓練時系列」のとおりとする。

8 支援教官

- (1) 支援教官は、各種救助想定訓練を検証し、別紙10「企画総合訓練検証シート」に必要事項を記載する。これらを検討会の際に、(3)「支援教官一覧」で定める検証主担当として指定された支援教官が、総括的な意見を発表する。

※5名で訓練を査閲いただき、検証担当者が取りまとめのうえ、検討会でご意見をお聞かせください。

※査閲場所については指定しておりませんので、訓練進行の妨げのない位置でお願いいたします。

- (2) 服装等

ア 開会式及び閉会式（以下開会式等）

保安帽（緑）、救助服、皮手袋、編上靴

イ 訓練中

保安帽（緑）、救助服、フルボディーハーネス、皮手袋、編上靴、ビブス、警笛
トランシーバー、その他安全管理に必要な装備

※ 下線の入ったものについては消防大学校で準備し当日お渡しいたします。

- (3) 支援教官一覧

都道府県	所属名	氏名	検証主担当	
			2日	3日
神奈川県	川崎市消防局	船山光一郎	高所救助想定訓練	交通救助想定訓練
愛知県	愛知県消防学校	中林紀太	低所救助想定訓練	高所救助想定訓練
兵庫県	姫路市消防局	田中慎一	交通救助想定訓練	火災救助想定訓練
福岡県	北九州市消防局	長野圭多	火災救助想定訓練	高所救助想定訓練
長崎県	長崎市消防局	岩男陽太	高所救助想定訓練	低所救助想定訓練

9 教育支援隊

(1) 教育支援隊は、各種救助想定訓練に基づく訓練展示を実施するとともに、事前に送付された企画総合訓練実施要領（以下「実施要領」という。）により訓練を確認し、学生実施班の実施する訓練をもとに、別紙10「企画総合訓練検証シート」に必要事項を記載し、検討会の際に、総括的な意見を発表する。

(2) 服装等

ア 開会式等

保安帽、救助服、皮手袋、編上靴

イ 訓練中

保安帽、救助服、フルボディハーネス、皮手袋、編上靴、ビブス、警笛、トランシーバー、その他安全管理に必要な装備

※想定に応じて防火衣等、必要装備をご準備ください。

※下線の入ったものについては消防大学校で準備し当日お渡しいたします。

(3) 教育支援隊訓練内容（表の上から当日の実施順となります。）

ア 10月2日（水）

都道府県	所属名	想定訓練
岡山県	岡山市消防局	火災救助想定訓練
兵庫県	神戸市消防局	高所救助想定訓練
静岡県	静岡市消防局	低所救助想定訓練
神奈川県	川崎市消防局	交通救助想定訓練

イ 10月3日（木）

都道府県	所属名	想定訓練
埼玉県	川口市消防局	火災救助想定訓練
茨城県	つくば市消防本部	高所救助想定訓練
神奈川県	横浜市消防局	低所救助想定訓練
東京都	東京消防庁	交通救助想定訓練

10 学生

(1) 班編成及び役割

ア 企画班

- ・担当想定に基づき実施要領を作成し、実施班への内容説明を行うとともに、当該訓練に必要な内容について各担当者と調整を行う。また、自班が企画した訓練の進行に関すること（訓練統制、現示、訓練時の時間管理等）及び検討会での司会進行についても担当する。

イ 実施班

- ・訓練実施に必要な事項を企画班と協議し、訓練を実施する。

ウ 安全管理班

- ・指定された安全管理員は、安全管理主任者の管理下に入り訓練の安全管理に従事する。訓練開始前（事前を含む。）までに危険箇所等の共有を図るためブリーフィングを実施すること。なお、訓練車両進入時の動線確保についても配慮すること。
- ・訓練終了後、別紙11「企画総合訓練安全管理シート」に必要事項を記載し、企画総合訓練担当者に提出すること。

エ 検証班

- ・検証班は、別紙10「企画総合訓練検証シート」に必要事項を記載し、企画総合訓練担当者へ提出すること。

オ 訓練補助班

- ・企画総合訓練に伴う各種訓練補助等を実施する。

カ その他

- ・自班に任務指定がない場合は、見取り訓練とする。
- ・なお、見取り場所は別添の実施要領に記載された場所とする。
- ・資機材準備及び撤収については学生（安全管理班を除く。）相互に協力し速やかに行うこと。
- ・学生は企画総合訓練全日程終了後、別紙12「企画総合訓練実施結果報告書」を作成し企画リーダーへ提出すること。

(2) 服装等

開会式等は保安帽、救助服、皮手袋、編上靴とし、訓練時は各訓練想定内容に応じた服装とする。その他は企画総合訓練担当者及び企画総合訓練各班担当者より別途指示する。

1.1 使用資機材

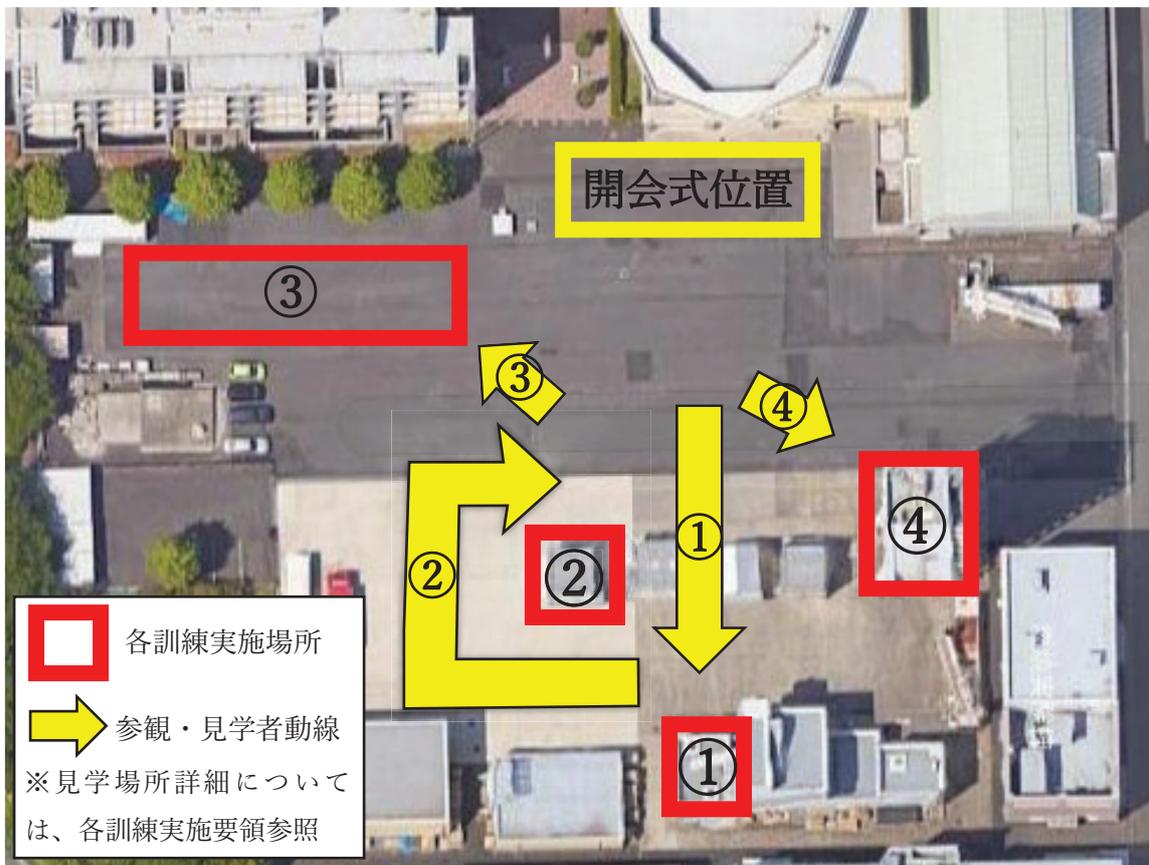
各訓練で使用する資機材は、別添の「実施要領」に記載のとおり。

1.2 その他

- (1) 学生企画訓練の代表者等は、別紙7「企画総合訓練担当表」に記載する。
- (2) 学生企画訓練中は、規律のある行動をして、部隊での移動時は駆け足とする。
- (3) 教育支援隊の訓練場への進入路及び車両待機位置は、別紙1「企画総合訓練場案内図」のとおりとする。
- (4) 教育支援隊、支援教官の誘導及び車両配置等は企画班が行うこと。
- (5) 学生企画訓練中の休憩について、休憩時間を設けているが、適宜水分補給を行い、熱中症対策を各自で行うこと。なお、飲料水は、体育部員が用意をすること
- (6) 学生企画訓練において、別紙8「ビブス色別役割一覧」のとおり、各役割に応じてビブスを着用し、訓練を実施すること。
- (7) 救護所は、第2本館車庫に設置する。(AED及び救急ボックスを準備する。)
- (8) 訓練等に関する統一事項については別紙9「統一事項」のとおりとする。
- (9) 雨天時の開会式等は屋内訓練場で実施する。訓練については計画のとおりとする。雨天時等の訓練の中止については担当教官と協議し、早期に決定する。
- (10) 訓練見学者等の導線については別紙1-2、1-3「訓練場所及び見学者動線」、別紙6「訓練検討会実施隊形図」のとおりとする。また、訓練見学エリアは別添「実施要領」に記載のとおりとする。高所での見学ではヘルメットの着用を必須とする。なお、訓練見学エリアには上部活動を撮影した映像（ドローン映像等）を投影するモニターを設置する。

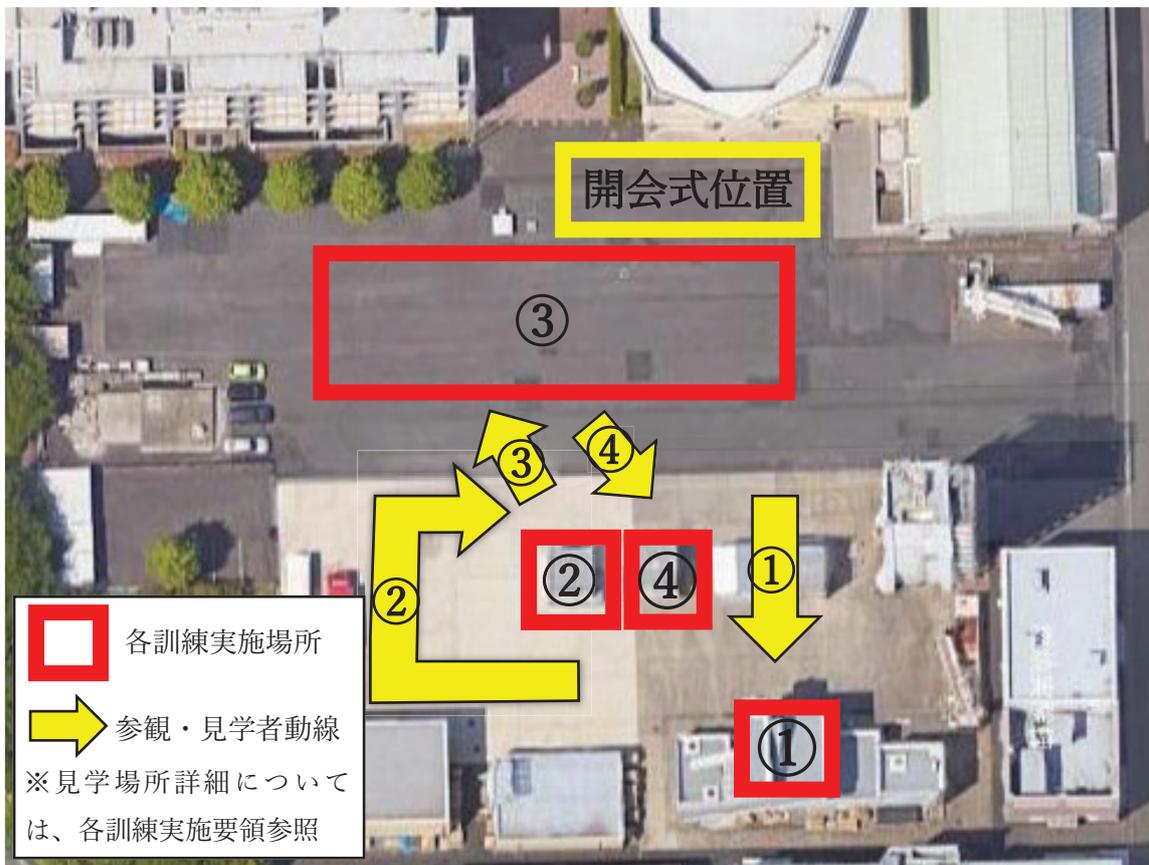


10月2日 各訓練実施場所及び参観・見学者動線



番号	訓練種目	訓練開始時刻	実施班	教育支援隊
①	低所救助訓練	9 : 3 0	8 班	静岡市消防局
②	火災救助訓練	1 0 : 5 0	7 班	岡山市消防局
③	交通救助訓練	1 3 : 3 5	6 班	川崎市消防局
④	高所救助訓練	1 4 : 5 5	4 班	神戸市消防局

10月3日 各訓練実施場所及び参観・見学者動線



番号	訓練種目	訓練開始時刻	実施班	教育支援隊
①	低所救助訓練	9 : 3 0	1 班	横浜市消防局
②	火災救助訓練	1 0 : 5 0	3 班	川口市消防局
③	交通救助訓練	1 3 : 3 5	2 班	東京消防庁
④	高所救助訓練	1 4 : 5 5	5 班	つくば市消防本部

企画総合訓練時系列及び担当割り当て(10月2日)

別紙2

訓練内容 詳細内容	時間	企画班	訓練実施班	安全管理班	訓練補助班	検証班	検証主担当 (支援教官)	
			教育支援隊					
開会式準備	8:30-9:00	30						
開会式	9:00-9:20	20						
車両及び資機材準備	9:20-9:25	5						
低所救助	9:25-10:40	75						
準備	9:25-9:30	5	6班	8班	3班	5班	2班	愛知県 中林教官
訓練	9:30-9:50	20						
撤収及び準備	9:50-10:00	10		静岡市消防局				
訓練	10:00-10:20	20						
撤収	10:20-10:25	5						
検討	10:25-10:40	15						
車両及び資機材準備	10:40-10:45	5						
火災救助	10:45-12:00	75						
準備	10:45-10:50	5	1班	7班	2班	4班	5班	福岡県 長野教官
訓練	10:50-11:10	20						
撤収及び準備	11:10-11:20	10		岡山市消防局				
訓練	11:20-11:40	20						
撤収	11:40-11:45	5						
検討	11:45-12:00	15						
昼休憩	12:00-13:00	60						
車両及び資機材準備	13:00-13:30	30						
交通救助	13:30-14:45	75						
準備	13:30-13:35	5	3班	6班	5班	8班	1班	兵庫県 田中教官
訓練	13:35-13:55	20						
撤収及び準備	13:55-14:05	10		川崎市消防局				
訓練	14:05-14:25	20						
撤収	14:25-14:30	5						
検討	14:30-14:45	15						
車両及び資機材準備	14:45-14:50	5						
高所救助	14:50-16:05	75						
準備	14:50-14:55	5	2班	4班	1班	7班	3班	神奈川県 船山教官 長崎県 岩男教官
訓練	14:55-15:15	20						
撤収及び準備	15:15-15:25	10		神戸市消防局				
訓練	15:25-15:45	20						
撤収	15:45-15:50	5						
検討	15:50-16:05	15						
閉会式準備	16:05-16:15	10						
閉会式	16:15-16:30	15						

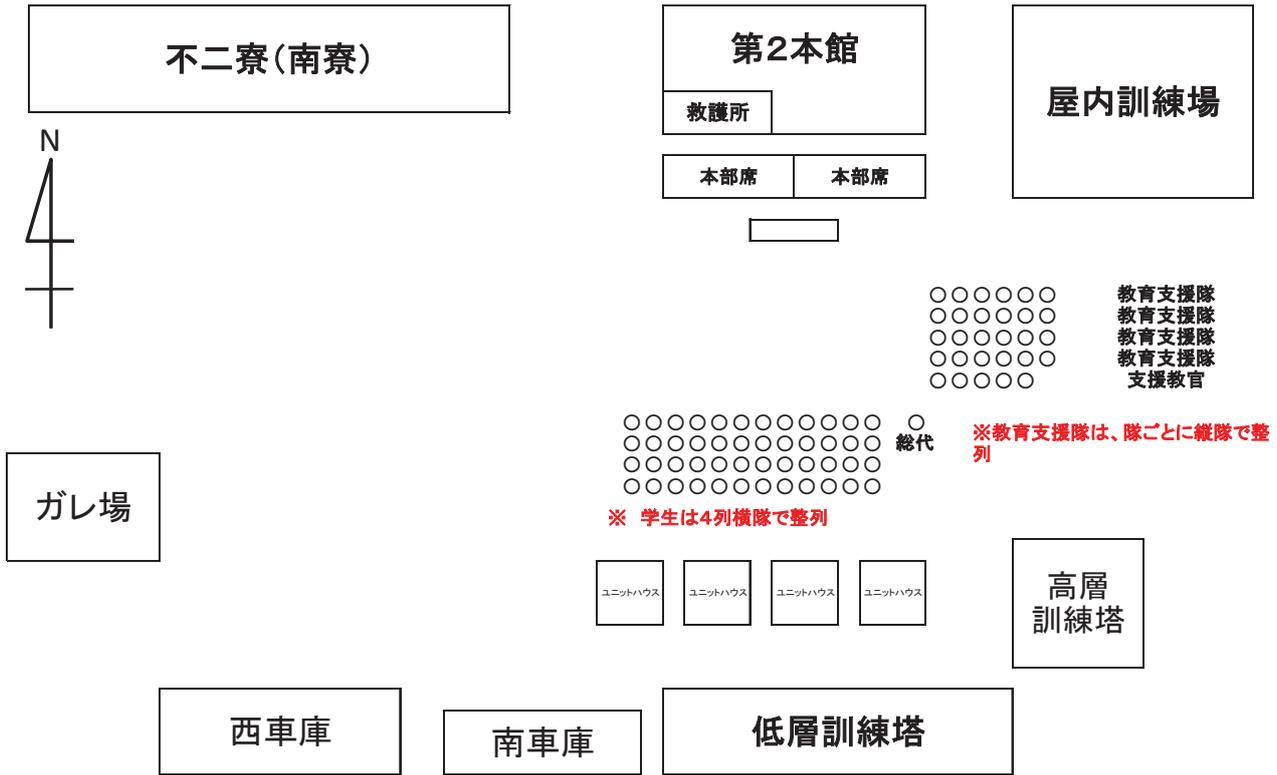
企画総合訓練時系列及び担当割振(10月3日)

別紙2

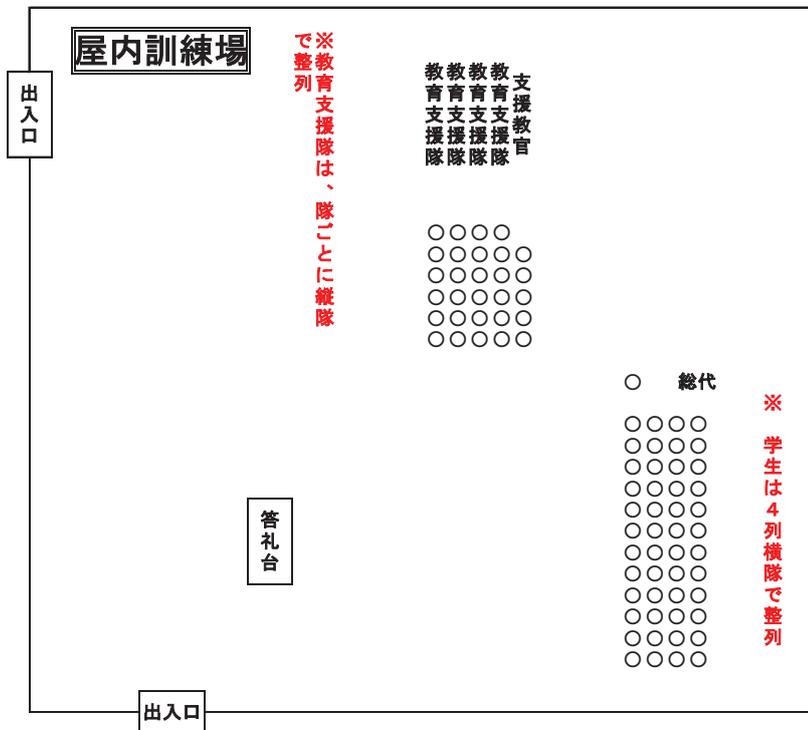
訓練内容 詳細内容	時間	企画班	訓練実施班	安全管理班	訓練補助班	検証班	検証主担当 (支援教官)	
			教育支援隊					
開会式準備	8:30-9:00	30						
開会式	9:00-9:20	20						
車両及び資機材準備	9:20-9:25	5						
低所救助	9:25-10:40	75						
準備	9:25-9:30	5	4班	1班	7班	2班	8班	長崎県 岩男教官
訓練	9:30-9:50	20						
撤収及び準備	9:50-10:00	10		横浜市消防局				
訓練	10:00-10:20	20						
撤収	10:20-10:25	5						
検討	10:25-10:40	15						
車両及び資機材準備	10:40-10:45	5						
火災救助	10:45-12:00	75						
準備	10:45-10:50	5	5班	3班	8班	6班	7班	兵庫県 田中教官
訓練	10:50-11:10	20						
撤収及び準備	11:10-11:20	10		川口市消防局				
訓練	11:20-11:40	20						
撤収	11:40-11:45	5						
検討	11:45-12:00	15						
昼休憩	12:00-13:00	60						
車両及び資機材準備	13:00-13:30	30						
交通救助	13:30-14:45	75						
準備	13:30-13:35	5	7班	2班	6班	1班	4班	神奈川県 船山教官
訓練	13:35-13:55	20						
撤収及び準備	13:55-14:05	10		東京消防庁				
訓練	14:05-14:25	20						
撤収	14:25-14:30	5						
検討	14:30-14:45	15						
車両及び資機材準備	14:45-14:50	5						
高所救助	14:50-16:05	75						
準備	14:50-14:55	5	8班	5班	4班	3班	6班	愛知県 中林教官 福岡県 長野教官
訓練	14:55-15:15	20						
撤収及び準備	15:15-15:25	10		つくば市消防本部				
訓練	15:25-15:45	20						
撤収	15:45-15:50	5						
検討	15:50-16:05	15						
閉会式準備	16:05-16:15	10						
閉会式	16:15-16:30	15						

開会式・閉会式整列隊形図

別紙3



【雨天時】開会式・閉会式整列隊形図



開会式・閉会式 式次第

1 開会式

- (1) 訓練開始報告：総代 外池 学
- (2) 訓練統括訓示：貴志教授
- (3) 教育支援隊紹介

10月2日(水)	静岡市消防局	岡山市消防局	川崎市消防局	神戸市消防局
10月3日(木)	横浜市消防局	川口市消防局	東京消防庁	つくば市消防本部

- (4) 支援教官紹介

所属名	氏名
川崎市消防局	船山 光一郎
愛知県消防学校	中林 紀太
姫路市消防局	田中 慎一
北九州市消防局	長野 圭多
長崎市消防局	岩男 陽太

- (5) 閉会

2 閉会式

- (1) 訓練終了報告：総代 外池 学
- (2) 訓練統括講評：貴志教授
- (3) 訓練講評（教育支援隊）

10月2日(水)	静岡市消防局	岡山市消防局	川崎市消防局	神戸市消防局
10月3日(木)	横浜市消防局	川口市消防局	東京消防庁	つくば市消防本部

- (4) 訓練講評（支援教官）
- (5) 閉会
- (6) 写真撮影

開会式 進行表

⑧：教育支援隊 ○：担当以外の動き ●：担当の動き

担当	動き	進行内容
進行	○貴志教授登壇	「ただ今から、救助科第89期企画総合訓練1（2）日目の開会式を行います」 「訓練開始報告」 「貴志教授ご登壇願います」
総代	○教授移動開始後	「気をつけ」
	●右翼位置にて	「貴志教授にかしら中」「なおれ」
	●中央へ駆け足にて移動 ●右翼位置へ移動	「救助科第89期、ただ今から企画総合訓練を開始します」
進行		「引き続き貴志教授、訓示をお願いいたします」
総代	○教授訓示	（※指示があれば）「整列、休め」
	○教授訓示終了後	「気をつけ」「貴志教授にかしら中、なおれ」
進行		「貴志教授、元の位置へお戻りください」
総代	○教授降壇着席後	「整列、休め」
進行		「続きまして、本日の教育支援隊をご紹介します」 ※消防本部毎、前に誘導し隊長が代表敬礼を行ってもらう。 「〇〇消防局 〇〇隊長以下〇名です。〇〇消防局は前へ願います」 10月2日 ① 静岡市消防局 佐々木 龍風 隊長以下5名です ② 岡山市消防局 中村 望 隊長以下6名です ③ 川崎市消防局 松山 馨太 隊長以下6名です ④ 神戸市消防局 山本 大二郎 隊長以下6名です 10月3日 ① 横浜市消防局 寺村 尚悟 隊長以下6名です ② 川口市消防局 佐藤 恭平 隊長以下6名です ③ 東京消防庁 戸田 大樹 隊長以下6名です ④ つくば市消防本部 雨貝 孝樹 隊長以下6名です

総代	○ 教 移動開始後	「気をつけ」
	○ 教 中央移動後 ※ 教 指揮者のみ答礼	「教育支援隊にかしら中、なおれ」
	○ 教 隊長の挨拶後 「以上」を受け	「よろしく申し上げます」 「教育支援隊にかしら中、なおれ」 ※以後、繰り返す

総代	○ 教 が元の位置へ	「整列、休め」
進行		「続きまして、支援教官をご紹介します。」
総代	○代表者の指揮により、中央へ駆け足移動	
	○ 教 移動開始後	「気をつけ」
	○ 教 中央移動後 ※ 教 代表者のみ答礼	「支援教官にかしら中、なおれ」
		(下記名前順にひとことご挨拶いただく) ① 神奈川県 川崎市消防局 船山 光一郎 様 ② 愛知県 愛知県消防学校 中林 紀太 様 ③ 兵庫県 姫路市消防局 田中 慎一 様 ④ 福岡県 北九州市消防局 長野 圭多 様 ⑤ 長崎県 長崎市消防局 岩男 陽太 様
総代	○ 教 5名紹介後	「支援教官にかしら中、なおれ」
	○ 教 移動後	「整列、休め」
進行		「以上で、開会式を終了いたします。教育支援隊及び支援教官は各指揮者の指示により解散してください」
総代	○ 教 の解散後	「気をつけ」 「そのまま右向け右」 「目標南車庫前、かけ足進め」

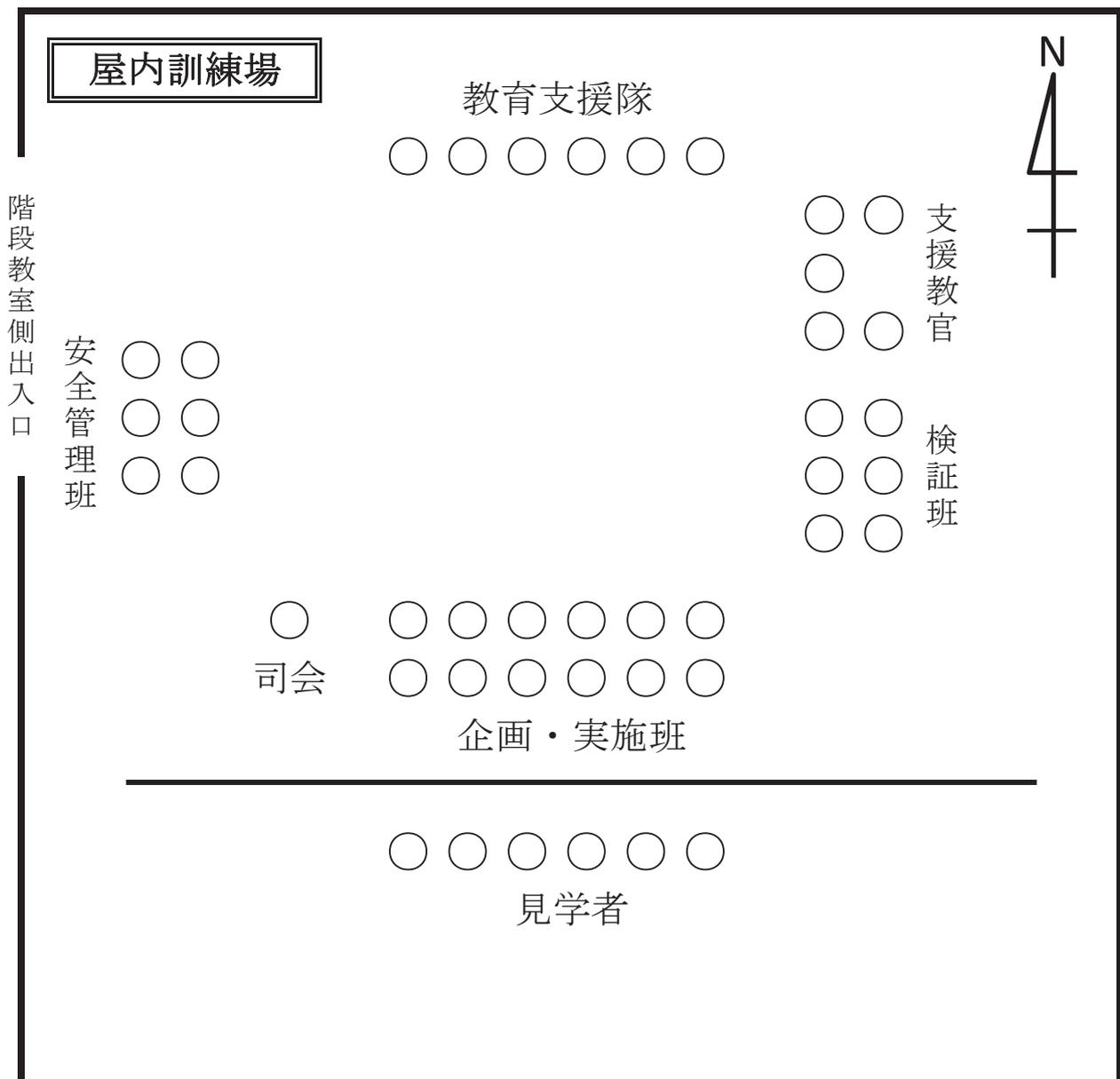
閉会式 進行表

担当	動き	進行内容		
進行	○貴志教授登壇	「ただ今から、救助科第89期企画総合訓練1(2)日目の閉会式を行います」 「訓練終了報告」 「貴志教授ご登壇願います」		
総代	○教授移動開始後	「気をつけ」		
	●右翼位置にて	「貴志教授にかしら中」「なおれ」		
	●中央へ駆け足にて移動	「救助科第89期企画総合訓練を終了しました」		
	●右翼位置へ移動			
進行		「引き続き貴志教授、閉会にあたり講評をお願いいたします」		
総代	○教授訓示	(※指示があれば)「整列、休め」		
	○教授訓示終了後	「気をつけ」 「貴志教授にかしら中、なおれ」		
進行		「貴志教授、元の位置へお戻りください」		
総代	○教授降壇着席後	「整列、休め」		
進行		「ここで本日の教育支援隊から講評を頂きます」 「〇〇消防局の皆様よろしく願いたします」 ※消防本部ごと講評を順次受ける <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 10月2日(水) 1 静岡市消防局 2 岡山市消防局 3 川崎市消防局 4 神戸市消防局 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 10月3日(木) 1 横浜市消防局 2 川口市消防局 3 東京消防庁 4 つくば市消防本部 </td> </tr> </table>	10月2日(水) 1 静岡市消防局 2 岡山市消防局 3 川崎市消防局 4 神戸市消防局	10月3日(木) 1 横浜市消防局 2 川口市消防局 3 東京消防庁 4 つくば市消防本部
10月2日(水) 1 静岡市消防局 2 岡山市消防局 3 川崎市消防局 4 神戸市消防局	10月3日(木) 1 横浜市消防局 2 川口市消防局 3 東京消防庁 4 つくば市消防本部			

総代	○ 教 移動開始後	「気をつけ」
	○ 教 中央移動後 ※ 教 指揮者のみ答礼	「教育支援隊にかしら中、なおれ」
	○ 教 隊長の挨拶後 「以上」により	「教育支援隊にかしら中、なおれ」 ※以後、繰り返す
進行		「ありがとうございました。〇〇消防局の皆様、元の位置へお戻りください」 「続きまして、〇〇消防局の皆様よろしくお願いたします」 「教育支援隊の皆様 ありがとうございました。」
総代	○ 教 移動後	「整列、休め」
進行		「続いて、支援教官の皆様から講評をいただきます。よろしくお願いたします。」
総代	○代表者の指揮により、中央へ駆け足移動	
	○ 教 移動開始後	「気をつけ」
	○ 教 中央移動後 ※ 教 代表者のみ答礼	「支援教官にかしら中、なおれ」
		(下記名前順にひとことご挨拶いただく) ① 神奈川県 川崎市消防局 船山 光一郎 様 ② 愛知県 愛知県消防学校 中林 紀太 様 ③ 兵庫県 姫路市消防局 田中 慎一 様 ④ 福岡県 北九州市消防局 長野 圭多 様 ⑤ 長崎県 長崎市消防局 岩男 陽太 様
総代	○ 教 5名挨拶後	「支援教官にかしら中、なおれ」

総代	○ 教 移動後	「整列、休め」
進行		「以上で、閉会式を終了いたします。大変お疲れさまでした。」 「この後、全体で集合写真を撮影いたします。各指揮者の指示により解散後、案内者が誘導いたしますので、撮影の移動をお願いいたします」
総代	○ 教 の解散後	「気をつけ」「わかれ」

訓練検討会実施隊形図



企画総合訓練担当表

1 企画総合訓練代表者

リーダー	(1班) 本間 健児	
副リーダー	(5班) 相澤 優、(7班) 芳賀 将志	
各班代表者	(1班) 宮下 智彦	(2班) 平田 光
	(3班) 福島 大輔	(4班) 高橋 秀次
	(5班) 村尾 修央	(6班) 宮下 英規
	(7班) 多田 裕貴	(8班) 海老原 誠

2 教育支援隊案内役

	教育支援隊	案内担当者
10月2日(水)	静岡市消防局	(6班) 弘中 孝太
	岡山市消防局	(1班) 小林 勇司
	川崎市消防局	(3班) 佐原 通祐
	神戸市消防局	(2班) 川谷 敏史
10月3日(木)	横浜市消防局	(4班) 戸口 温雄
	川口市消防局	(5班) 坂本 豊
	東京消防庁	(7班) 萩田 晃士
	つくば市消防本部	(8班) 茂刈 正樹

3 受付時車両誘導担当

10月2日(水)	(5班) 岩田 大樹、(6班) 岡根 正弥 (7班) 田代 博識、(8班) 上田 陽之
10月3日(木)	(1班) 垣内 浩二、(2班) 松村 圭輔 (3班) 野中 拓朗、(4班) 大下 圭佑

4 企画総合訓練ナレーション

企画班担当者が行う

ビブス色別役割一覧



訓練企画リーダー・副リーダー(赤色)



教育支援教官評価者(黄色)



安全管理班(緑色)



検証班(青色)



企画班



関係者



要救助者

※ 訓練の役割に応じて、上記記載以外のビブスを着用する場合があります。

企画総合訓練 統一事項

1 開会式及び閉会式について

- (1) 両日の開会式及び閉会式の指揮者は総代とし、報告者は貴志教授とする。また、午前訓練終了後及び午後訓練開始時の指揮者は総代とし、報告者は担当教官とする。
- (2) 開会式等の整列隊形は、別紙3「開会式・閉会式整列隊形」のとおりとする。
- (3) 開会式等の司会進行については、企画副リーダー（相澤優、芳賀将志）が実施する。また、企画総合訓練中のナレーションは各班企画班の担当者が行うものとする。
- (4) 開会式等の進行は、別紙5-1、5-2「開会式・閉会式進行表」のとおりとする。

2 学生企画訓練について

- (1) 両日の企画総合訓練の学生責任者について、企画リーダー（本間健児）とする。
- (2) 学生及び教育支援隊の同想定を実施後、訓練検討会を実施する。
- (3) 企画総合訓練の訓練時間は開始から原状復帰まで30分間程度とする。
- (4) 企画総合訓練の各想定は、別添「企画総合訓練実施要領」のとおりとする。
- (5) 企画総合訓練の開始は企画班が定めたタイミングとし、終了の合図は警笛の長音1回及び「訓練終了」の合図とし、定められた訓練時間を超過した場合は、その時点で上記合図により活動終了とする。
- (6) 高所活動時、身を乗り出す場合はフォールアレストシステムを設定すること。また、状況に応じてレストレインシステムを設定すること。
- (7) 各訓練において、トランシーバーで交信を行う場合は原則下表のとおりとする。
なお、訓練の内容及び安全管理体制のために必要であれば事前に周知することでCHの追加、変更は可能とする。

	CH	使用用途
トランシーバー（黒）	1	運営担当（消防大学校教官、企画総合訓練リーダー・副リーダー、ナレーション）
トランシーバー（黒）	2	消防波（本部）
トランシーバー（赤）	3	活動波（現場活動隊）
トランシーバー（黄）	4	安全管理員及び企画班員連絡用
トランシーバー（黄）	5	支援教官

- (8) 訓練実施前後の教育支援隊及び支援教官の案内は企画班が実施すること。

3 訓練検討会について

- (1) 訓練検討会は、屋内訓練場で、教育支援隊、支援教官、企画班、実施班、検証班及び安全管理班が参加し、別紙 6「訓練検討会実施隊形図」の隊形で実施すること。なお、訓練検討会の実施時間は 15 分間とする。
- (2) 訓練検討会の司会進行は、企画班の企画代表者が行うこと。
- (3) 訓練検討会は、教育支援隊、支援教官、企画班、実施班、検証班及び安全管理班の各代表者が意見を取りまとめ、発表すること。

企画総合訓練 安全管理シート

作成者（安全管理班 第 班）

訓練実施項目	
<input type="checkbox"/> 高所救助 <input type="checkbox"/> 火災救助 <input type="checkbox"/> 低所救助 <input type="checkbox"/> 交通救助 （企画班 第 班） （実施班 第 班） ※該当する項目を✓し、（ ）内に必要事項を記載願います。	
区分	チェック内容
訓練等計画時	<input type="checkbox"/> 実施場所は適当か <input type="checkbox"/> 使用施設は安全か <input type="checkbox"/> 種目内容に無理はないか <input type="checkbox"/> 指揮系統、進行管理に無理はないか <input type="checkbox"/> 学生の編成はこれでよいか <input type="checkbox"/> 学生の健康状態はよいか <input type="checkbox"/> 使用資機材の種類、数量はこれでよいか <input type="checkbox"/> 保護資機材の活用はこれでよいか <input type="checkbox"/> 安全管理員の配置は適正か <input type="checkbox"/> 緊急時の救護態勢の必要はないか <input type="checkbox"/> 降雨等の気象状況に対する配慮はこれでよいか <input type="checkbox"/> 学生に訓練等の実施要領を周知徹底したか <input type="checkbox"/> 訓練等の規模、内容及び特性に応じた安全教育を実施したか
訓練等実施前	<input type="checkbox"/> 学生の服装点検及び準備運動は実施したか <input type="checkbox"/> 学生の健康状態に異常はないか <input type="checkbox"/> 学生は訓練等の実施要領を熟知しているか <input type="checkbox"/> 実施場所は整理整頓されているか <input type="checkbox"/> 使用施設の事前点検は実施したか <input type="checkbox"/> 使用資機材及び保護資機材の事前点検は実施したか <input type="checkbox"/> 使用資機材の特性に対する措置はこれでよいか <input type="checkbox"/> 学生に対して訓練等実施中の安全確保について再徹底したか <input type="checkbox"/> 安全管理員に対して安全管理事項を再指示したか <input type="checkbox"/> 安全管理員の配置はこれでよいか

<p>訓練等実施中</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学生の服装に乱れはないか <input type="checkbox"/> 学生に疲労はみられないか <input type="checkbox"/> 学生は冷静な行動をしているか <input type="checkbox"/> 学生は常に安全意識を持って行動しているか <input type="checkbox"/> 進行管理に無理が生じていないか <input type="checkbox"/> 指揮統制は確保されているか <input type="checkbox"/> 現場規律は保持されているか <input type="checkbox"/> 使用資機材はその特性に応じた取扱いをしているか <input type="checkbox"/> 使用資機材は有効に使用できているか <input type="checkbox"/> 保護資機材は有効に活用されているか <input type="checkbox"/> 使用資機材に係る危険性が生じていないか <input type="checkbox"/> 使用施設に損傷は見られないか <input type="checkbox"/> 使用資機材に損傷及び故障は生じていないか <input type="checkbox"/> 降雨等の気象状況に対する措置を変更、修正する必要はないか <input type="checkbox"/> 安全管理員の学生に対する安全指導は適切か <input type="checkbox"/> 安全管理員の監視体制はこれでよいか
<p>訓練等終了後</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学生の健康状態に異常はないか <input type="checkbox"/> 使用施設を点検したか <input type="checkbox"/> 使用資機材を点検及び安全に処理したか <input type="checkbox"/> 安全管理はこれでよかったか（反省、検討）

企画総合訓練 実施結果報告書

企画班	第 班
訓練実施日時	令和6年10月 日 () 時 分から 時 分まで
訓練実施項目	<input type="checkbox"/> 高所救助 (学生実施 第 班) <input type="checkbox"/> 火災救助 (学生実施 第 班) <input type="checkbox"/> 低所救助 (学生実施 第 班) <input type="checkbox"/> 交通救助 (学生実施 第 班) ※該当する項目を✓し、() 内に必要事項を記載願います。
企画班の意見	
実施班の意見	
安全管理班の意見	

検証班の 意見	
教育支援隊の 意見	
講評者 (支援教官) の意見	

令和6年10月2日（水）

実施 順位	企画班	想 定	時 間
1	6 班	低所 救助想定訓練	9:25～ 10:40
2	1 班	火災 救助想定訓練	10:45 ～ 12:00
3	3 班	交通 救助想定訓練	13:30 ～ 14:45
4	2 班	高所 救助想定訓練	14:50 ～ 16:05

企画総合訓練

89th Rescue 第6班

低所救助訓練



後藤 友秀	(静岡県)	富士市消防本部)
宮下 英規	(三重県)	三重紀北消防組合消防本部)
柴田 玲	(宮城県)	仙台市消防局)
弘中 孝太	(山口県)	山口県消防学校)
岡根 正弥	(徳島県)	海部消防組合消防本部)
矢島 健太郎	(神奈川県)	逗子市消防本部)

企画総合訓練実施要領

企画：6班

担当：宮下 英規

1 訓練種別

低所救助

2 訓練目的

危険情報に対する応急対策等を適切に行い、安全・確実・迅速かつ実災害に即した活動を行うことを目的とする。

3 訓練主眼

- (1) 環境測定と適切な防護措置の選択。
- (2) 要救助者の容態に適した救出方法の決定。
- (3) 変化する活動内容に対する適切な安全管理の実施。

4 実施日時

令和6年10月2日（水） 9時25分から10時40分まで

5 実施場所

東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
消防大学校 低層訓練棟（別紙1）

6 訓練概要

(1) 事故概要

建設現場の地下階で単独作業をしていた男性が、作業工程を誤り倒れてきた重量物の下敷きとなったもの。

(2) 訓練想定

ア 男性作業員（訓練用人形）が作業用梯子で地下階に至り、作業を行っていたところ倒れてきた重量物（約500kg）に下肢が挟まれた。なお、本人通報によるもの。

イ 地下階の救助隊員が脱出完了した時点または、訓練開始から20分を経過した場合において訓練終了とする。

(3) 災害状況

ア 災害発生場所は、地上まで約5mの低所、広さは幅4m×奥行7m。

イ 照明使用のため、地下階で発電機を稼働している。現着時、要救助者付近の一酸化

炭素濃度は約 600 ppm。

(4) 要救助者情報

要救助者は男性作業員 1 名。下肢を約 500 kg の重量物（コンクリート）に挟まれているもの。一酸化炭素中毒疑い。意識レベルⅢ桁。なお、通報から現着まで約 10 分程度のためクラッシュシンδροームの疑いはなしとする。

(5) 出動隊

出動隊	人員	担当班	備考
消大救助 1	6	実施班（8 班）	車両なし
消大タンク 1	4	訓練補助（5 班）	
消大指揮 1			
消大救急 1	2	訓練補助（5 班）	

(6) 指揮系統

消大救助 1 が最先着、続いて消大タンク 1 が現着。

消大指揮 1 が現着までの間、消大救助 1 小隊長が指揮代行。

消防本部及び各隊との無線交信は、消防大学校のトランシーバーを使用するものとする。

無線機	台数	無線CH
トランシーバー （黒 2 CH）	5	消防波
トランシーバー （赤 3 CH）	6	活動波

7 訓練制約

- (1) 低層訓練棟 2 階を地上 G L とし、資器材を配置した状態で、小隊長の現着報告をもって訓練開始とする。
- (2) 作業用梯子は使用不可。
- (3) 地下における素面での活動は不可。（環境改善を実施しても救助活動中は改善しないものとする。）
- (4) 地下への進入隊員は消大救助 1 の隊員のみとする。
- (5) 動くロープはエッジガード（ハード）、静止ロープはエッジガード（ソフト）もしくは毛布を使用しエッジ保護を行うこと。
- (6) 地上 G L 想定の下層訓練棟 2 階に救出した要救助者は消大救急 1 に引き継ぐ。

8 安全管理対策

- (1) 安全主任者1名、安全管理者5名を適宜配置する。
- (2) 安全マットを配置する。活動状況に応じて適宜適切な位置に移動する。
- (3) 高所作業のため、資器材の落下には十分留意すること。
- (4) 安全管理班は保安帽（緑色）、ベスト（緑色）及びフルボディハーネスを着用し、配置は別紙1のとおりとする。
- (5) 安全管理員からの制止の合図（警笛）があった場合には、全ての活動を停止し安全対策が完了後、活動を再開するものとする。
- (6) 活動隊員は安全管理員の指示に従うこと。

9 服装及び個人装備

- (1) 消大救助1
低所救助に適した服装及び装備、トランシーバー、その他必要な装備
- (2) 消大タンク1
救助服、保安帽、フルボディハーネス、手袋、編上靴、その他必要な装備
- (3) 消大救急1
救助服、感染防止衣上衣、保安帽、手袋、編上靴、その他必要な装備
- (4) 安全管理班
救助服、フルボディハーネス（上部安全管理員）、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、警笛、ベスト（緑色）、その他必要な装備
- (5) 企画班
救助服、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、ベスト（企画班用）、その他必要な装備

10 訓練時系列

時間	内容	実施班	安全管理班	訓練補助班	検証班
9:25～9:30	準備	8班	3班	5班	2班
9:30～9:50	訓練				
9:50～10:00	撤収及び準備				
10:00～10:20	訓練	静岡市消防局			
10:20～10:25	撤収				
10:25～10:40	検証	全員			

1 1 訓練小隊編成及び役割分担表

企画班	6 班	訓練統制	進行兼 消大指揮	時間管理兼 消大本部	状況付与	状況付与	関係者
		宮下英規	矢島健太郎	後藤友秀	柴田玲	岡根正弥	弘中孝太
実施班	8 班	小隊長	隊員	隊員	隊員	隊員	隊員
		上田陽之	阿部晃治	海老原誠	岩瀬雅貴	茂刈正樹	黒川翔
安全管理班	3 班	安全管理 主任	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員
		野中拓朗	福島大輔	東平敬弘	青木涼平	佐原通祐	西村正也
訓練補助班	5 班	消防隊	消防隊	消防隊	消防隊	救急隊	救急隊
		坂本豊	相澤優	村尾修央	大串栄佑	岩田大樹	石井一希
検証班	2 班	リーダー	検証員	検証員	検証員	検証員	検証員
		西村卓	川合隆一	吉川徹	松村圭輔	川谷敏史	平田光
教育支援隊	静岡市消防局						

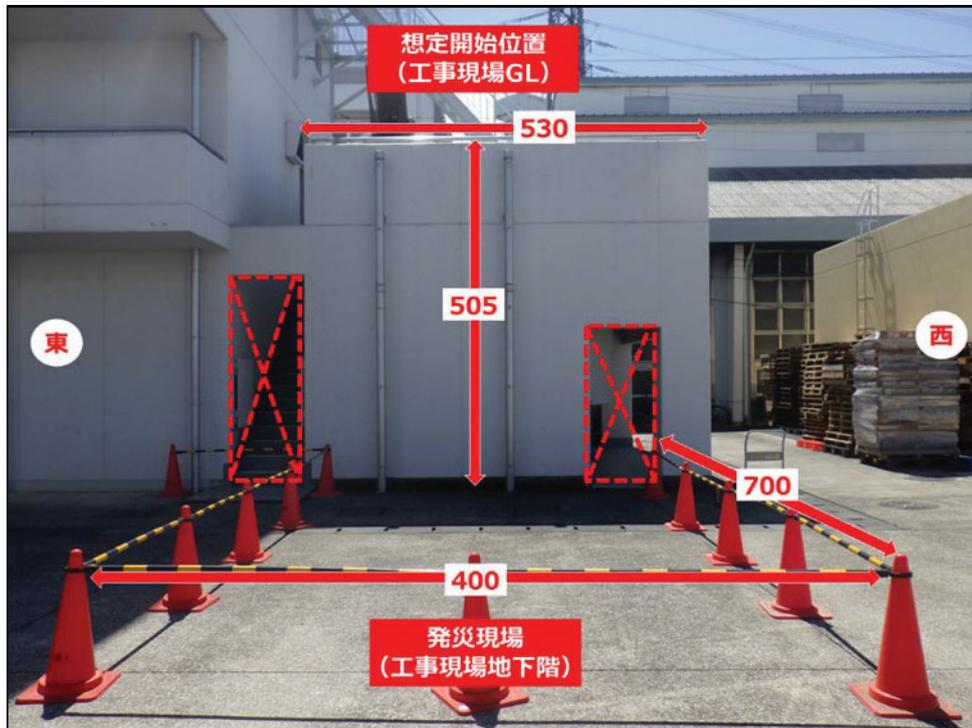
1 2 別紙資料

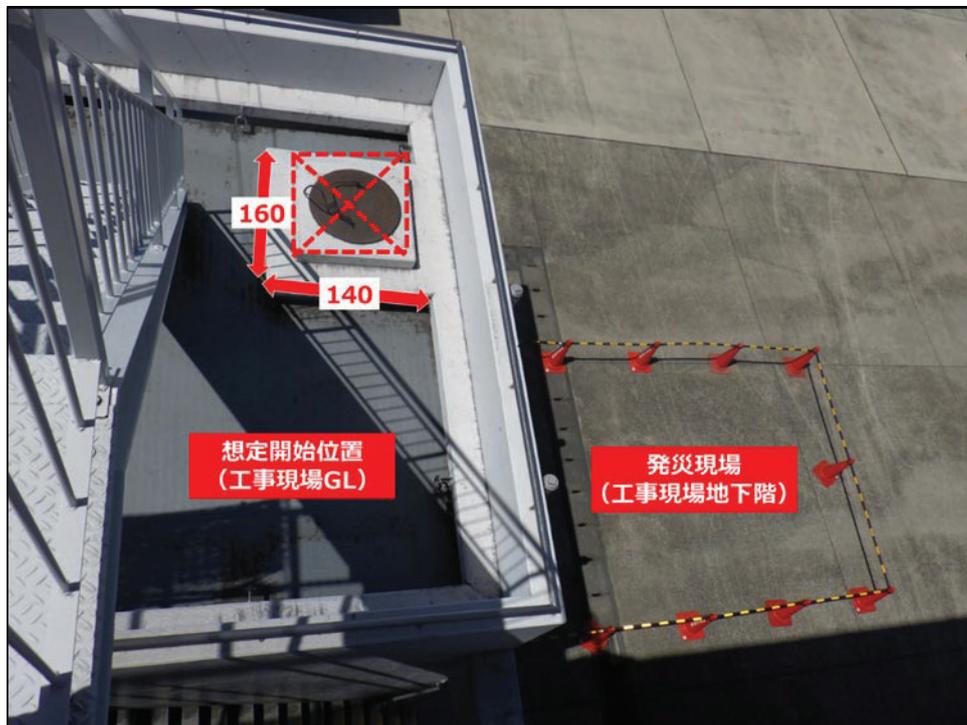
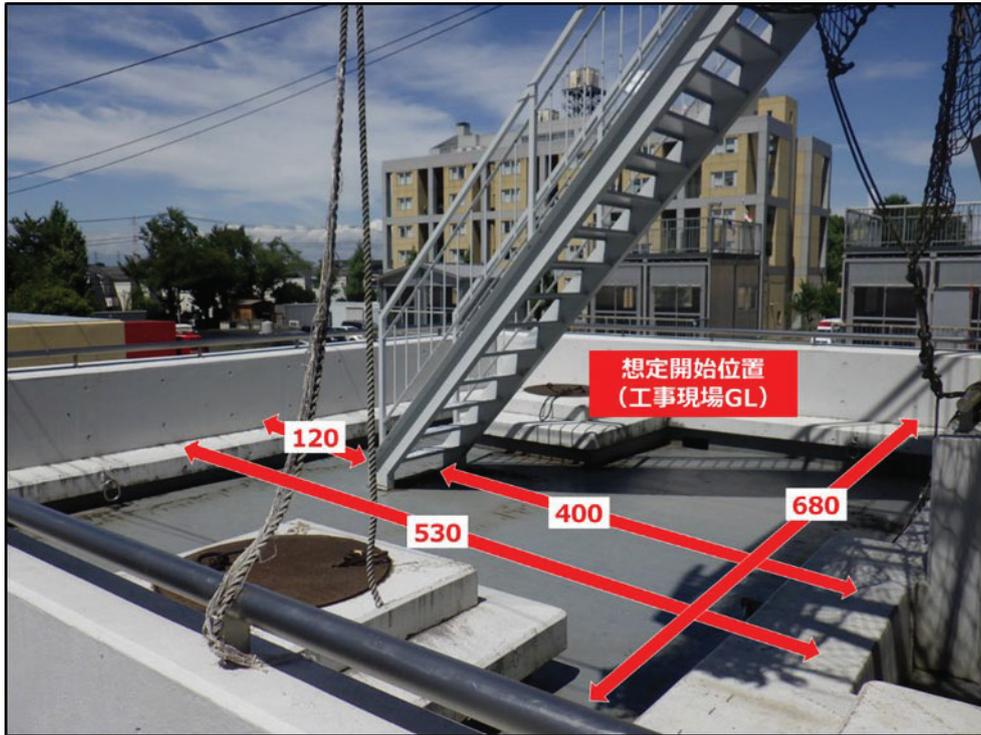
- (1) 別紙 1 訓練実施場所
- (2) 別紙 2 災害状況及び安全管理員配置図
- (3) 別紙 3 指令書

1 3 その他

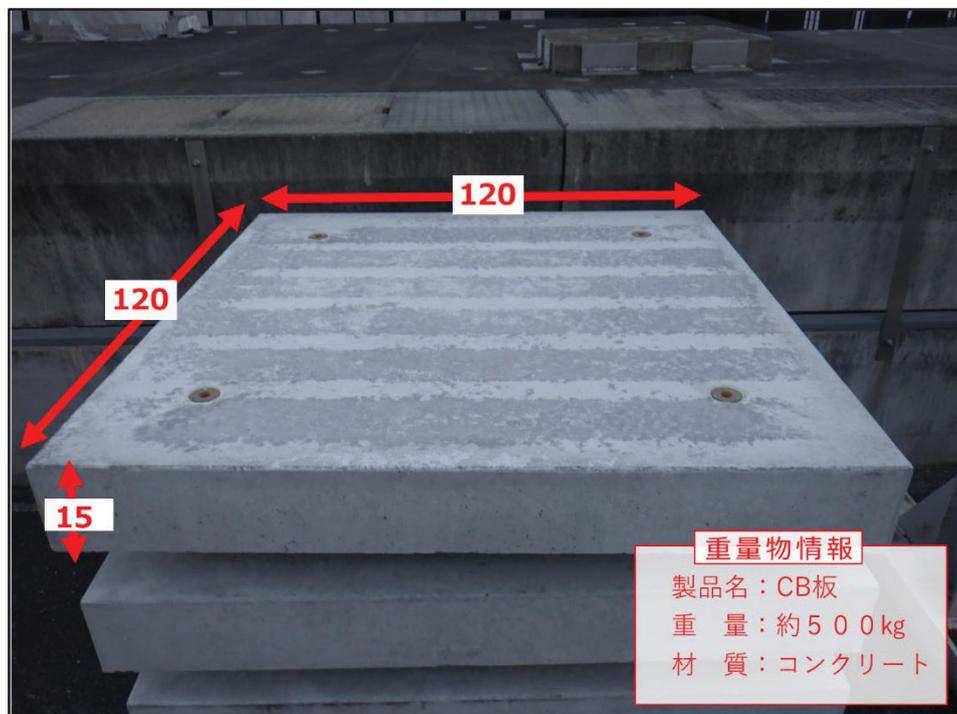
- (1) 訓練終了後、実施班は継続して指揮を執り、速やかに撤収作業を行うこと。
- (2) 教育支援隊は、実施要領の「消大救助 1」を自隊に読み替え実施するものとする。
- (3) 学生は教育支援隊が訓練で使用した資機材については、訓練終了後に教育支援隊の指示のもと撤収等の補助をするものとする。
- (4) 訓練見学者は、訓練見学場所（別紙 1）で見学すること（トラテープにて明示）。活動可能エリア内への進入は禁止とする。また、2 階以上で見学する場合はヘルメット及びフルハーネスを着用し、落下防止措置を講ずること。訓練開始までに見学位置に至り、訓練中の見学場所の移動は出来ないものとする。

(1) 訓練実施場所





(2) 災害状況及び安全管理員配置図





指令書

覚 知 令和6年10月2日(水) 9時30分(第1回)
令和6年10月2日(水) 10時00分(第2回)

災害種別 低所救助

災害場所 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号

指令目標 消防大学校内 低層訓練棟

出動車両 消大救助1、消大指揮1、消大タンク1、消大救急1 (第1回)
教育支援隊、消大指揮1、消大タンク1、消大救急1 (第2回)

気象状況 天候：晴れ、風向：南、気温：25℃、平均風速：2.5m/s、相対湿度：50%

気象情報 なし



企画総合訓練

89th Rescue 第1班

火災救助想定訓練

仲間に感謝。出逢いに感謝。



本間	健児	(北海道	北海道消防学校)
外池	学	(福島県	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部)
垣内	浩二	(岐阜県	恵那市消防本部)
梶岡	俊兵	(奈良県	奈良広域消防組合消防本部)
小林	勇司	(鳥取県	鳥取県西部広域行政管理組合消防局)
宮下	智彦	(高知県	高知市消防局)

企画総合訓練実施要領

企画：1班

担当：宮下 智彦

1 訓練種別

火災救助

2 訓練目的

本訓練は、火災事案においていかなる事象に直面しても対応ができる臨機の判断力及び行動力を養うことを目的とする。

3 訓練主眼

- (1) 火災性状の評価
- (2) 効率的な現場指揮
- (3) 時間的猶予がない中で複数名の要救助者の検索、救出
- (4) 安全な活動の徹底

4 実施日時

令和6年10月2日（水） 10時45分から12時00分まで

5 実施場所

東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
消防大学校 屋外訓練場 模擬家屋塔（別紙1）

6 訓練概要

(1) 事故概要

木造2/0、一般住宅において火災発生。2階に複数名の逃げ遅れ情報あり。

(2) 訓練想定

ア 木造2/0、一般住宅の1階から出火。火災に気付いて2階ベランダに避難した家人からの通報。最先着した消大タンク1が現場一巡後、逃げ遅れ3名がいるとの情報を得る。なお、消大タンク1が現場一巡中に消大救助1が現場到着し、救助小隊長が現場指揮を執る。

イ 2階ベランダ（北側）の掃き出し窓から濃煙が出ており、逃げ遅れた家人2名（手振り）を確認する。

ウ 建物内は1階濃煙熱気、2階は濃煙充満。なお、火点は1階南側とする。

エ 2階のベランダ窓付近に要救助者1名の姿を確認する。

オ 隣接建物は離隔距離があり、延焼危険はないものとする。

カ 全要救助者を地上の安全な場所へ救出後、全隊員が地上へ退避完了した時点で訓練終了とする。また、訓練開始から20分を経過した場合においても訓練終了とする。

(3) 災害状況

火災救助

(4) 要救助者情報

ア 要救助者① 通報者・手振り 30代女性（訓練補助班）

イ 要救助者② 手振り 60代男性（訓練補助班）

ウ 要救助者③ 60代女性（JCSI桁、CO中毒疑い、寝たきり）（訓練用人形）

(5) 出動隊

出動隊	人員	担当班	備考
消大タンク1	4	4班（訓練補助班）	車両あり
消大救助1	6	7班（実施班）	車両あり
消大救急1	なし		車両なし

※消大救急1の3名は仮想とする。

(6) 指揮系統

指揮隊については、出動しないため、消大救助1の隊長が指揮を執るものとする。なお、消防本部及び各隊との無線交信は、消防大学のトランシーバーを使用するものとする。

無線機	台数	無線CH
トランシーバー （黒 2CH）	3	消防波
トランシーバー （赤 3CH）	6	活動波

7 訓練制約

- (1) 訓練開始は訓練時系列の時間からとする。実施班は車内で待機し、指令書を現示員から受け取り、支援情報を傍受した後、現示員の合図により活動開始とする。（別紙1）
- (2) 出火建物は、模擬家屋塔（西端のユニットハウス）とする。
- (3) 消大タンク1隊により分水器まで送水済み。消大救助1使用可能とする。（別紙2）
- (4) 訓練場所の現示旗及び現示員の指示に従い、人命救助最優先で活動すること。
- (5) 手振りの要救助者については、ベランダ内側へ降りるよう指示するも「苦しい、無理。」と訴え、ベランダ内側へ降りることができないものとする。なお、介添えにより梯子を降りることができるものとする。
- (6) 消大タンク1隊員については、補助的な活動（三連はしご搬送及び確保等）のみとする。

- (7) 火災性状の変化については現示員の合図によるものとする。
- (8) 1階北側の玄関ドアについては施錠中とし、開放工具（エンジンカッター）を玄関ドア前へ搬送し1分経過後に開放可能とする。（別紙3）
- (9) 要救助者の救出は、2階ベランダ側（北側）の掃き出し窓からの救出とする。
- (10) 手振り要救助者の救出時、三連はしごに乗り移った時点で安全管理員が手振り要救助者の自己確保を解除する。
- (11) 要救助者を地上まで降ろした後、地上の隊員に引き継いで安全な場所まで移動させ救出完了とする。

8 安全管理対策

- (1) 安全管理主任1名、安全管理者5名を適宜配置する。（別紙4）
- (2) 安全管理者は、保安帽（緑色）、救助服、編上靴、手袋及びベスト（緑色）を着用し、2階の安全管理員についてはフルボディハーネス着用とする。
- (3) 手振り要救助者役の訓練補助班2名については、保安帽、救助服、編上靴、手袋及びフルボディハーネス着用とする。なお、救出時には安全管理員が落下防止のカラビナを外すこと。
- (4) 高所作業のため、資器材の落下には十分留意すること。
- (5) 安全管理員からの制止の合図（警笛）があった場合には、全ての活動を停止し安全対策が完了後、活動を再開するものとする。
- (6) 活動隊員は安全管理員の指示に従うこと。
- (7) 三連はしご登降梯時は安全マット2枚を配置すること。

9 服装及び個人装備

- (1) 消大救助1
防火衣上下、防火帽、防火靴、ケブラー手袋、空気呼吸器、その他必要な装備
- (2) 消大タンク1
救助服、保安帽、編上靴、ケブラー手袋、その他必要な装備
- (3) 手振り要救助者
救助服、フルボディハーネス、保安帽、手袋、編上靴、ベスト（要救助者用）
- (4) 安全管理班
救助服、フルボディハーネス（上部安全管理員）、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、警笛、ベスト（安全管理班用）、その他必要な装備
- (5) 企画班
救助服、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、ベスト（企画班用）、その他

1 0 訓練時系列

時間	内容	実施班	訓練補助班	安全管理班	検証班
10：45～10：50	準備	7 班	4 班	2 班	5 班
10：50～11：10	訓練				
11：10～11：20	撤収及び準備				
11：20～11：40	訓練	岡山市消防局			
11：40～11：45	撤収				
11：45～12：00	検証	全員			

1 1 訓練小隊編成及び役割分担表

企画班	1 班	訓練統制	進行	時間管理	状況付与	現示 (内部)	現示 (外部)
		宮下智彦	梶岡俊兵	本間健児	外池学	小林勇司	垣内浩二
実施班	7 班	小隊長	隊員	隊員	隊員	隊員	隊員
		芳賀将志	萩田晃士	矢代興大	赤尾直哉	多田裕貴	田代博識
安全管理班	2 班	安全管理主任	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員
		吉川徹	河合隆一	松村圭輔	西村卓	川谷敏文	平田光
訓練補助班	4 班	消大タンク 1 小隊長	消大タンク 1 機関員	消大タンク 1 隊員	消大タンク 1 隊員	手振り 要救助者	手振り 要救助者
		高橋秀次	沼田宙	戸口温雄	加藤健次	田村和博	大下圭佑
検証班	5 班	リーダー	検証員	検証員	検証員	検証員	検証員
		坂本豊	相沢優	岩田大樹	石井一希	村尾修央	大串栄佑
教育支援隊	岡山市消防局						

1 2 別紙資料

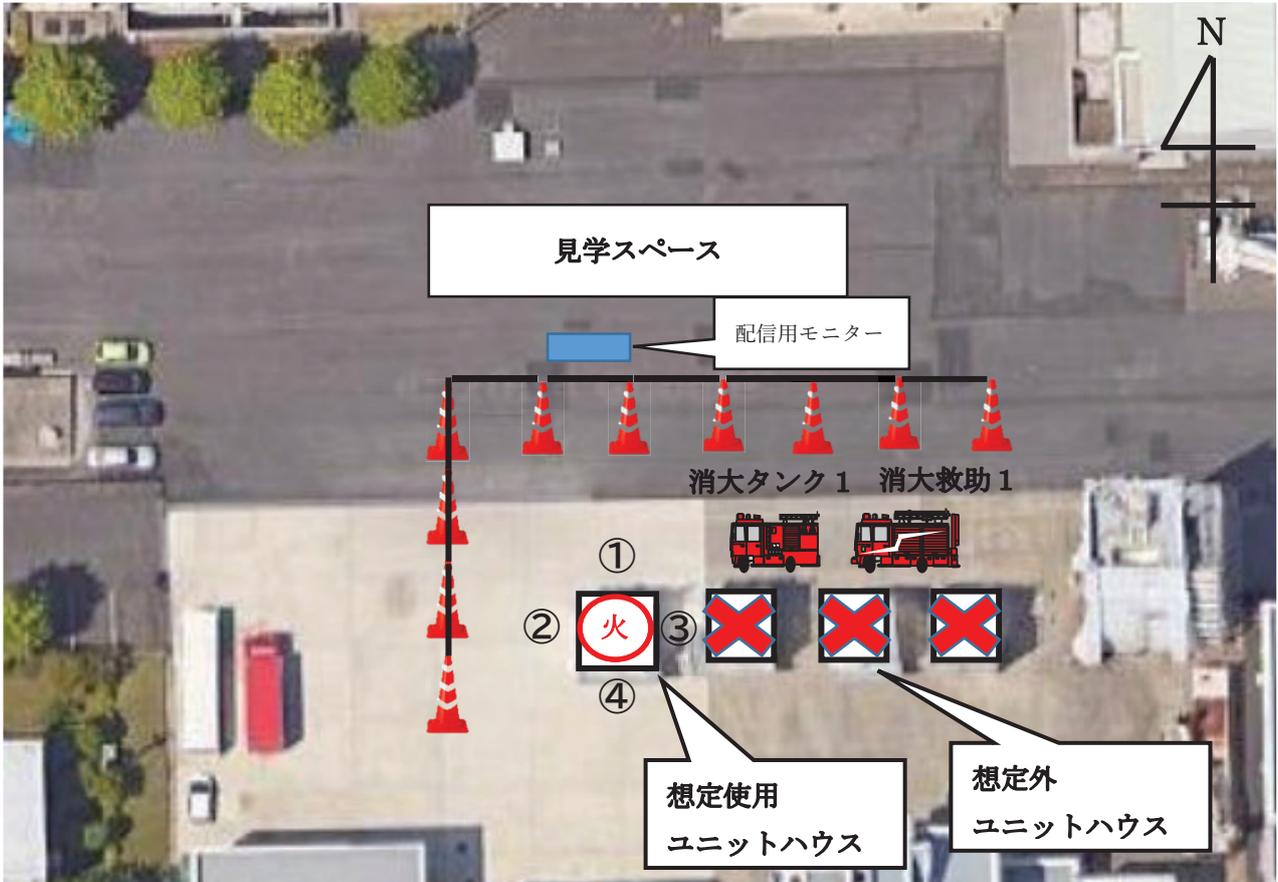
- (1) 別紙 1 訓練実施場所全体図
- (2) 別紙 2 ホースライン事前設定図
- (3) 別紙 3 訓練想定イメージ図
- (4) 別紙 4 安全管理配置図
- (5) 別紙 5 現示説明図
- (6) 別紙 6 指令書

1.3 その他

- (1) 訓練終了後、実施班は継続して指揮を執り、速やかに撤収作業を行うこと。
- (2) 教育支援隊は、実施要領の「消大救助1」を自隊に読み替え実施するものとする。
- (3) 学生は教育支援隊が訓練で使用した資機材については、訓練終了後に教育支援隊の指示のもと撤収等の補助をするものとする。
- (4) 訓練見学者は、訓練見学場所（別紙1）で見学すること（トラテープにて明示）。活動可能エリア内への進入は禁止とする。

訓練実施場所全体図

下図の番号については、ユニットハウス各面の写真案内番号とする。また、消大タンク 1 からのホースラインについては別紙 2 参照。



① 北面



④ 南面



③ 東面

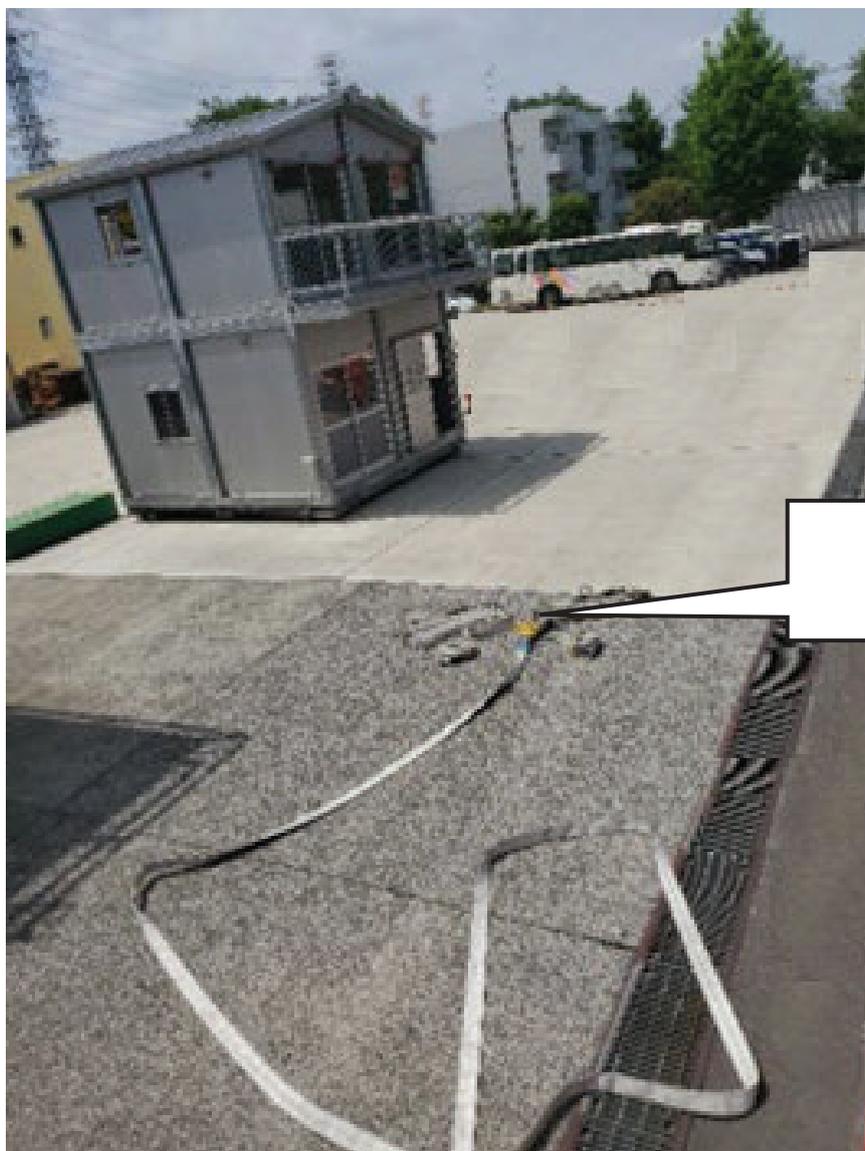


② 西面



ホースライン事前設定図

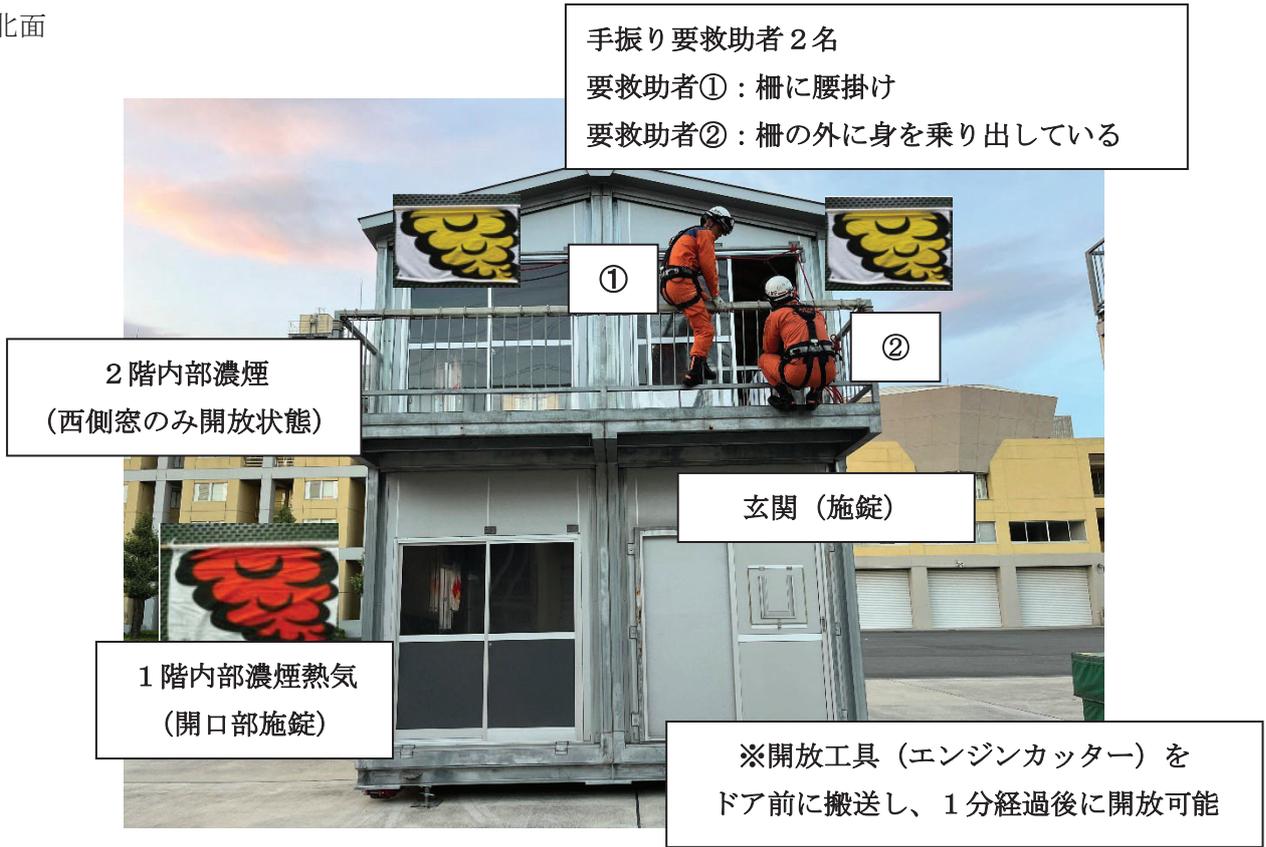
先着の消大タンク 1 隊により、消大タンク 1 から分水器まで 1 線（65mm×1 本）を事前配備し、充水した状態とする。なお、分水器両側吐水口は消大救助 1 使用可能。



分水器両側
使用可能

訓練想定イメージ図（現示）

① 北面



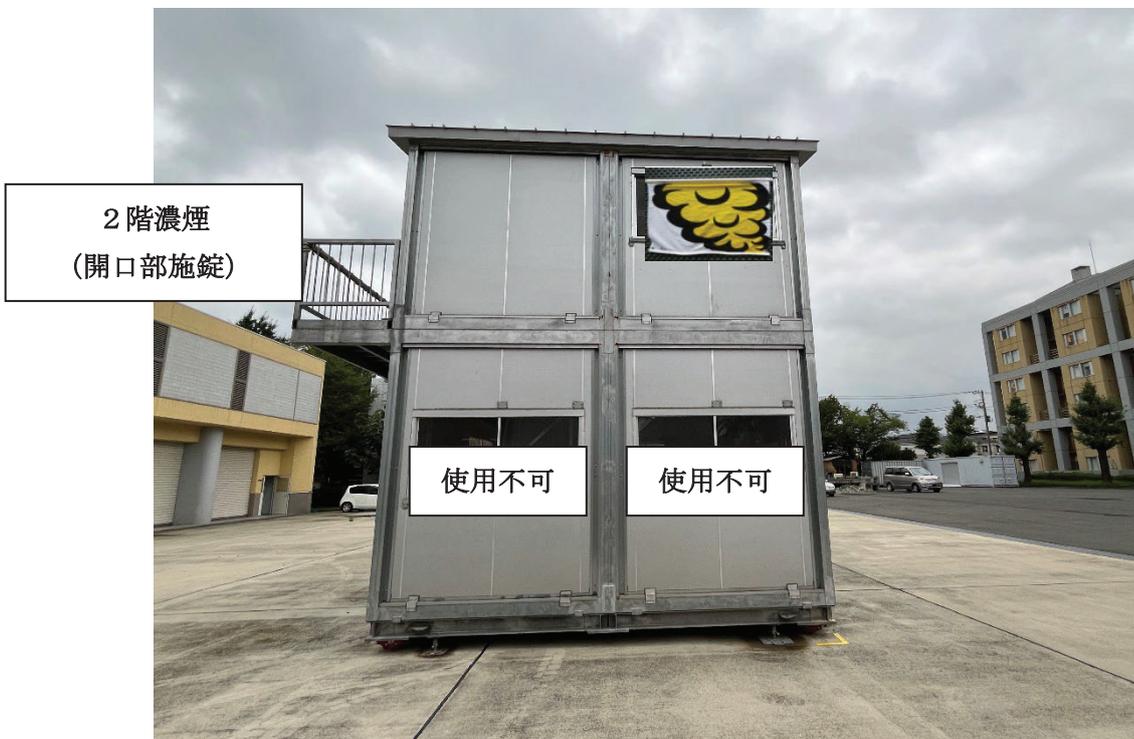
④ 南面



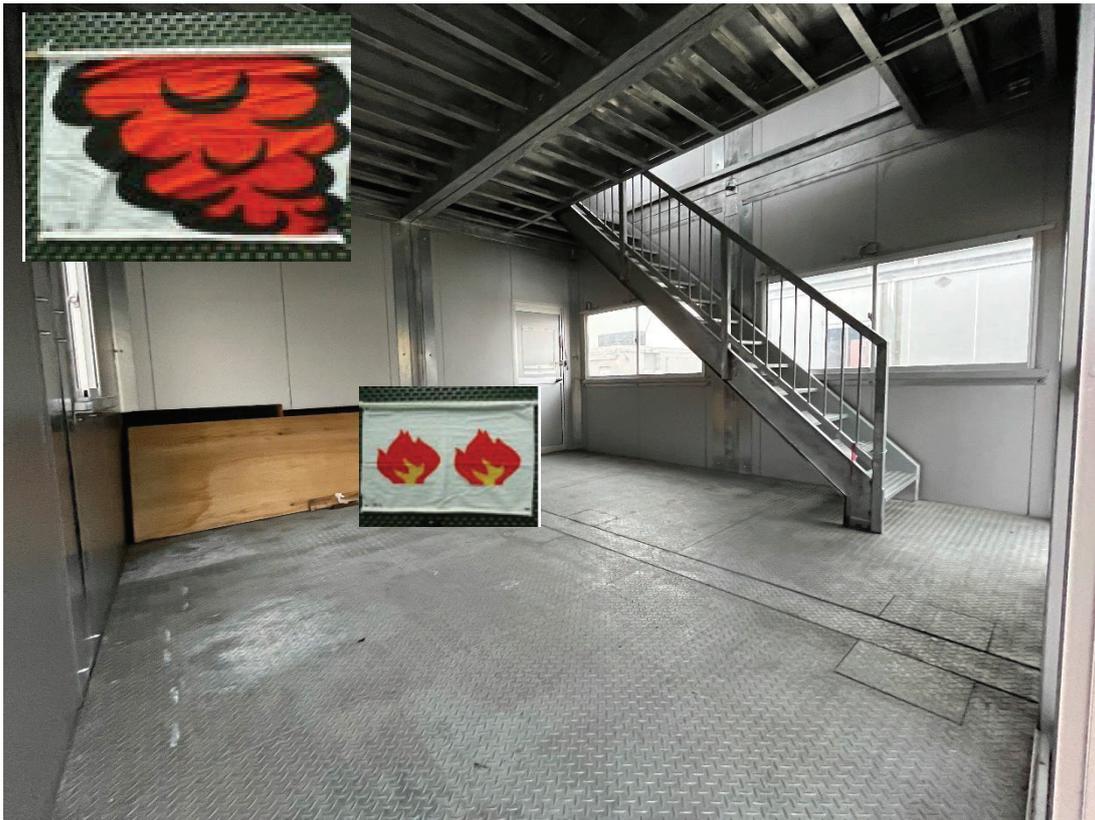
② 東面



② 西面



⑤ 1階室内（北東から撮影）



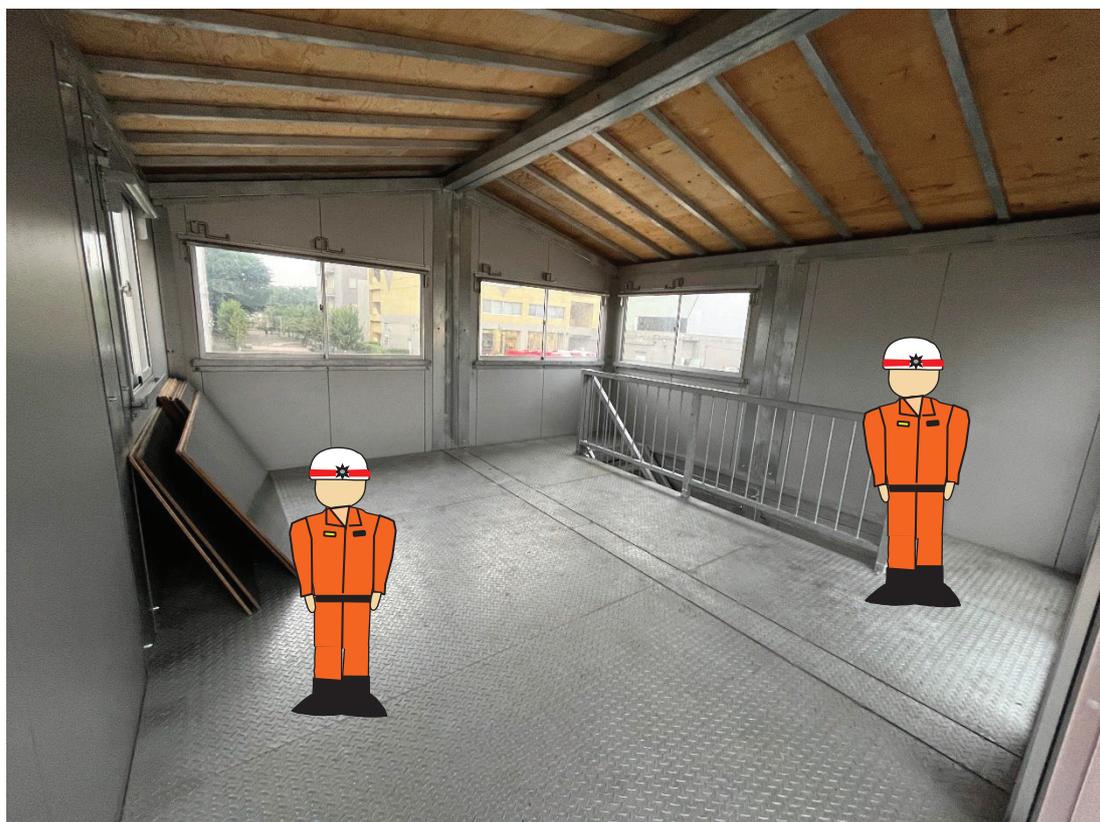
⑥ 2階室内（北東ベランダから撮影）



・北面



・ 2階室内



現示説明図

現 示 旗 一 覧					
火煙表示	4単位	3単位	2単位	1単位	濃煙熱気
	濃煙	白煙	中性帯		
アクシデント表示	施錠中	感電危険	ガス漏えい	ルーバー	シャッター
	暗所	水損	瓦落下危険	フラッシュオーバー	

現 示 旗 説 明 一 覧					
煙 表 示			アクシデント表示		
旗表示	旗名称	旗の意味と対応要領	旗表示	旗名称	旗の意味と対応要領
	白 煙	火災初期又は鎮圧状態の煙 ※素面で活動可能		フラッシュ オーバー	フラッシュオーバー発生危険 ※集中注水や隊員退避が必要
	濃 煙	火災成長段階の煙 ※有効圧の筒先及び面体着 装が必要		瓦落下危険	瓦の落下危険箇所 ※注水での落下や活動規制が 必要
	濃煙熱気	火災成長段階の高温の黒煙 ※注水及び面体着装が必要		可燃性ガス 漏えい	可燃性ガスの漏えい箇所 ※バルブ閉鎖や拡散、活動規 制が必要
	1単位	表示箇所の1/4が延焼中 ※面積算定により口数を判断		電気漏えい	電線垂れ下り、感電危険箇所 ※注水又は活動規制、電力要 請等が必要
	2単位	表示箇所の1/2が延焼中 ※面積算定により口数を判断		ド ア	ドア施錠中の箇所 ※進入には破壊器具による破壊 や解錠が必要
	3単位	表示箇所の3/4が延焼中 ※面積算定により口数を判断		ルーバー	ルーバーの設置箇所 ※進入には破壊器具による破壊 が必要
	4単位	表示箇所の全部が延焼中 ※面積算定により口数を判断		シャッター	シャッターによる閉鎖箇所 ※進入には破壊器具による破壊 や解錠が必要
	中性帯	中性帯が生成された箇所 ※安易に注水は避け、火災箇 所、逃遅れ者の特定に活用		暗 所	暗い箇所 ※進入には照明器具の携行と 検索体制が必要
				水 損	水損の発生箇所 ※ブルーシート等での防止処置 が必要

指令書

覚 知 令和6年10月2日(水) 10時50分(第1回)
令和6年10月2日(水) 11時20分(第2回)

災害種別 火災救助

災害場所 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号

指令目標 消防大学校内 屋外訓練場 ユニットハウス(別紙1参照)

出動車両 消大タンク1、消大救助1、消大救急1(仮想) (第1回)
消大タンク1、教育支援隊、消大救急1(仮想) (第2回)

気象状況 天候 晴れ 東の風1m 気温20℃ 相対湿度50%



企画総合訓練

交通救助

89th Rescue



TEAM No.3

みんなちがって、みんないい。

野中拓朗 [北海道 北見地区消防組合消防本部]

青木涼平 [滋賀県 彦根市消防本部]

福島大輔 [群馬県 吾妻広域消防本部]

佐原通祐 [和歌山県 和歌山市消防局]

東平敬弘 [福井県 嶺北消防組合消防本部]

西村正也 [山口県 宇部・山陽小野田消防局]

企画総合訓練実施要領

企画：3班
担当：福島大輔

1 訓練種別 交通救助

2 訓練目的

本訓練は、交通救助活動における的確な状況判断、救助隊員による要救助者のトリアージ及び安全、確実な活動を目的とする。

3 訓練主眼

- (1) 救助隊員による要救助者の救出順位及び救出方法の決定
- (2) 交通救助活動時における安全管理の徹底

4 実施日時

令和6年10月2日（水）13時30分から14時45分まで

5 実施場所

東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
消防大学校 屋外訓練場（別紙1）

6 訓練概要

(1) 事故概要

片側1車線道を走行中の普通乗用車が、後方を走行中の普通乗用車に追突され、ブレーキを踏むことなく、道路左側のコンクリート擁壁へ前方から衝突した。追突した車両の運転手は自力で車外に出ており、追突された車両は閉じ込められた要救助者2名が発生した。

(2) 訓練想定

- ア 追突された車両はドアが変形しており解放できず、閉じ込められた2名は挟まれなし、追突した車両運転手は車外脱出済みだが、パニック状態。
- イ 出動指令（別紙4）から車両に閉じ込められた訓練用人形1体及び生体の救出完了、若しくは、訓練終了時間（訓練時系列参照）経過で訓練終了とする。
- ウ 救出完了した要救助者は、救急隊に引き継ぐこととする。

(3) 災害状況

普通乗用車の追突事故

(4) 要救助者情報

ア 追突された普通乗用車（運転手）生体

（80歳代男性、JCS-10、呼吸浅く早い、外傷なし、挟まれなし）

イ 追突された普通乗用車（助手席）訓練用人形

（70歳代女性、JCS-100、両大腿部変形、挟まれなし）

(5) 出動隊

出動隊	人員	担当班	備考
消大救助1	6	6班（訓練実施班）	車両あり
消大タンク1	2	8班（訓練補助班）	車両なし
消大救急1	2		
消大救急2	2		

(6) 指揮系統

消大救助1が最先着とし、消大タンク1、消大救急1、2が順次現着する。指揮隊については、出動しないため、最先着隊である消大救助1の隊長が指揮を執るものとする。なお、消防本部及び各隊との無線交信は、消防大学校のトランシーバーを使用するものとする。

無線機	台数	無線CH
トランシーバー （黒 2CH）	5	消防波
トランシーバー （赤 3CH）	6	活動波

7 訓練制約

- (1) 救急隊は当該訓練の目的及び主眼を達成するため、積極的な観察は実施せず要救助者の引き継ぎのみを実施すること。
- (2) 消防隊は当該訓練の目的及び主眼を達成するために、積極的な救助活動は実施せず、警戒筒先の配備（ホース充水等はなし）のみを行うこと。
- (3) 訓練車両は、南寮南側を待機位置（別紙2）とし、活動エリア内の指定した位置（別紙2参照）に部署すること。
- (4) 訓練施設等の使用制限については、現示（現示員及び現示紙）のとおりとする。
- (5) 別添活動可能エリア（道路等）を明示するカラーコーン等の移動は禁止とする。
- (6) 実施班及び訓練補助班は、使用資器材を事前に準備しておくこと。
- (7) 破壊可能車両はAのみとする。

8 安全管理対策

- (1) 安全主任者1名、安全管理者4名を適宜配置する。 ※安全管理班5名
- (2) 安全管理班は保安帽（緑色）、ベスト（緑色）、救助服、編上靴、手袋、警

笛を着用し、配置は（別紙1）のとおりとする。

- (3) 安全管理者からの制止の合図（警笛）があった場合には、全ての活動を停止し安全対策が完了後、安全管理者の指示のもと活動を再開するものとする。
- (4) 活動隊員は安全管理員の指示に従うこと。
- (5) 事前に活動場所へブルーシートを設定し、破壊活動時の飛散防止をすること。

9 服装及び個人装備

(1) 消大救助1

交通救助事案に対応できる服装及び装備、ベスト（救助隊長）、その他必要な装備

(2) 消大タンク1

防火衣一式、保安帽、皮手袋（ケブラー）、その他必要な装備

(3) 消大救急1

感染防止衣、編み上げ靴、皮手袋、保安帽、その他必要な装備

(4) 安全管理班

救助服、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、警笛、ベスト（緑色）、その他必要な装備

(5) 企画班

救助服、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、ベスト（企画班用）、その他必要な装備

10 訓練時系列

時間	内容	実施班	訓練 補助班	安全 管理班	検証班
13:30~13:35	準備	6班	8班	5班	1班
13:35~13:55	訓練				
13:55~14:05	撤収及び準備				
14:05~14:25	訓練	川崎市消防局			
14:25~14:30	撤収				
14:30~14:45	検証	全員			

1 1 訓練小隊編成及び役割分担表

企画班	3班	訓練統制	進行	状況付与	状況付与	要救助者	時間管理
		福島大輔	青木涼平	佐原通祐	野中拓朗	東平敬弘	西村正也
実施班	6班	小隊長	隊員	隊員	隊員	隊員	隊員
		後藤友秀	柴田玲	矢島健太郎	宮下英規	弘中孝太	岡根正弥
安全管理班	5班	主任	安全管理	安全管理	安全管理	安全管理	安全管理
		村尾修央	坂本豊	相澤優	岩田大樹	大串栄佑	石井一希
訓練補助班	8班	リーダー	補助員	補助員	補助員	補助員	補助員
		茂刈正樹	阿部晃治	海老原誠	岩瀬雅貴	上田陽之	黒川翔
検証班	1班	リーダー	検証員	検証員	検証員	検証員	検証員
		小林勇司	垣内浩二	梶岡俊兵	宮下智彦	外池学	本間健児
教育支援隊	川崎市消防局						

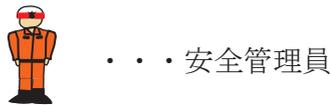
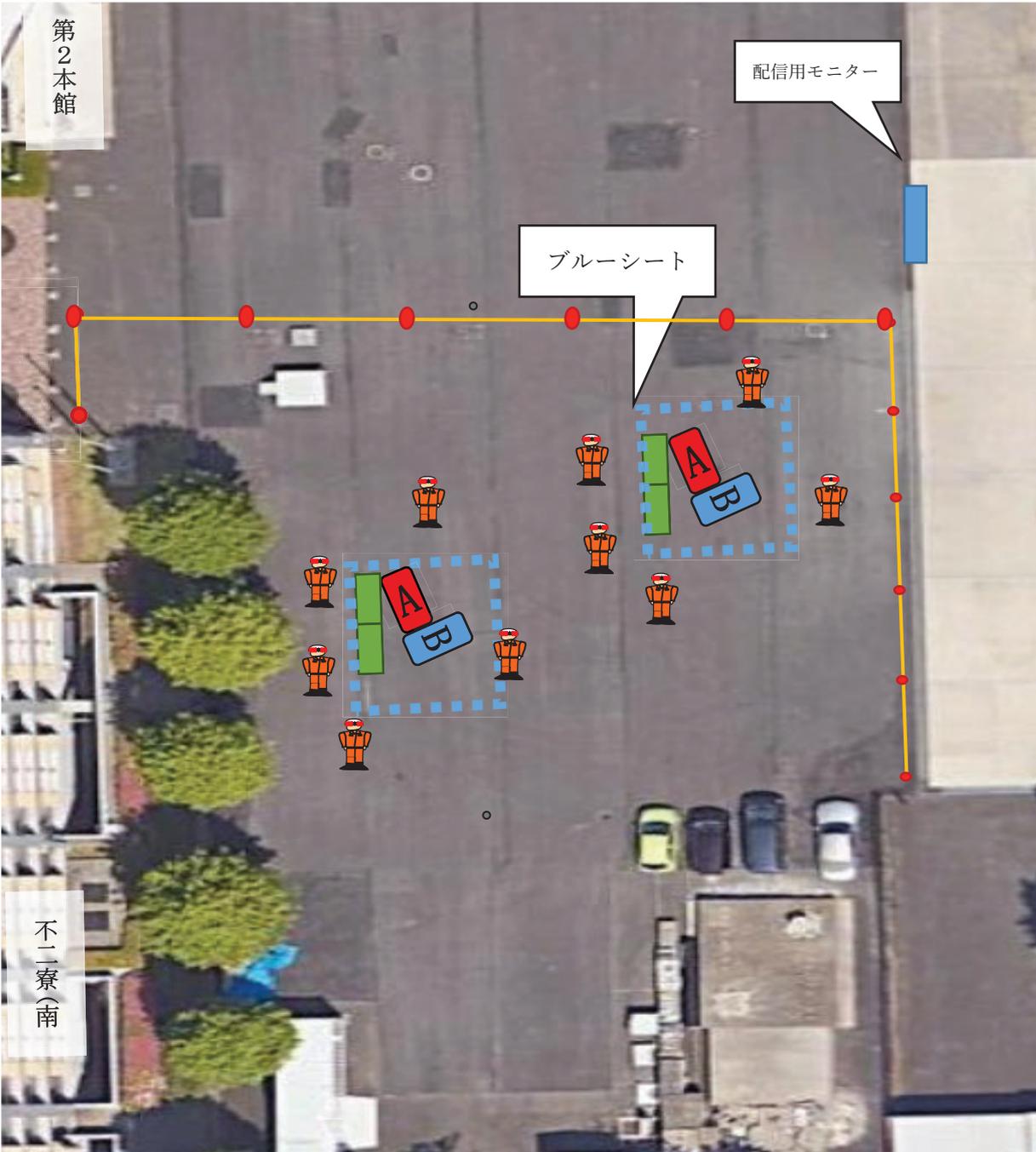
1 2 別紙資料

- (1) 別紙 1 訓練実施場所及び安全管理配置図
- (2) 別紙 2 車両待機位置、車両部署位置図
- (3) 別紙 3 訓練場所詳細図
- (4) 別紙 4 指令書
- (5) 別紙 5 現示一覧

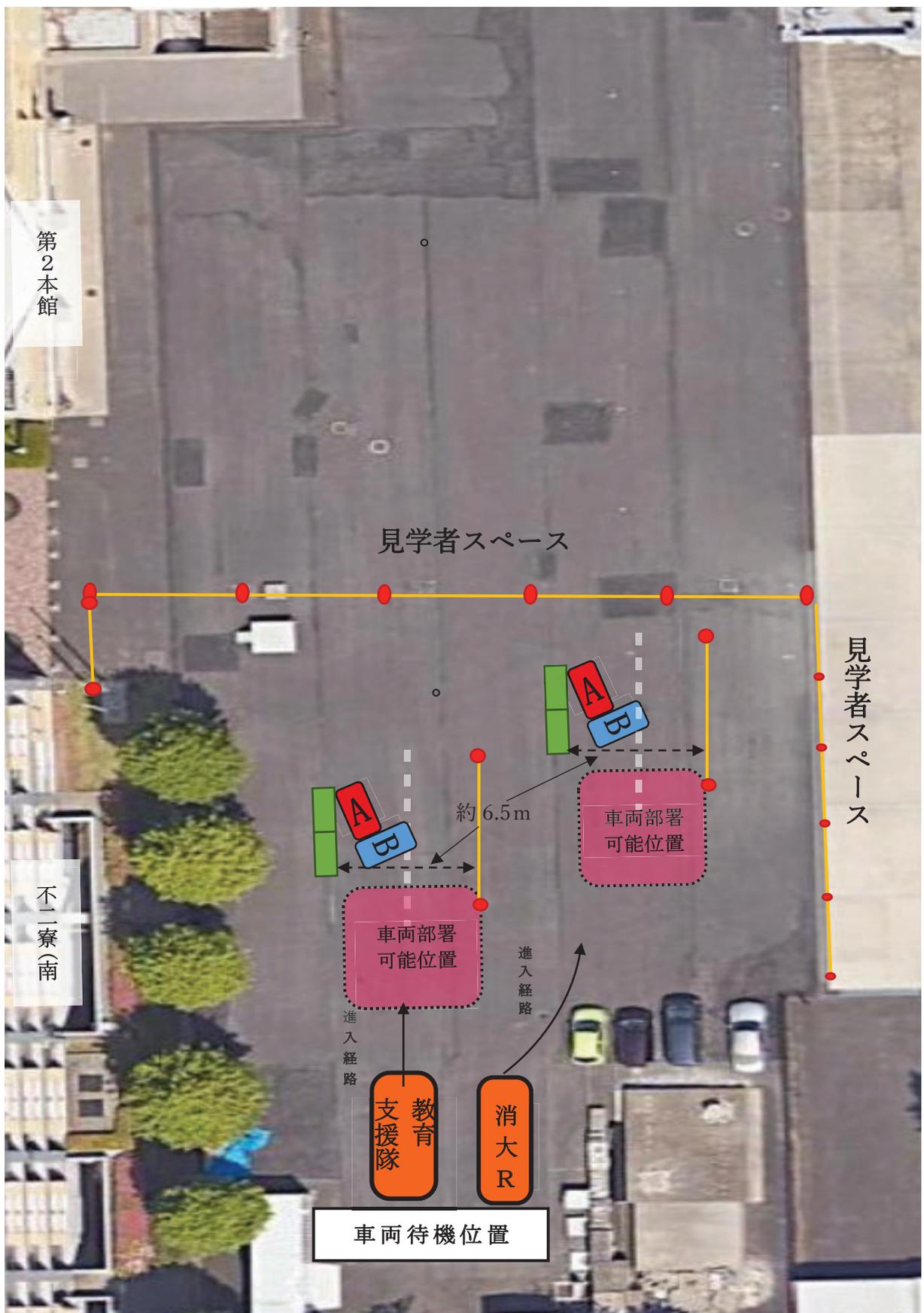
1 3 その他

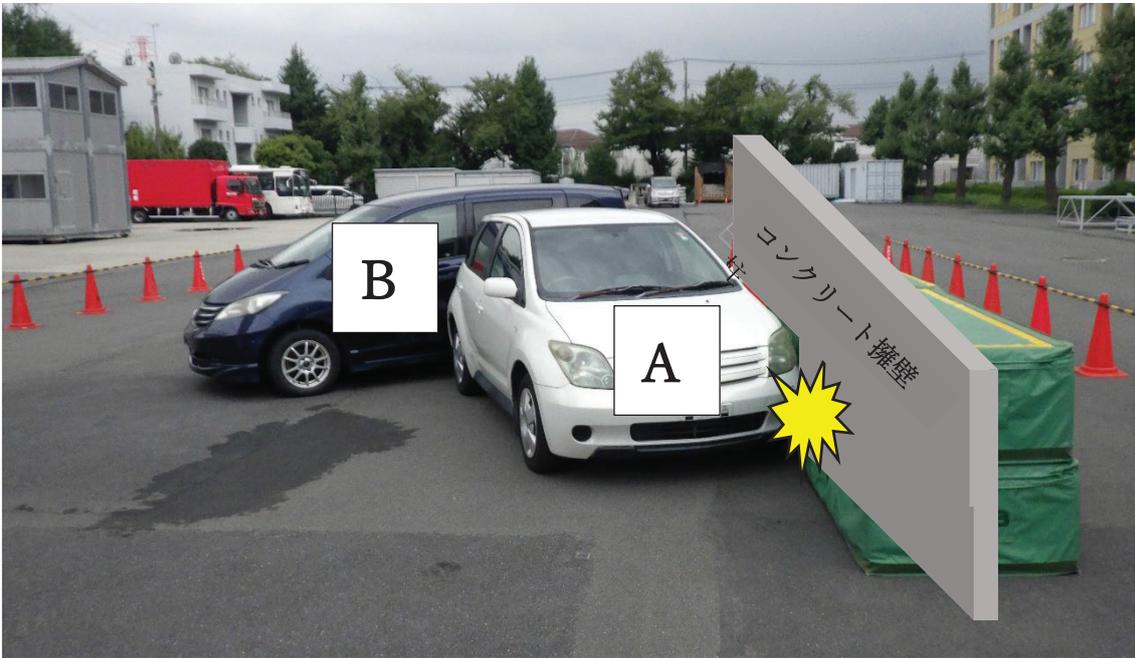
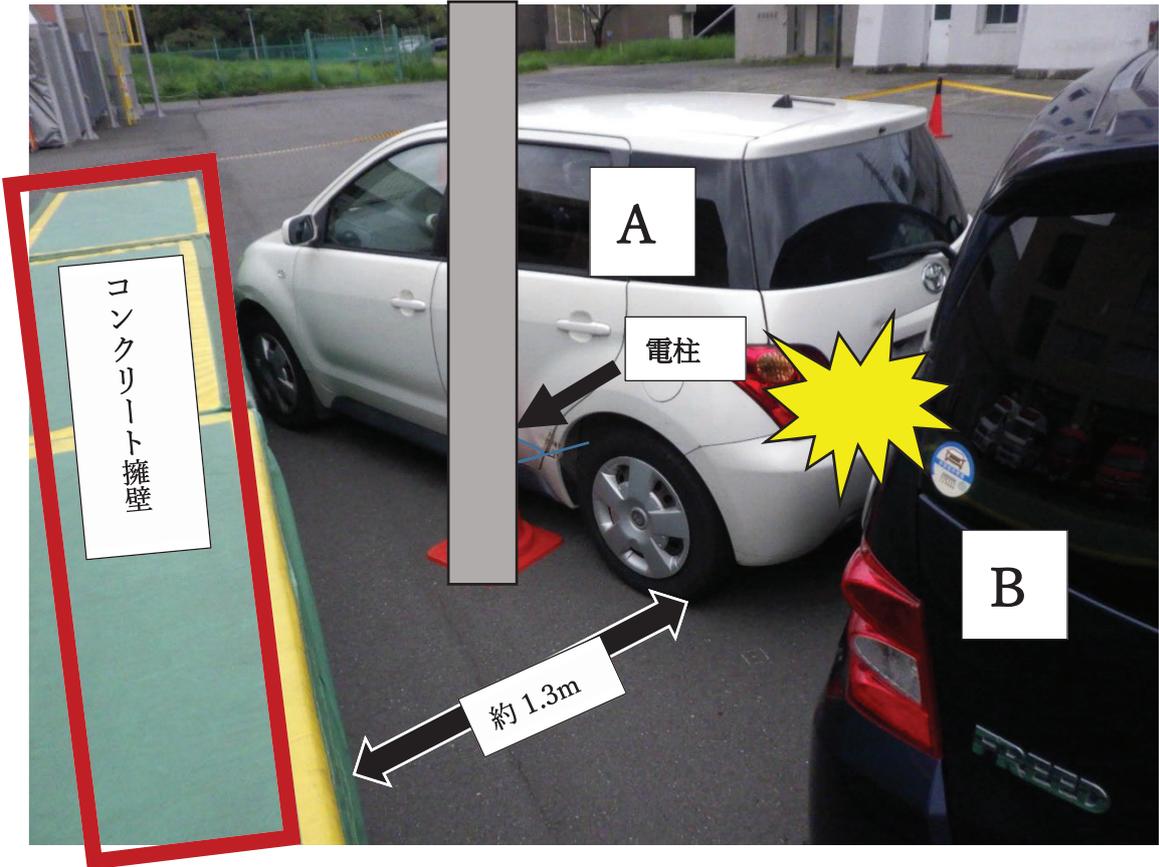
- (1) 訓練終了後、実施班は継続して指揮を執り、速やかに撤収作業を行うこと。
- (2) 教育支援隊は、実施要領の「消大救助1」を自隊に読み替え実施するものとする。
- (3) 学生は教育支援隊が訓練で使用した資機材については、訓練終了後に教育支援隊の指示のもと撤収等の補助をするものとする。
- (4) 訓練見学者は、訓練見学場所（別紙1）で見学すること（トラテープにて明示）。活動可能エリア内への進入は禁止とする。

訓練場所及び安全管理員配置図



車両待機位置、車両部署位置図





※訓練車両はHONDA（フリード）、又はTOYOTA（ノア）

※A車両のみ破壊可能

指令書

覚 知 令和6年 10月 2日 13時35分 (第1回目)

令和6年 10月 2日 14時05分 (第2回目)

災害種別 救助 (交通救助)

災害場所 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号

指令目標 消防大学校内 訓練場

出動車両 消大救助1、消大タンク1、消大救急1、消大救急2

気象状況 天候：晴れ、風向：南、気温：28℃、平均風速：2.5m/s、相対湿度：50%

異常気象 なし



現示一覧



=変形があり、人力での解放は不能



=現示がある場合ドア及び窓はないものとする



=エンジンの始動は不能

諦めることは辞めましょう。
諦めたら助けられないと思うので。
助けることだけ考えましょう。
さあ行こう。

企画総合訓練

R89 第2班 高所救助

北海道 函館	川合 隆一	茨城 鹿行	吉川 徹
鳥根 出雲	川谷 敏史	滋賀 東近江	西村 卓
石川 七尾鹿島	松村 圭輔	熊本 天草	平田 光

企画総合訓練実施要領

企画：2班

担当：平田 光

1 訓練種別

高所救助

2 訓練目的

本訓練は、高所救助における的確な状況把握を行うとともに、隊員間での安全管理、情報共有、要救助者への早期接触を図り、安全、確実、迅速に救助活動を実施することを目的とする。

3 訓練主眼

- (1) 高所における安全管理
- (2) 要救助者への早期接触
- (3) 救出プラン及び資器材の選定

4 実施日時

令和6年10月2日（水） 14時50分から16時05分まで

5 実施場所

東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
消防大学校 高層訓練塔（別紙1）

6 訓練概要

(1) 事故概要

5階建ビルにおいて窓拭き清掃中の作業員が、炎天下の中で長時間作業をしていたところ体調不良を訴え、体動困難になり宙吊り状態になったもの。（別紙2、3）

(2) 訓練想定

ア 消大救助1については、車両内で待機し、出動指令後、直ちに現着し、活動開始する。その他の隊については、消大救助1後方にて待機し、消大救助1の現着5分後に活動開始する。（消大ポンプ1及び消大救急1は車両使用なし）

イ 要救助者1名をGL（活動禁止エリア外）まで救出し、待機する消大救急1に引き継ぎ、訓練終了とする。また、訓練開始から20分を経過した場合においても訓練終了とする。

(3) 災害状況

高所宙吊り事故

(4) 要救助者情報

30代男性（熱中症疑い、既往歴なし、レベル2桁）

(5) 出動隊

出動隊	人員	担当班	備考
消大救助1	6	4班（訓練実施班）	車両あり
消大ポンプ1	3	7班（訓練補助班）	車両なし
消大救急1	3		

(6) 指揮系統

指揮隊については、出動しないため、消大救助1の隊長が指揮を執るものとする。なお、消防本部及び各隊との無線交信は、消防大学のトランシーバーを使用するものとする。

無線機	台数	無線CH
トランシーバー （黒 2CH）	4	消防波
トランシーバー （赤 3CH）	6	活動波

7 訓練制約

- (1) 高層訓練塔6階部分を屋上とみなす。各支点は使用可能。（別紙2、5、6）
- (2) 要救助者が使用しているロープは摩耗しており、安全が保たれていないため使用不可とする。なお、切断も不可。別系統のロープを使用し救出すること。（別紙2、3）
- (3) 使用可能な階段は屋外階段のみとする。高層訓練塔への進入は6階のみとする。資器材の搬送及び要救助者の搬送は可能とする。（別紙2、4）
- (4) 6階開口部で要救助者の視認及び声掛けは可能とする。
- (5) 高層訓練塔前（活動禁止エリア）はエントランスとみなし進入及び救出は不可とする。（別紙2、7）
- (6) 高所作業となるため、確実に2系統を確保し活動をすること。
- (7) 動くロープはエッジガード（ハード）、静止ロープはエッジガード（ソフト）もしくは毛布を使用しエッジ保護を行うこと。
- (8) 事前設定されている確保ロープを使用しても良い。（別紙6）
- (9) 直下梯子は使用不可とする。（別紙2）

8 安全管理対策

- (1) 安全主任者1名及び安全管理員5名を配置する。(別紙1、5、6、7)
- (2) 安全マットを配置する。(別紙7)
- (3) 安全管理班は、保安帽(緑色)、ベスト(緑色)及びフルボディハーネスを着用する。
- (4) 高所作業のため、資器材の落下には十分留意すること。
- (5) 安全管理員からの制止の合図(警笛)があった場合には、全ての活動を停止し安全対策が完了後、活動を再開するものとする。
- (6) 活動隊員は安全管理員の指示に従うこと。

9 服装及び個人装備

- (1) 消大救助1
救助服、フルボディハーネス、保安帽、手袋、編上靴、その他必要な装備
- (2) 消大ポンプ1
救助服、防火衣(上衣のみ)、保安帽、手袋、編上靴、その他必要な装備
- (3) 消大救急1
救助服、感染防止衣、保安帽、手袋、編上靴、その他必要な装備
- (4) 安全管理班
救助服、フルボディハーネス(上部安全管理員)、保安帽(緑色)、手袋、編上靴、警笛、ベスト(緑色)、その他必要な装備
- (5) 企画班
救助服、保安帽(緑色)、手袋、編上靴、ベスト(企画班用)、その他必要な装備

10 訓練時系列

時間	内容	実施隊	訓練 補助班	安全 管理班	検証班
14:50~14:55	準備	4班	7班	1班	3班
14:55~15:15	訓練				
15:15~15:25	撤収及び準備				
15:25~15:45	訓練	神戸市消防局			
15:45~15:50	撤収				
15:50~16:05	検証	全員			

1 1 訓練小隊編成及び役割分担表

企画班	2 班	訓練統制	ナレーション 無線統制	時間管理 記録	状況付与	資機材 関係者	資機材 要救助者
		平田 光	吉川 徹	西村 卓	川合隆一	川谷敏史	松村圭輔
実施班	4 班	小隊長	隊員	隊員	隊員	隊員	隊員
		加藤健次	戸口温雄	高橋秀次	田村和博	沼田 宙	大下圭佑
安全管理班	1 班	主任	安全管理	安全管理	安全管理	安全管理	安全管理
		垣内浩二	外池学	宮下智彦	梶岡俊兵	小林勇司	本間健児
訓練補助班	7 班	消防隊 1	消防隊 2	消防隊 3	消防隊 4	救急隊 1	救急隊 2
		赤尾直哉	芳賀将志	多田裕貴	田代博識	萩田晃士	矢代興大
検証班	3 班	リーダー	検証員	検証員	検証員	検証員	検証員
		東平敬弘	西村正也	福島大輔	佐原通祐	青木涼平	野中拓朗
教育支援隊	神戸市消防局						

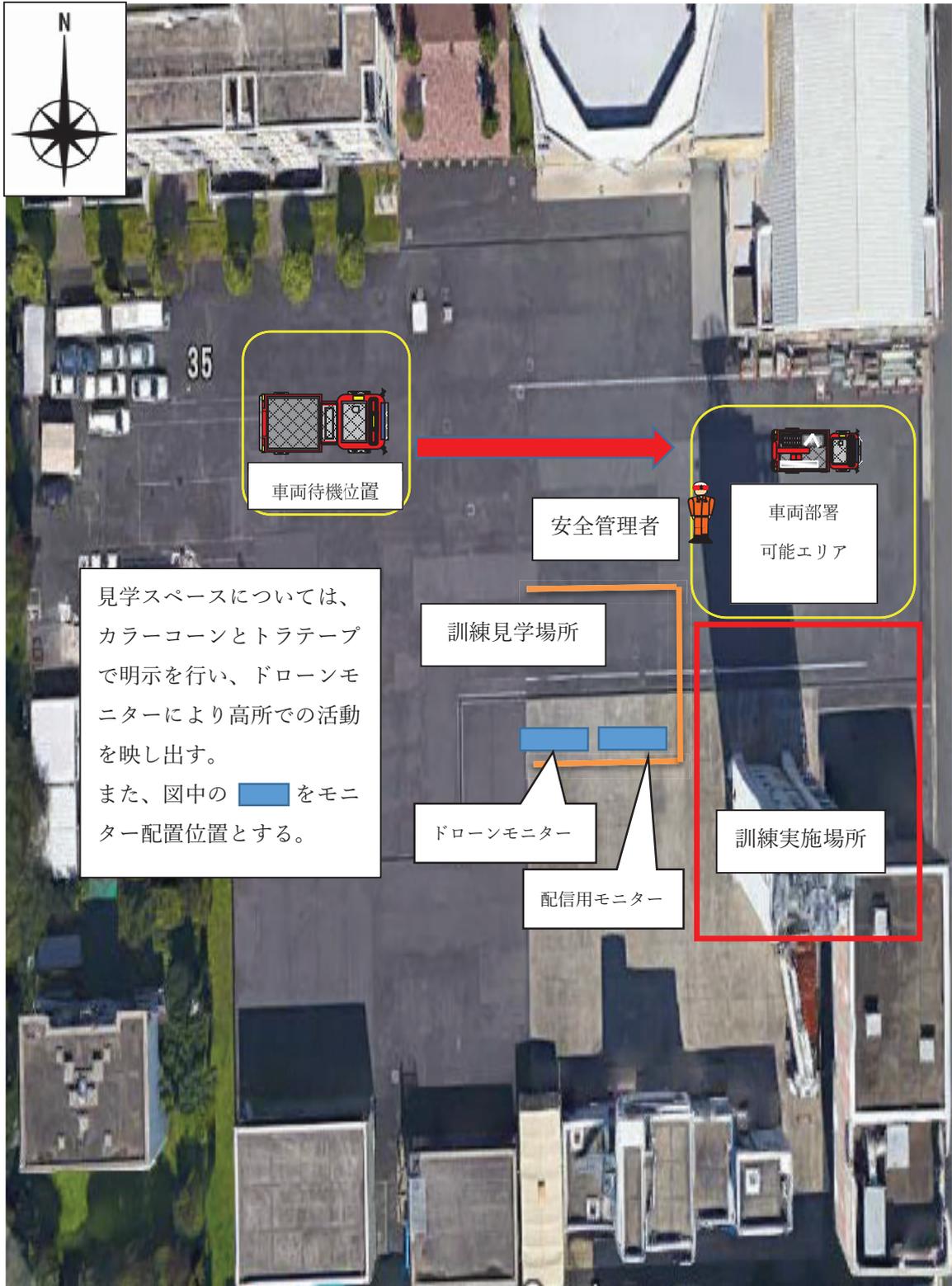
1 2 別紙資料

- (1) 別紙 1 訓練実施場所詳細
- (2) 別紙 2 全体図面
- (3) 別紙 3 宙吊り作業員のロープ状況
- (4) 別紙 4 屋外階段の状況
- (5) 別紙 5 4階、6階の状況及び安全管理員配置詳細
- (6) 別紙 6 6階の状況及び安全管理配置詳細
- (7) 別紙 7 安全管理員配置詳細及び安全マット配置詳細
- (8) 別紙 8 指令書

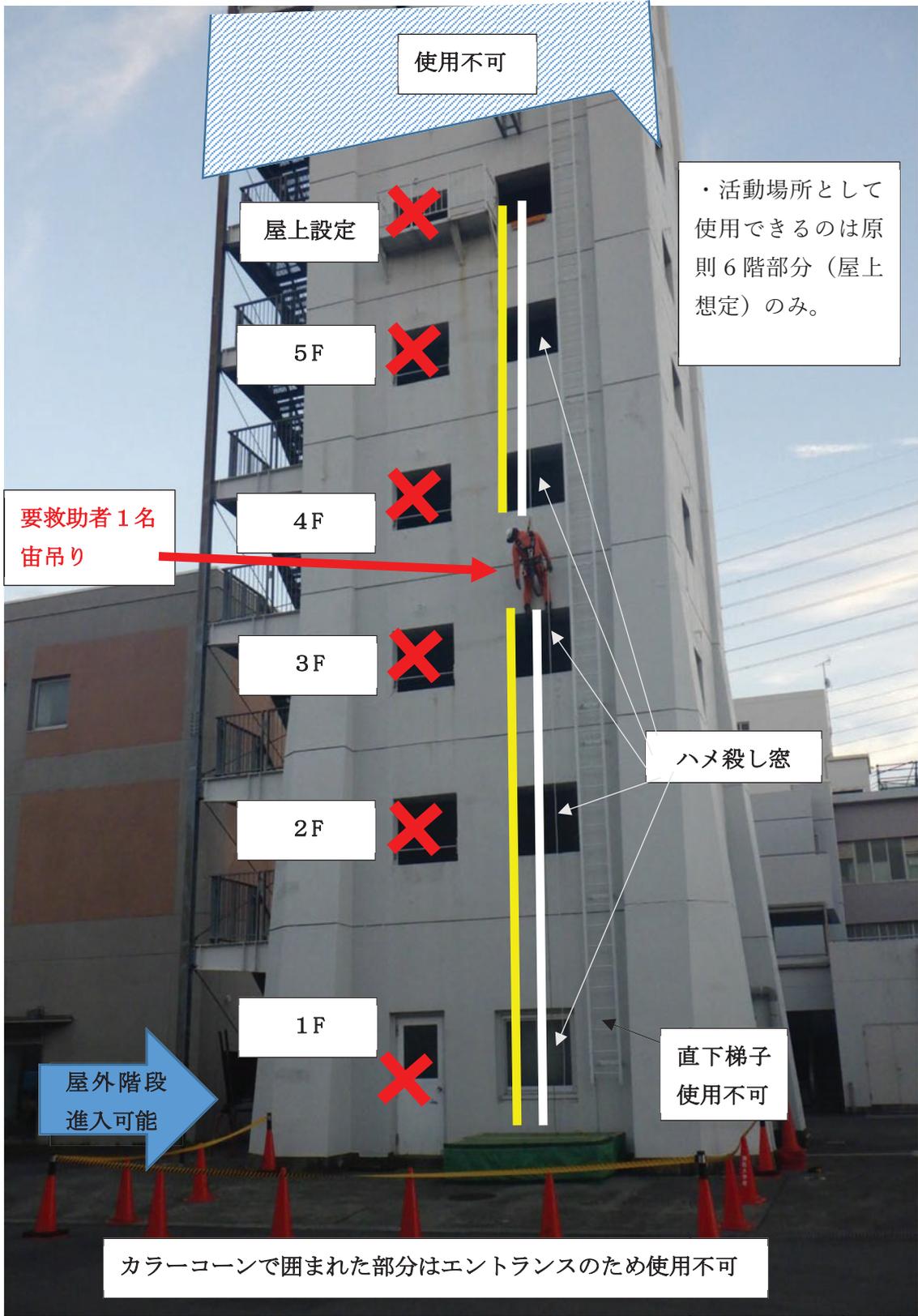
14 その他

- (1) 訓練終了後、実施班は継続して指揮を執り、速やかに撤収作業を行うこと。
- (2) 教育支援隊は、実施要領の「消大救助 1」を自隊に読み替え実施するものとする。
- (3) 学生は教育支援隊が訓練で使用した資機材については、訓練終了後に教育支援隊の指示のもと撤収等の補助をするものとする。
- (4) 訓練見学者は、訓練見学場所（別紙 1）で見学すること（トラテープにて明示）。活動可能エリア内への進入は禁止とする。

訓練実施場所詳細



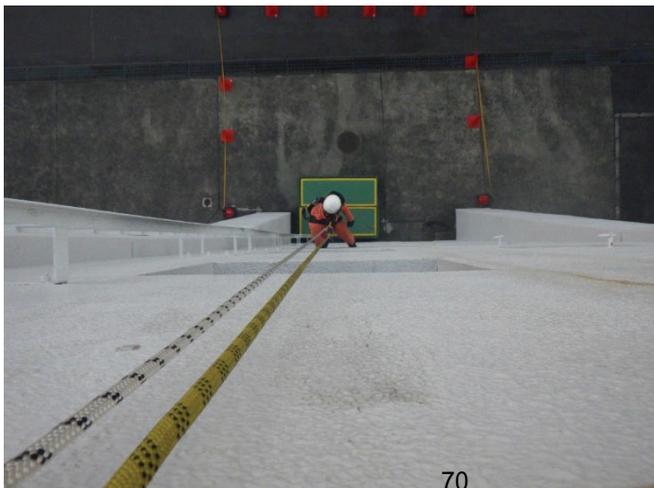
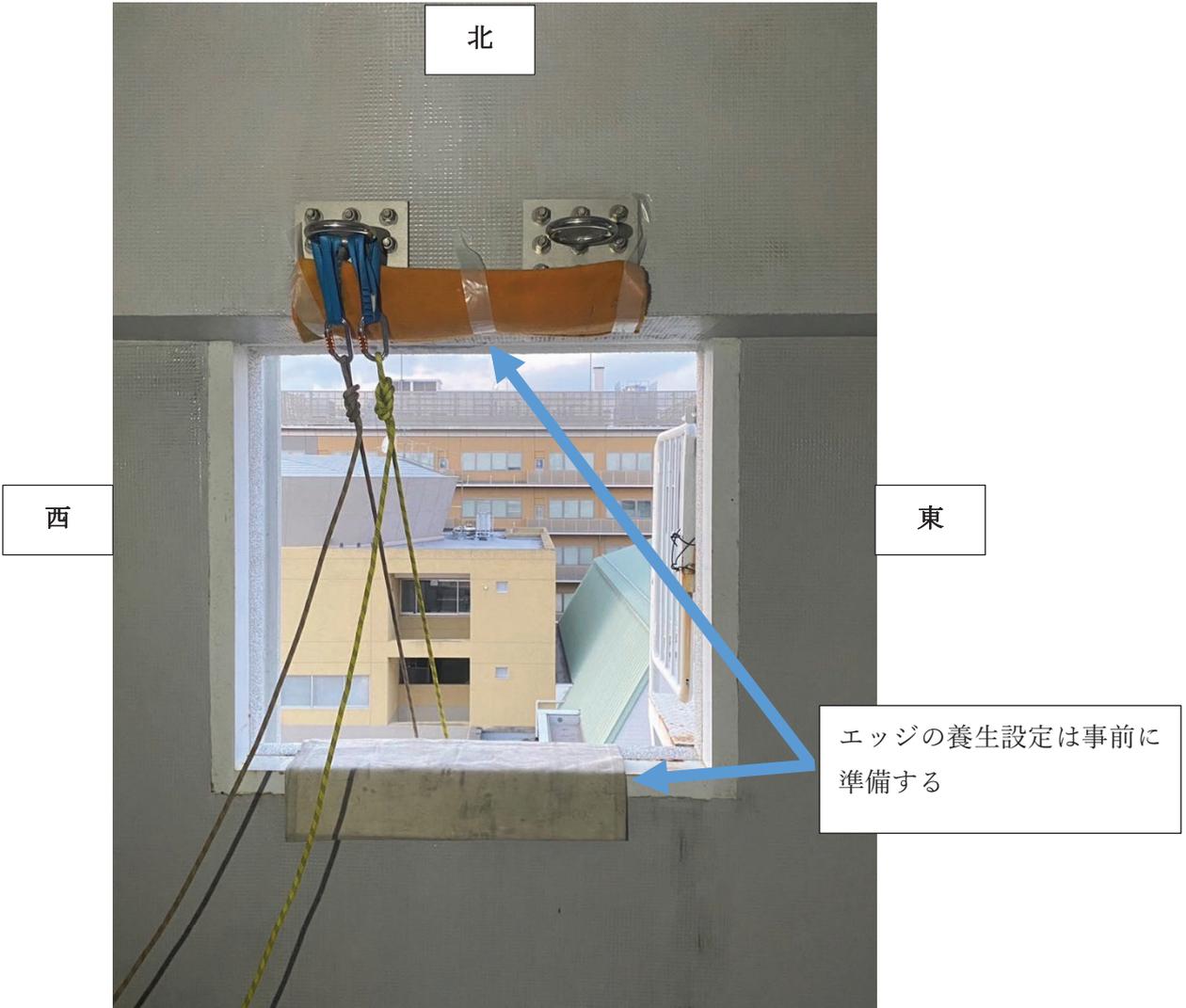
全体図面



宙吊り作業員のロープ状況

※作業員は2系統で降下し写真の通りになっているもの。

作業員使用資器材：フルハーネス、ID（白ロープ）、アサップロック（黄ロープ）で使用しているもの。



屋外階段の状況



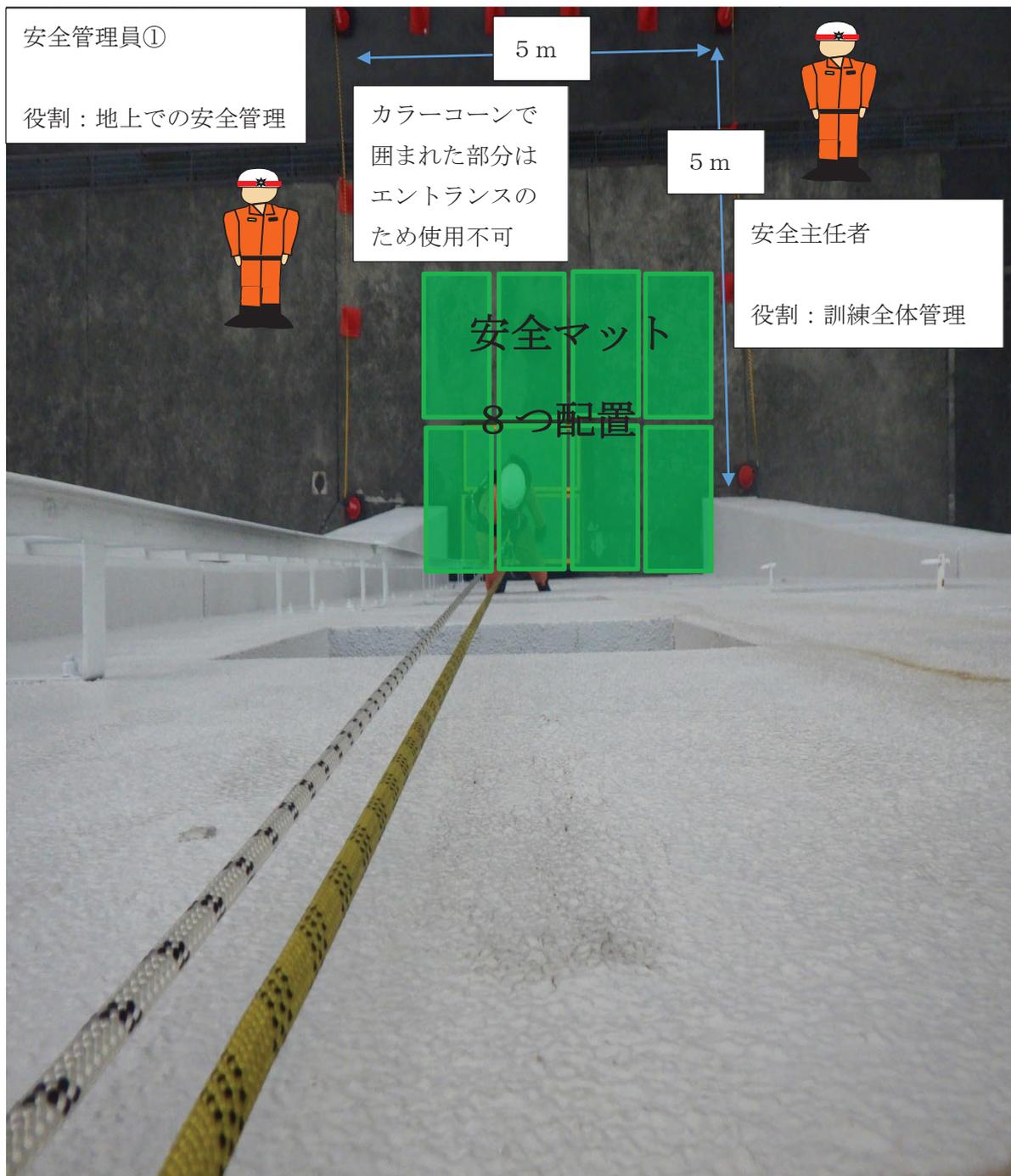
4階、6階の状況及び安全管理員配置詳細



6階の状況及び安全管理配置詳細



安全管理員配置詳細及び安全マット配置詳細



指令書

覚 知 令和6年10月2日(水) 14時55分(第1回)
令和6年10月2日(水) 15時25分(第2回)

災害種別 高所救助

災害場所 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号

指令目標 消防大学校内 高層訓練塔

出動車両 消大救助1、消大ポンプ1、消大救急1 (第1回)
教育支援隊、消大ポンプ1、消大救急1 (第2回)

気象状況 天候：晴れ、風向：南、気温：31℃、平均風速：3.1m/s、相対湿度：50%

異常気象 なし



令和6年10月3日（木）

実施 順位	企画班	想 定	時 間
1	4 班	低所 救助想定訓練	9:25～ 10:40
2	5 班	火災 救助想定訓練	10:45 ～ 12:00
3	7 班	交通 救助想定訓練	13:30 ～ 14:45
4	8 班	高所 救助想定訓練	14:50 ～ 16:05

感謝

～慎独・立腰・覚悟～



沼田 宙【青森県 北部上北広域事務組合】

加藤 健次【長野県 佐久連合消防本部】

大下 圭佑【広島県 呉市消防局】

戸口 温雄【埼玉県 埼玉県消防学校】

田村 和博【京都府 京都中部広域消防組合】

高橋 秀次【福岡県 久留米広域消防本部】

企画総合訓練実施要領

企画：4班
担当：高橋 秀次

1 訓練種別

低所救助

2 訓練目的

本訓練は、低所救助における隊員間の安全管理、現場状況及び要救助者の受傷状況に応じた救出活動を実施することを目的とする。

3 訓練主眼

- (1) 高所作業時の安全管理の徹底
- (2) 支点強度を考慮した活動
- (3) 高リスク受傷機転による傷病者の対応

4 実施日時

令和6年10月3日（木） 9時25分から10時40分まで

5 実施場所

東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
消防大学校 低層訓練塔（別紙1）

6 訓練概要

(1) 事故概要

作業員の30代男性が誤って、地下ピットの約1.1m転落したもの。意識あり、会話可能。腰部痛を主訴、自力歩行不能。3階屋上部分（地上想定）に関係者あり。

(2) 訓練想定

ア 訓練概要をアナウンスした後、出動指令を行う。活動隊は消大救助1（6名）及び消大ポンプ1（3名）とし、現場到着後からの活動開始とする。なお、3階屋上部分を地上とし、3階屋上部分からの活動開始とする。消大ポンプ1については、引き手等のマンパワー要員としての活動のみとする。地下ピットはマット部分のみを活動スペースとする。2階及び3階のベランダは地下部分とするため、入り込みはできないものとする。

イ 要救助者の救出後、全隊員が活動拠点まで退避完了し、訓練終了とする。また、訓練開始から20分を経過した場合においても訓練終了とする。

(3) 災害状況

低所墜落事故

(4) 要救助者情報

30代男性、意識あり、自力歩行不能、腰部痛を主訴。バイタル等は、接触時確認すること。

(5) 出動隊

出動隊	人員	担当班	備考
消大救助1	6	1班（訓練実施班）	車両なし
消大ポンプ1	3	7班（訓練補助班）	
消大指揮1	1	7班（訓練補助班）	
消大救急1	(無線)		

(6) 指揮系統

消大救助1が前進指揮を下命されたもの。消大救助1及び消大ポンプ1以外の隊は現場到着せず、情報共有のみ実施。なお、消防本部及び各隊との無線交信は、消防大学のトランシーバーを使用するものとする。

無線機	台数	無線CH
トランシーバー (黒 2CH)	7	消防波
トランシーバー (赤 3CH)	6	活動波

7 訓練制約

- (1) 消防隊は訓練目的の達成のため、救助活動に対する積極的な活動は行わないこととする。ただし、マンパワーとしての協力はこの限りではない。
- (2) 3階屋上を、地上とし訓練開始場所及び要救助者の救出場所とする。
- (3) 訓練車両は、道路狭隘のため進入不可とし、資器材は3階屋上に集結させておき、訓練を開始する。
- (4) 訓練使用箇所は、別紙2のとおりとする。地下の活動スペースは、安全マット上とする。北側方向へのアクセスのみとする。
- (5) 活動範囲内の支点は、強度確認後使用可能とする。1個の支点の許容過重は1.5knとする。
- (6) 低所環境にあつては、足場は狭隘かつ不安定とする。なお、ガス等のハザード関係はないものとする。

- (7) 動くロープはエッジガード（ハード）、静止ロープはエッジガード（ソフト）もしくは毛布を使用しエッジ保護を行うこと。

8 安全管理対策

- (1) 安全管理主任 1 名、安全管理員 5 名を配置する。
- (2) 安全マットを配置する。（別紙 2）
- (3) 安全管理班は、保安帽（緑色）、ベスト（緑色）及びフルボディハーネスを着用する。
- (4) 高所作業のため、資器材の落下には十分留意すること。
- (5) 安全管理者からの制止の合図（警笛）があった場合には、全ての活動を停止し安全対策が完了後、活動を再開するものとする。
- (6) 安全管理員を上部に 2 名、下部に 3 名配置し、安全管理主任者は全体を監視する。

9 服装及び個人装備

- (1) 消大救助 1、消大ポンプ 1
救助服、フルボディハーネス、保安帽、手袋、編上靴、その他必要な装備
- (2) 安全管理班
救助服、フルボディハーネス（上部安全管理員）、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、警笛、ベスト（緑色）、その他必要な装備
- (3) 企画班
救助服、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、ベスト（企画班用）、その他必要な装備

10 訓練時系列

時間	内容	実施班	訓練 補助班	安全 管理班	検証班
9:25～9:30	準備	1 班	2 班	7 班	8 班
9:30～9:50	訓練				
9:50～10:00	撤収及び準備				
10:00～10:20	訓練	横浜市消防局			
10:20～10:25	撤収				
10:25～10:40	検証	全員			

1 1 訓練小隊編成及び役割分担表

企画班	4班	訓練統制	進行	進行 時間管理	状況付与	要救助者	ナレーション
		高橋	田村	大下	戸口	加藤	沼田
実施班	1班	小隊長	隊員	隊員	隊員	隊員	隊員
		外池	垣内	宮下	梶岡	小林	本間
安全管理班	7班	主任	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員
		赤尾	多田	芳賀	田代	矢代	萩田
訓練補助班	2班	無線	関係者	活動隊 時間管理	消大ポンプ 1 (隊長)	消大ポンプ 1 (隊員)	消大ポンプ 1 (隊員)
		川合	吉川	松村	西村	川谷	平田
検証班	8班	リーダー	検証員	検証員	検証員	検証員	検証員
		岩瀬	海老原	黒川	茂刈	阿部	上田
教育支援隊	横浜市消防局						

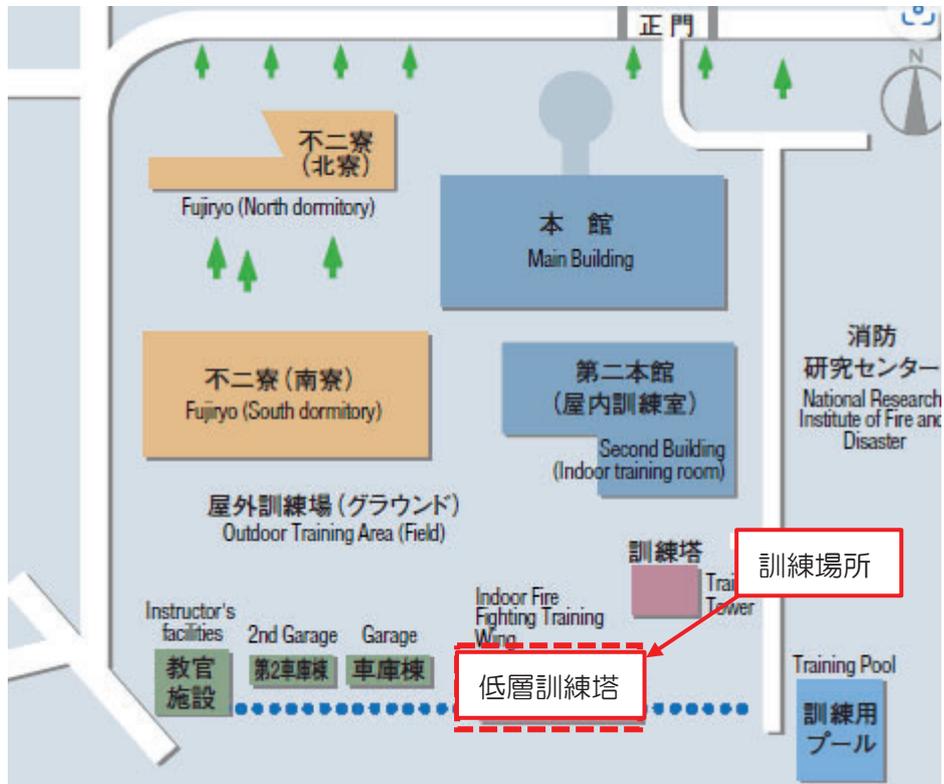
1 2 別紙資料

- (1) 別紙 1 訓練実施場所
- (2) 別紙 2～5 訓練場所及び安全管理員配置図
- (3) 別紙 6 指令書

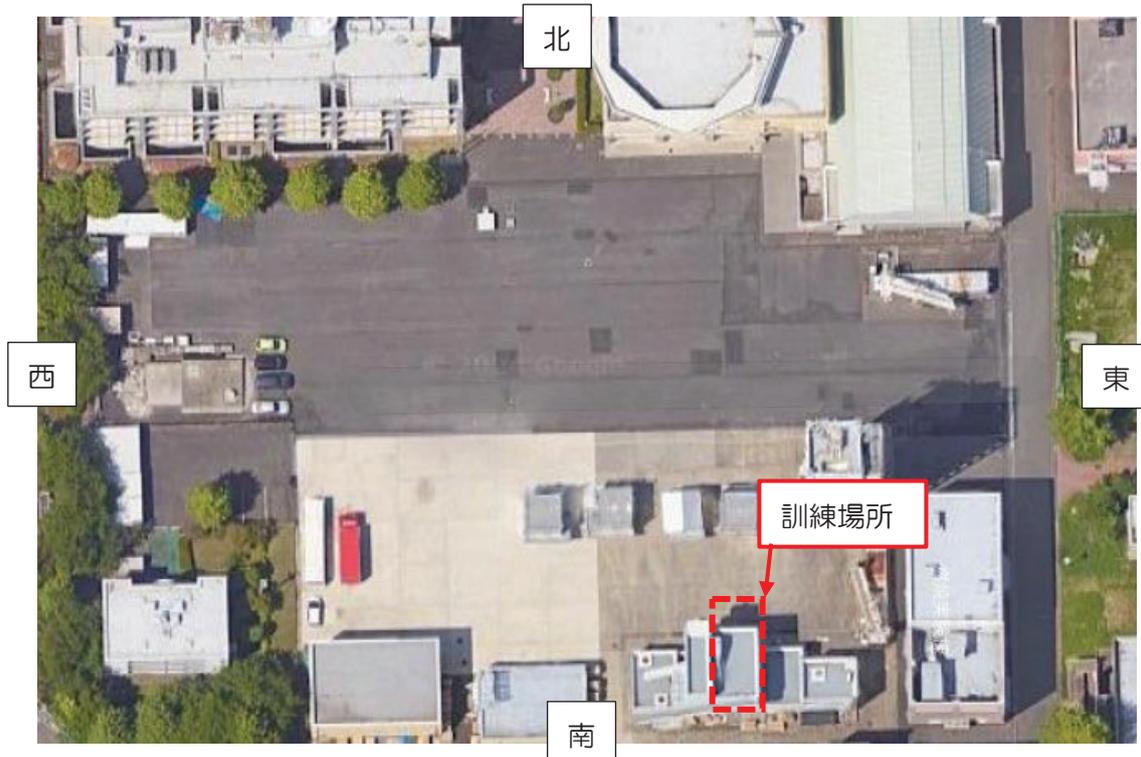
1 3 その他

- (1) 訓練終了後、実施班は継続して指揮を執り、速やかに撤収作業を行うこと。
- (2) 教育支援隊は、実施要領の「消大救助1」を自隊に読み替え実施するものとする。
- (3) 学生は教育支援隊が訓練で使用した資機材については、訓練終了後に教育支援隊の指示のもと撤収等の補助をするものとする。
- (4) 訓練見学者は、訓練見学場所（別紙5）で見学すること（トラテープにて明示）。活動可能エリア内への進入は禁止とする。

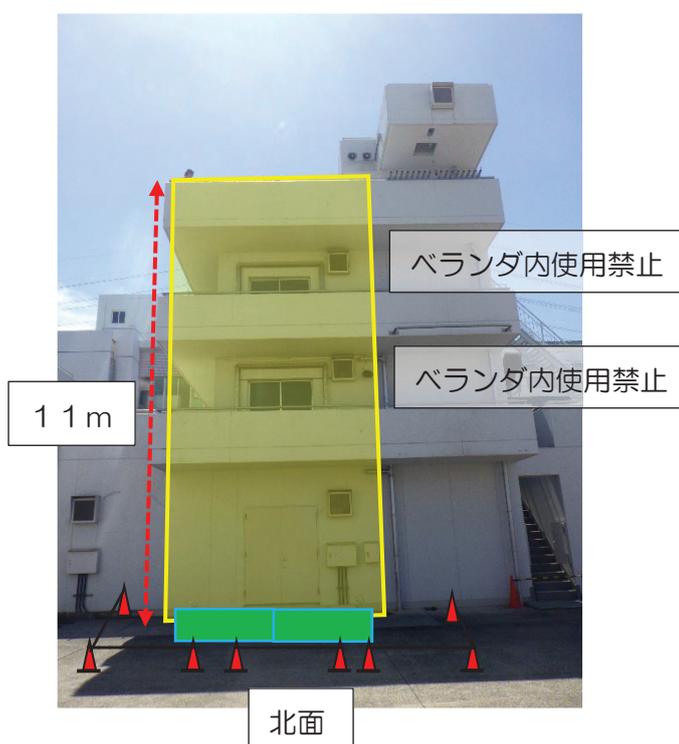
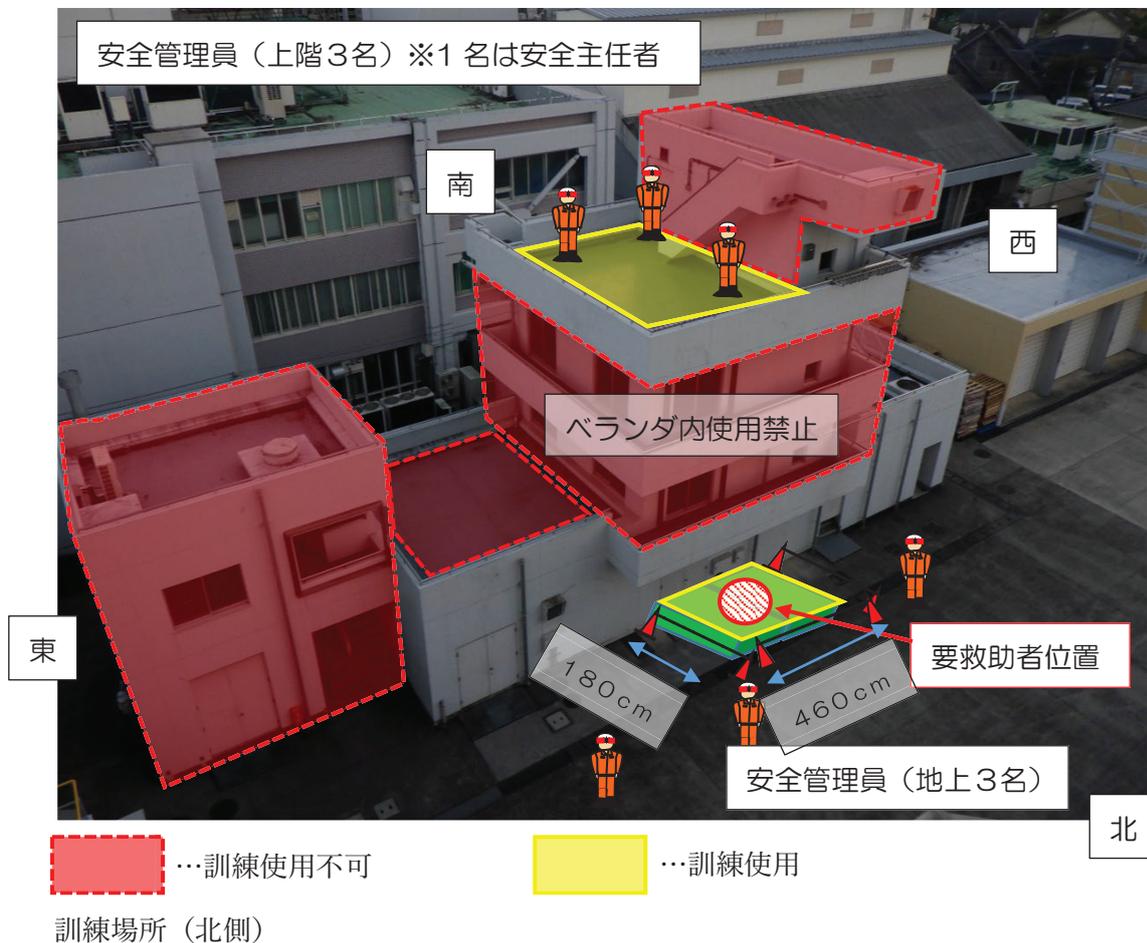
訓練実施場所



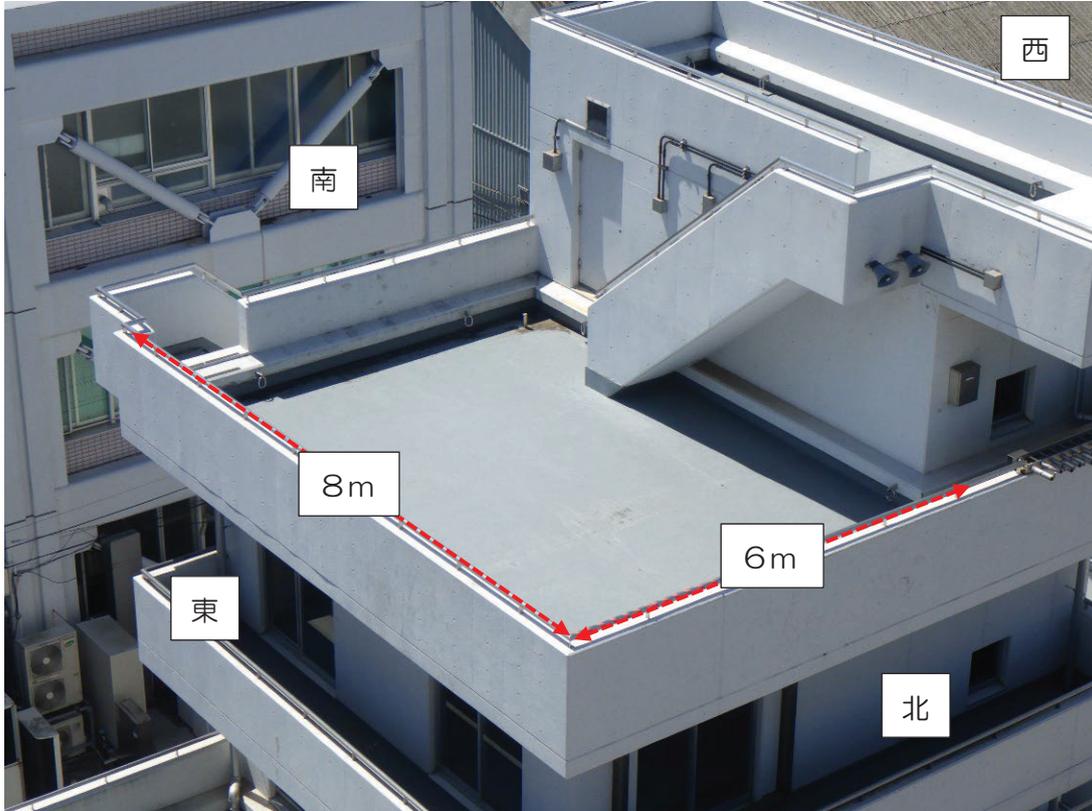
訓練場所及び安全管理員配置図



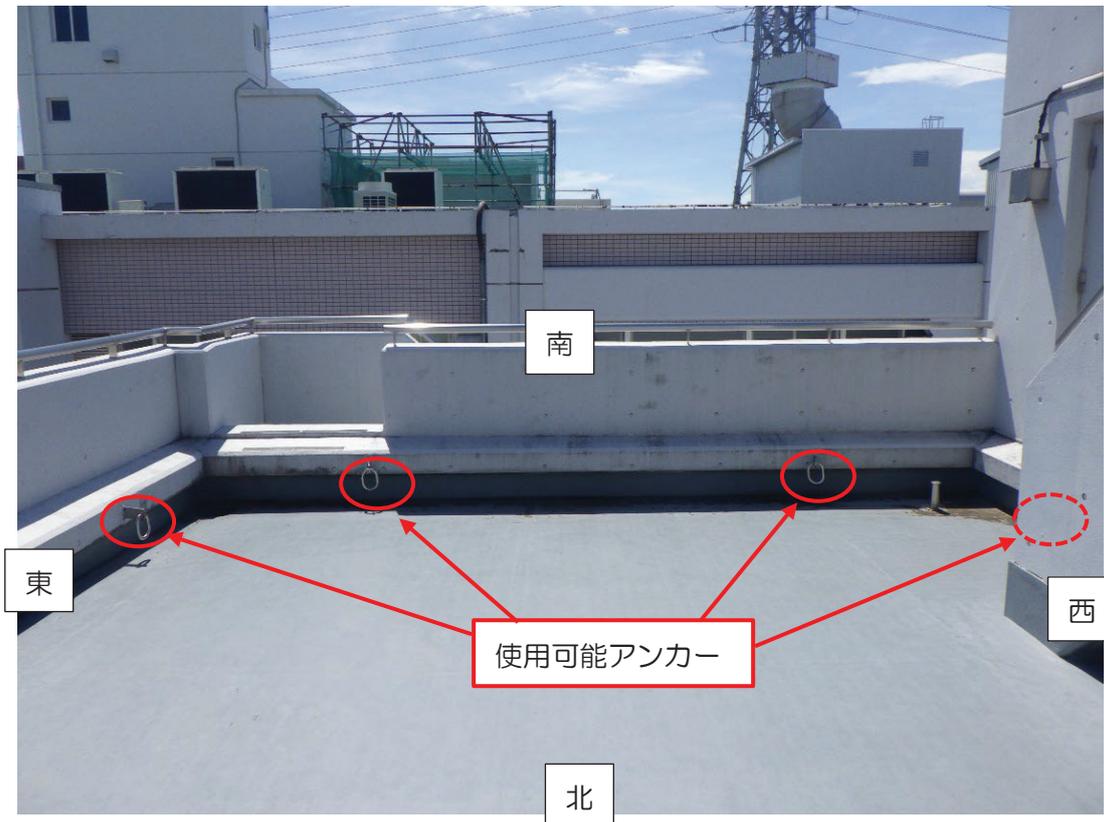
訓練場所（全体図）及び安全管理配置図

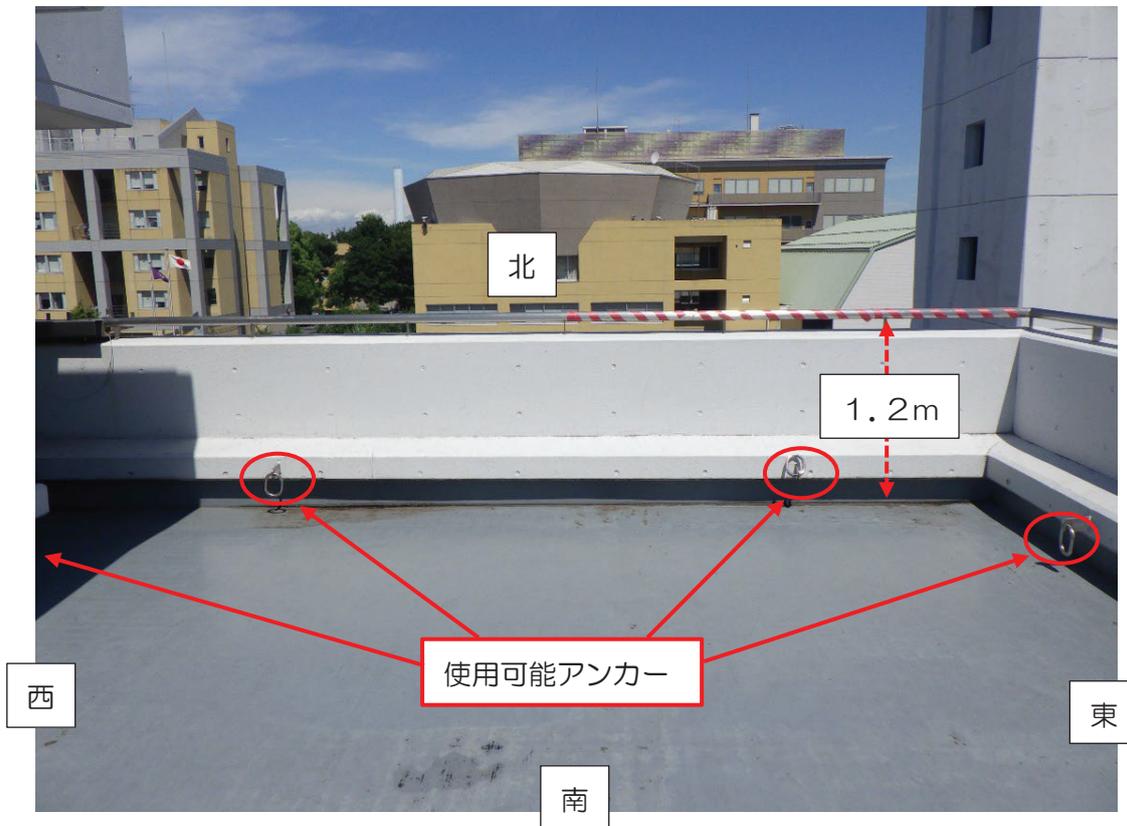


訓練場所（屋上）

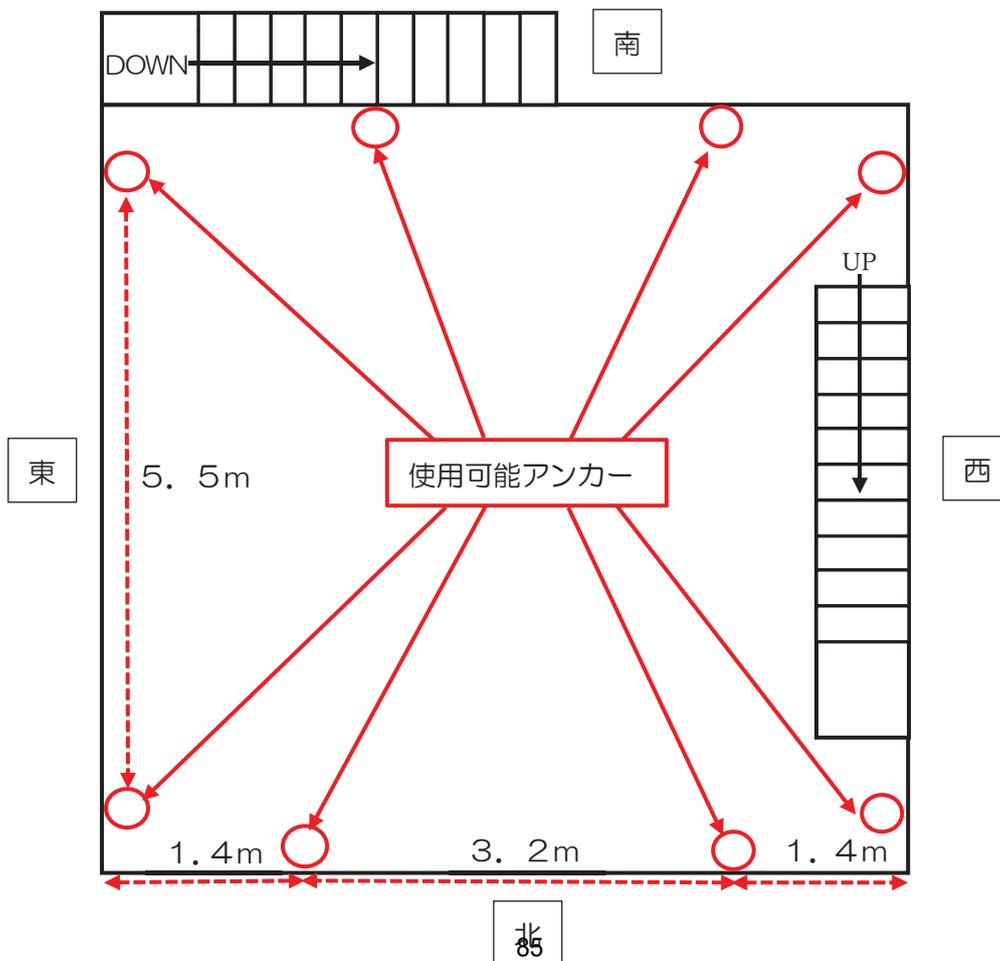


訓練場所（屋上南側）





訓練場所（アンカー配置図）





東

南

西

北

ドローンモニター

配信用モニター



…訓練使用



…見学指定場所

救助科 第89期

企画総合訓練

5班



広島市消防局

村尾 修央

新川地域消防本部

岩田 大樹

市原市消防局

相澤 優

盛岡地区広域消防組合

坂本 豊

伊万里 有田消防本部

大串 栄佑

大阪市消防局

石井 一希

企画総合訓練実施要領

企画：5班

担当：村尾 修央

1 訓練種別

火災救助

2 訓練目的

火災現場における救助活動能力の向上を目的とする。

3 訓練主眼

- (1) 火災対応活動中の消防隊員が負傷した際の、救助活動について
- (2) 効果的な救助活動の検討

4 実施日時

令和6年10月3日（木） 10時45分から12時00分まで

5 実施場所

東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
消防大学校 屋外訓練場 模擬家屋塔（別紙1）

6 訓練概要

(1) 事故概要

建物火災において、消防隊員2名が建物2階で消火活動の為、窓を開放し内部進入開始したところ、バックドラフトに巻き込まれ受傷し脱出不能となったもの。

(2) 訓練想定

ア 木造2/0、2階部分からの出火により、先着消大ポンプ1の隊員2名が消火活動中にバックドラフトに巻き込まれ受傷し、2階部分で脱出不能となったもの。

※付近住民から、建物2階から白煙が上昇しているとの通報。なお、家屋の住人は外出中との情報あり。1階部分は全て施錠されていたため、先着消大ポンプ1が三連梯子を活用し、2階の消火活動のため、窓を開放し内部進入したところバックドラフトに巻き込まれたもの。

イ 全ての救助隊員がGLまで退避完了した時点、もしくは訓練開始から20分を経過した場合に訓練終了とする。

(3) 災害状況

火災救助

(4) 要救助者情報

ア 30代男性（消大ポンプ隊員・重量訓練用人形） JCSⅢ桁 自力歩行不能

イ 50代男性（消大ポンプ隊員・重量訓練用人形） JCSⅢ桁 自力歩行不能

(5) 出動隊

出動隊	人員	担当班	備考
消大救助1	6	3班（訓練実施班）	車両あり
消大ポンプ1	4	6班（訓練補助班）	車両あり

※消大ポンプ4名の内訳として、1名はポンプ機関員、1名は梯子確保要員、2名は受傷隊員（ダミー）と設定する。なお、梯子確保要員は、隊員の登梯・降梯の確保は実施可能だが救出補助は活動不可とする。

(6) 指揮系統

消大指揮1については仮想で出動しているものとし、消大救助1の隊長が活動指揮を執り、消大指揮1との無線交信を実施する。なお、消防本部及び各隊との無線交信は、消防大学のトランシーバーを使用するものとする。

無線機	台数	無線CH
トランシーバー （黒 2CH）	4	消防波
トランシーバー （赤 3CH）	6	活動波

7 訓練制約

- (1) 訓練開始は、訓練時系列とし、実施者は車内で待機し、担当者から指令書を受け取り訓練開始とする。訓練開始前の1分間は車内にて情報共有及び小隊長が活動方針を指示する。
- (2) 2階部分へ三連はしご架梯及びホース設定済み。活動隊も使用可能とする。
- (3) スモークマシンで発煙させ、2階ベランダ側開口部から白煙の噴出及び火炎の現示。
- (4) 2階ベランダ部分への進入は、面体を着装した状態でなければ進入不可。
- (5) 要救助者役のダミーは、防火衣の上にフルボディハーネス及び空気呼吸器を装着させる。
- (6) 空気呼吸器本体（ベルト含む）に要救助者の荷重をかけての救出は禁止。ただし、フルボディハーネスの活用はこの限りではない。
- (7) 救助隊の進入・退出及び要救助者の救出は、2階ベランダのみとし、それ以外の開口部は使用不可とする。
- (8) 建物内に設置されたフック等は使用禁止。

- (9) 要救助者の空気呼吸器を離脱しての救出は不可とする。
- (10) 援護注水等は設定のみとし、実際の放水は行わない。事前設定の分岐片側の使用可能

8 安全管理対策

- (1) 安全主任者1名、安全管理員5名を別紙2のとおり配置させ、特に高所による活動に際しては特段の配慮を図ること。
- (2) 三連はしごの使用時、安全管理員は転倒に留意し、転倒危険がある場合は直ちに停止させること。
- (3) 安全マットを配置し適宜移動すること。
- (4) 安全管理班は、保安帽（緑色）、ベスト（緑色）及びフルボディハーネスを着用する。
- (5) 高所作業のため、資器材の落下には十分留意すること。
- (6) 安全管理員からの制止の合図（警笛）があった場合には、全ての活動を停止し安全対策が完了後、活動を再開するものとする。
- (7) 活動隊員は安全管理員の指示に従うこと。

9 服装及び個人装備

- (1) 消大救助1
防火衣上下、防火帽、防火靴、ケブラー手袋、空気呼吸器、その他必要な装備
- (2) 消大ポンプ1
防火衣上下、防火帽、防火靴、ケブラー手袋、その他必要な装備
- (3) 要救助者
防火衣上下、防火帽、防火靴、ケブラー手袋、空気呼吸器、フルボディハーネス
- (4) 安全管理班
救助服、フルボディハーネス（上部安全管理員）、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、警笛、ベスト（緑色）、その他必要な装備
- (5) 企画班
救助服、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、ベスト（企画班用）、その他必要な装備

10 訓練時系列

時間	内容	実施班	訓練補助班	安全管理班	検証班
10：45～10：50	準備	3班	6班	8班	7班
10：50～11：10	訓練				
11：10～11：20	撤収及び準備				
11：20～11：40	訓練	川口市消防局			
11：40～11：45	撤収				

11:45~12:00	検証	全員			
-------------	----	----	--	--	--

1.1 訓練小隊編成及び役割分担表

企画班	5班	訓練統制	進行	時間管理	状況付与	要救助者	ナレーション
		村尾	大串	坂本	岩田	石井	相澤
実施班	3班	小隊長	隊員	隊員	隊員	隊員	隊員
		青木	西村	福島	佐原	東平	野中
安全管理班	8班	安全管理主任	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員
		黒川	海老原	阿部	芝刈	岩瀬	上田
訓練補助班	6班	リーダー	補助員	補助員	補助員	補助員	補助員
		後藤	宮下	柴田	弘中	岡根	矢島
検証班	7班	リーダー	検証員	検証員	検証員	検証員	検証員
		赤尾	芳賀	多田	田代	矢代	萩田
教育支援隊	川口市消防局						

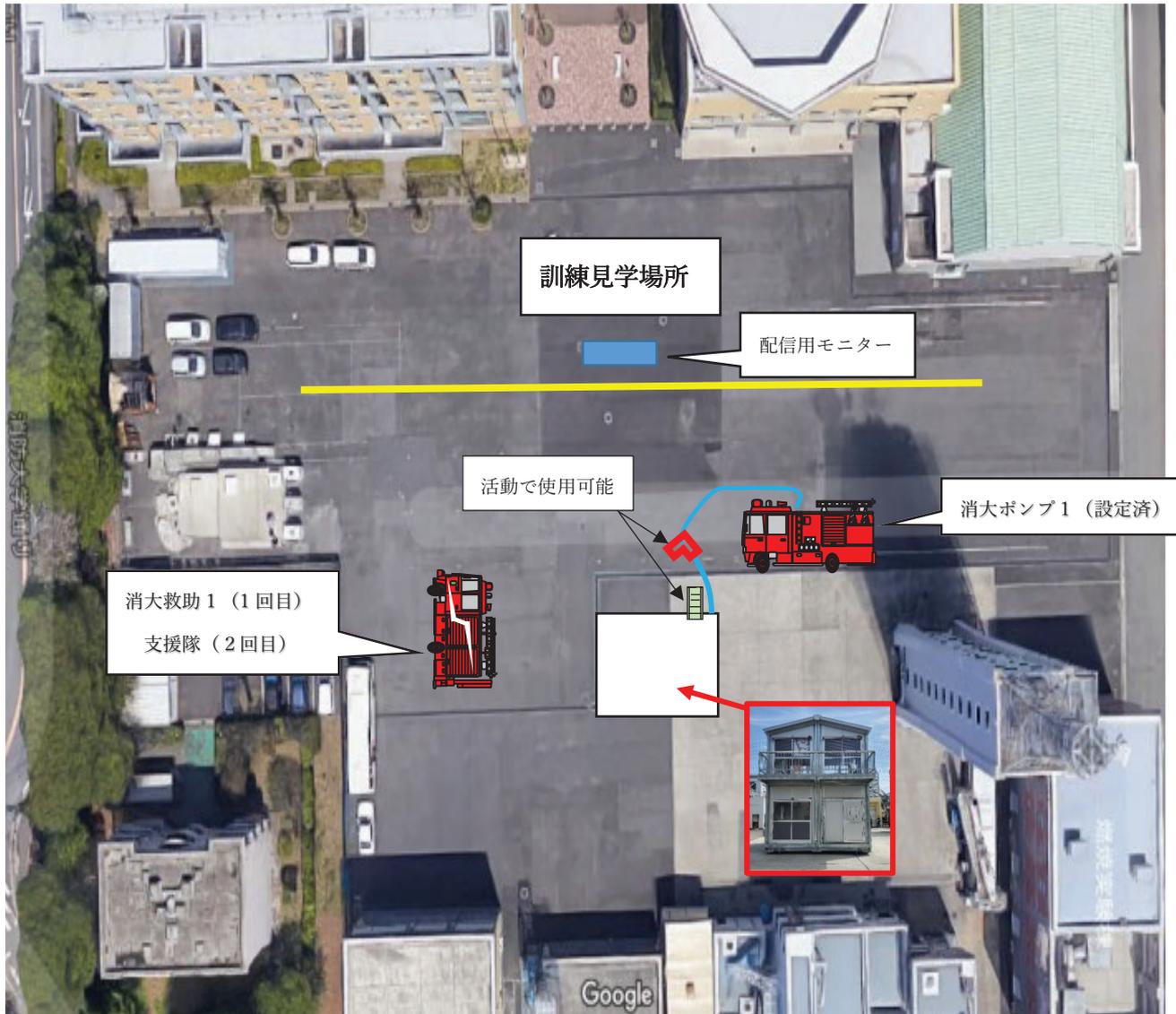
1.2 別紙資料

- (1) 別紙1 訓練場所（詳細図・イメージ図）
- (2) 別紙2 安全管理員配置図 車両待機・部署図
- (3) 別紙3 指令書

1.3 その他

- (1) 訓練終了後、実施班は継続して指揮を執り、速やかに撤収作業を行うこと。
- (2) 教育支援隊は、実施要領の「消大救助1」を自隊に読み替え実施するものとする。
- (3) 学生は教育支援隊が訓練で使用した資機材については、訓練終了後に教育支援隊の指示のもと撤収等の補助をするものとする。
- (4) 訓練見学者は、訓練見学場所（別紙1）で見学すること（トラテープにて明示）。活動可能エリア内への進入は禁止とする。

1 訓練実施場所



2 訓練場所詳細図

写真①（北面）



写真②（西面）



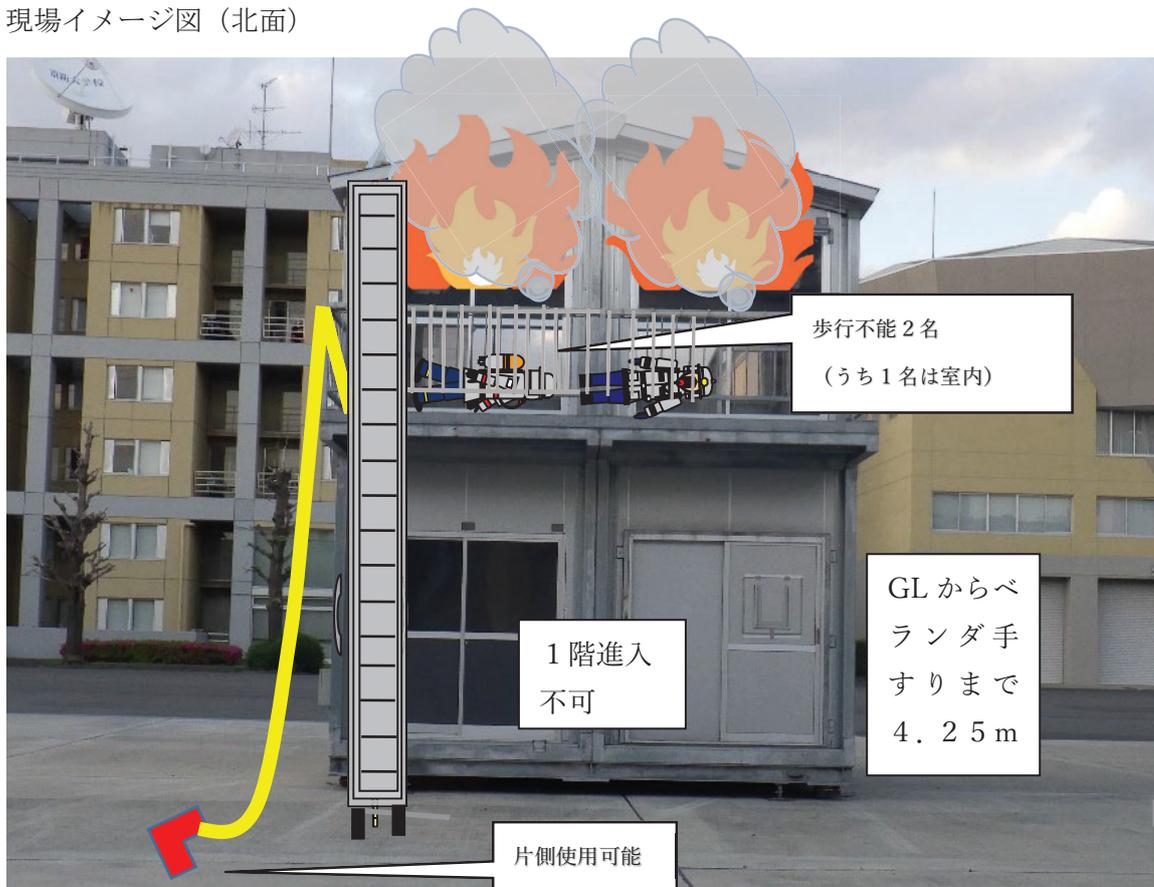
写真③（南面）



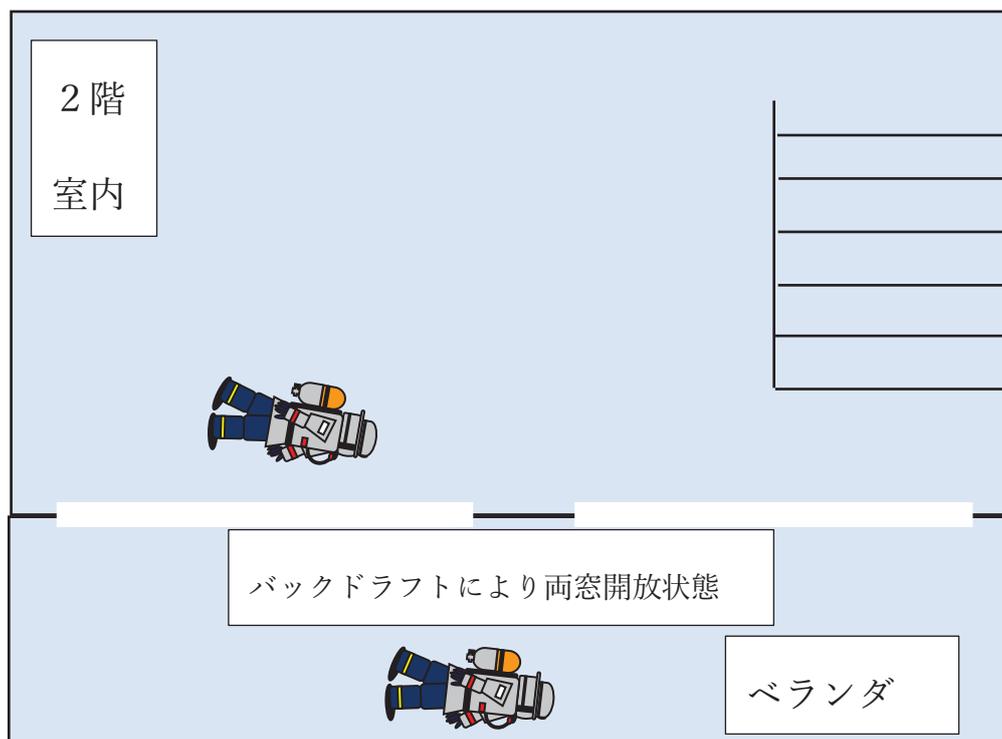
写真④（東側）



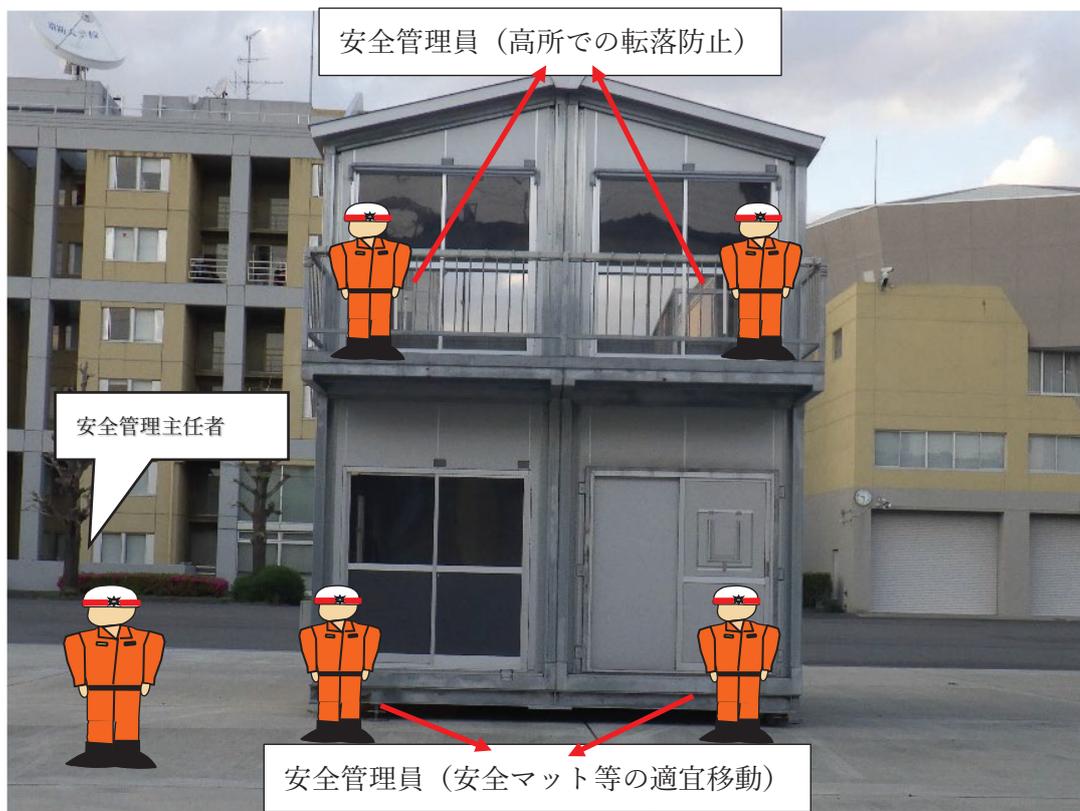
3 現場イメージ図（北面）



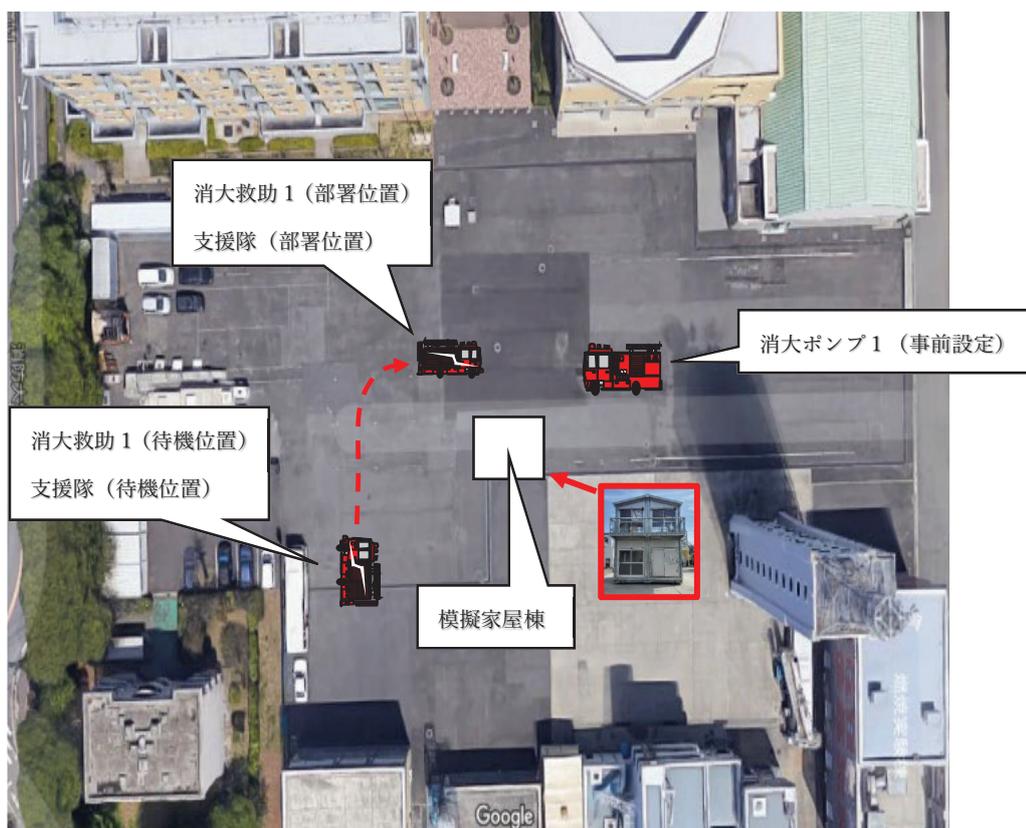
4 要救助者イメージ写真



1 安全管理員配置図



2 車両待機位置、車両部署位置図



指令書

覚 知 令和6年10月3日(木) 10時50分(第1回)
令和6年10月3日(木) 11時20分(第2回)

災害種別 火災救助

災害場所 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号

指令目標 消防大学校内 屋外訓練場 模擬家屋塔

出動車両 消大指揮1(仮想)、消大ポンプ1(部署済)、消大救助1(第1回)
消大指揮1(仮想)、消大ポンプ1(部署済)、教育支援隊(第2回)

気象状況 天候:晴れ、風向:南、気温:25℃、平均風速:2.5m/s、相対湿度:50%

異常気象 なし



企画総合訓練

89th Rescue Team 7

交通救助訓練



赤尾 直哉	【大阪府	大阪南消防局】
多田 裕貴	【岡山県	岡山市消防局】
芳賀 将志	【福島県	いわき市消防本部】
田代 博識	【大分県	由布市消防本部】
八代 興大	【静岡県	熱海市消防本部】
萩田 晃士	【東京都	東京消防庁】



学生企画訓練実施要領

企画：7班

担当：多田 裕貴

1 訓練種別

交通救助

2 訓練目的

本訓練はブラインド型訓練とし、交通救助活動時における的確かつ早期に状況把握をするとともに、安全確実に迅速な活動を目的とする。

3 訓練主眼

- (1) 交通救助活動時における安全管理体制の確立
- (2) 災害実態の早期把握及び早期救出
- (3) 救助隊の要救助者に対する観察要領及び救出順位の決定

4 実施日時

令和6年10月3日（木）13時30分から14時45分まで

5 実施場所

東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
消防大学校 屋外訓練場（別紙1）

6 訓練概要

(1) 事故概要

一般道路（片側一車線）において西進中の普通乗用車が運転中の自転車と衝突、さらに南進中の普通乗用車（対向車）が普通乗用車に乗り上げ要救助者が発生したもの。

(2) 訓練想定

ア 訓練概要をアナウンスした後、出動指令を行う。

イ 普通乗用車と接触した要救助者（自転車）は、跳ね飛ばされ、車両南側の位置に右側臥位でいるもの。

ウ 普通乗用車同士の事故にあつては、B車両（イスト）がA車両（ティアナ）に乗り上げている状態（漏油なし）。

エ 事故時の車両速度はA車両が時速55km、B車両が時速45km。

オ 警察官は消大救助1現着前に、来場済み。事故の状況は、現場を見かけた通行人（立

ち去り) から聴取しており、警察官に状況聴取すると回答することとする。

カ 全ての要救助者を救出し、消大救急1に引き継ぎ、訓練終了とする。また、訓練開始から20分を経過した場合においても訓練終了とする。

(3) 災害状況

交通事故(普通乗用車2台と自転車が絡んだ事故)

(4) 要救助者情報

ア A車両(下)内運転手1名

イ A車両(下)内後部座席1名

ウ B車両(上)内運転手1名

エ 自転車運転手1名

(5) 出動隊

出動隊	人員	担当班	備考
消大救助1	6	2班(訓練実施班)	車両あり
消大タンク1	4	1班(訓練補助班)	車両なし
消大救急1	2		

(6) 指揮系統

消大救助1が最先着とし、その後、消大タンク1、消大救急1が順次現着する。

最先着隊である消大救助1の隊長が指揮を執るものとする。通信センター(無線統制役)及び各隊との無線交信は、消防大学校のトランシーバーを使用するものとする。

無線機	台数	無線CH
トランシーバー (黒 2CH)	4	消防波
トランシーバー (赤 3CH)	6	活動波

7 訓練制約

- (1) A車両(下)には閉じ込め2名、B車両(上)にあっては閉じ込め1名がいるもの。事故車両からの漏油はなし。(別紙3)
- (2) A車両(下)はドアの変形により片側側面からのみ破壊開放し、進入することが可能(窓ガラスを破壊しての進入はなし)。B車両は施錠なし(進入可)。A車両の破壊面については、学生と教育支援隊で片側ずつ分けることとする(現示パウチ設定)。
- (3) 救急隊による観察は実施しない。要救助者の搬送、引継ぎ及び救助隊の支援活動のみ。
- (4) 消防隊は警戒筒先の配備(ホース充水等はなし)及び救助隊の支援活動のみ。(別紙1)。
- (5) 消大タンク1及び消大救急1は実車両を使用しないため、指定した待機場所で待機

するものとする。なお、現着のタイミングは無線統制役が指示する。

- (6) 訓練施設等の使用制限については、現示（現示パウチ）のとおりとする。
- (7) 活動可能エリア（壁及び道路等）を明示する安全マット及びカラーコーン等の移動は禁止とする。
- (8) 事故車両に対し資器材を使用する場合には、訓練終了後に事故車両が自走可能な状態を保つこと。
- (9) 実施班及び訓練補助班は、使用資器材を事前に準備しておくこと。

8 安全管理対策

- (1) 安全主任者1名、安全管理者4名を適宜配置し、訓練中は流動的に移動し安全管理を実施する。 ※安全管理班5名（6班）
- (2) 安全管理者は保安帽（緑色）、救助服、編上靴、手袋及び安全ベスト（緑色）を着用し、配置は別紙2のとおりとする。
- (3) 安全管理者からの制止の合図（警笛及び口頭）があった場合には、全ての活動を停止し安全対策が完了後、活動を再開するものとする。
- (4) 活動隊員は安全管理員の指示に従うこと。
- (5) 事前に活動場所へ破壊活動時の飛散防止として、ブルーシートを設定する。

9 服装及び個人装備

- (1) 消大救助1
救助服、編上靴、ケブラー手袋、保安帽、肘膝パット、ゴーグル、ベスト（救助隊長）、トラメガ、その他必要な装備
- (2) 消大タンク1
防火衣一式、保安帽、ケブラー手袋、その他必要な装備
- (3) 消大救急1
感染防止衣、編上靴、手袋、保安帽、その他必要な装備

10 訓練時系列

時間	内容	実施隊	訓練補助班	安全管理班	検証班
13:30 ~ 13:35	準備	2班	1班	6班	4班
13:35 ~ 13:55	訓練				
13:55 ~ 14:05	撤収及び準備				
14:05 ~ 14:25	訓練	東京消防庁			
14:25 ~ 14:30	撤収				

14:30 ~ 14:45	検証	全員			
---------------	----	----	--	--	--

※訓練状況の設定（事故車両、コーンバー等）は前日及び昼休憩時に実施する。

1.1 訓練小隊編成及び役割分担表

企画班 7班（6名）	訓練統制 （現示）	ナレーション 無線統制	状況付与 現示	状況付与 現示	資機材 警察官	資機材 要救助者
	多田裕貴	矢代興大	田代博識	芳賀将志	赤尾直哉	萩田晃士
実施班 2班（6名）	小隊長	隊員	隊員	隊員	隊員	隊員
	川合隆一	吉川徹	松村圭輔	西村卓	川谷敏史	平田光
安全管理班 6班（6名）	安全主任者	安全管理	安全管理	安全管理	安全管理	
	弘中孝太	岡根正弥	矢島健太郎	宮下英規	後藤友秀	柴田玲
訓練補助班 1班（6名）	リーダー	警戒筒先	消防隊1	消防隊2	救急隊1	救急隊2
	外池学	本間健児	垣内浩二	梶岡俊兵	小林勇司	宮下智彦
検証班 4班（6名）	リーダー	検証員	検証員	検証員	検証員	検証員（記録）
	加藤健次	沼田宙	戸口温雄	田村和博	大下圭佑	高橋秀次
教育支援隊	東京消防庁					

1.2 別紙資料

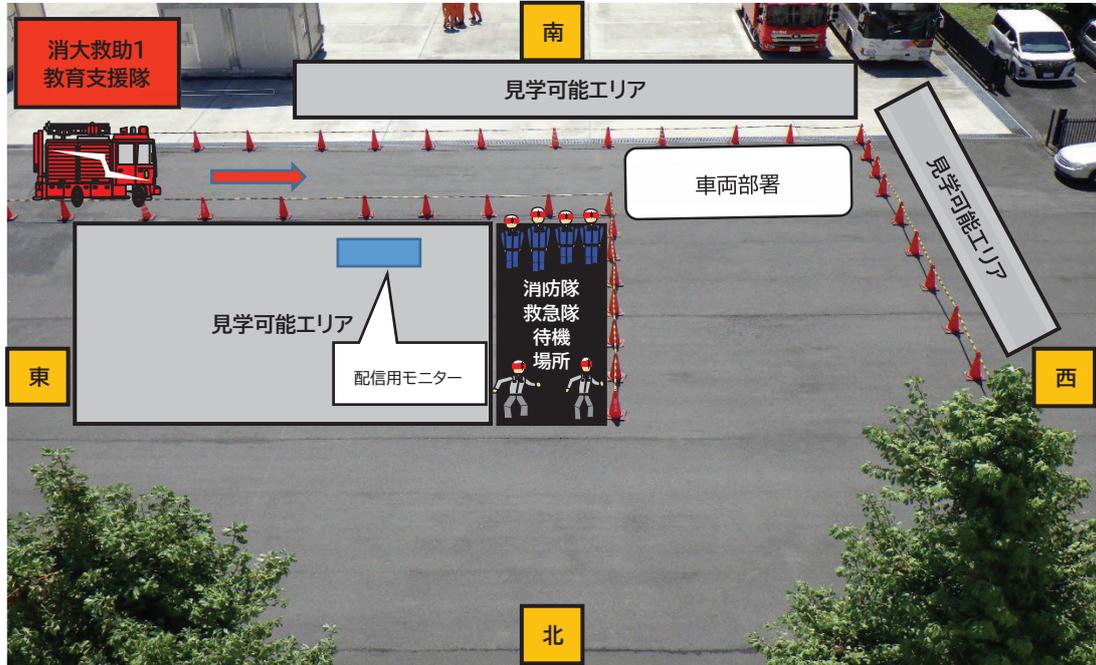
- (1) 別紙1 車両待機位置、車両部署位置図及び安全管理員配置図
- (2) 別紙2 訓練指令書
- (3) 別紙3 災害場所状況図

1.3 その他

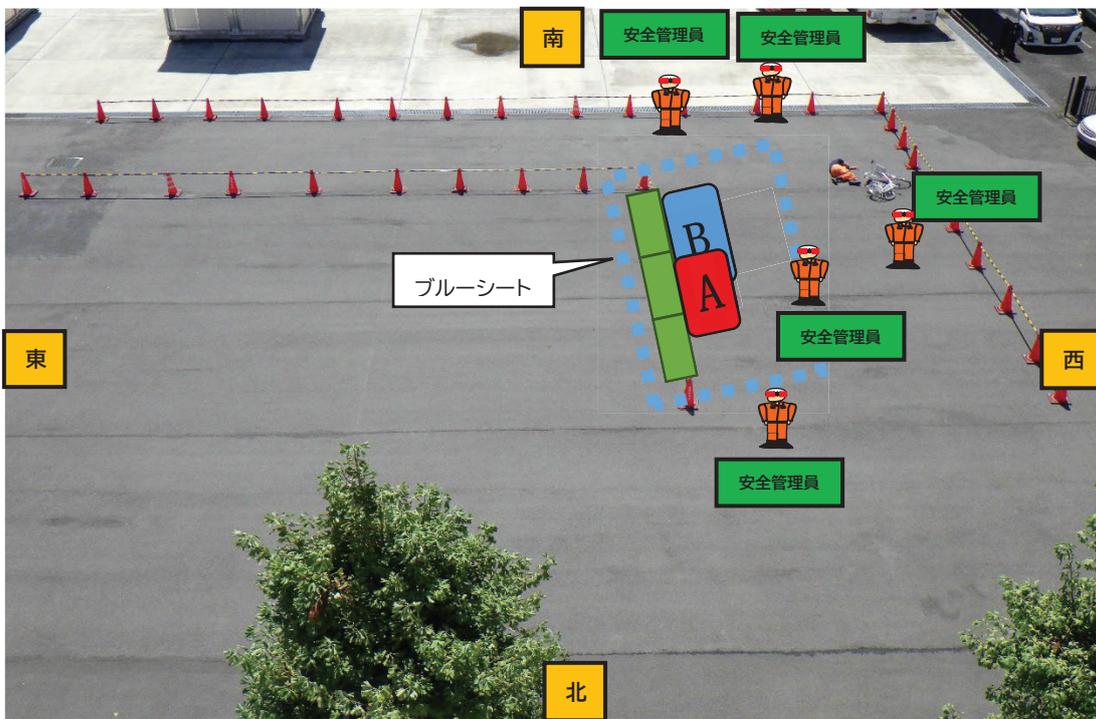
- (1) 訓練終了後、実施班は継続して指揮を執り、速やかに撤収作業を行うこと。
- (2) 教育支援隊は、実施要領の「消大救助1」を自隊に読み替え実施するものとする。
- (3) 学生は教育支援隊が訓練で使用した資器材については、訓練終了後に教育支援隊の指示のもと撤収等の補助をするものとする。
- (4) 訓練見学者は、訓練見学場所（別紙1）で見学すること（トラテープにて明示）。活動可能エリア内への進入は禁止とする。

車両待機位置及び車両部署位置図

※部署位置は参考とする。実施隊により判断してください。

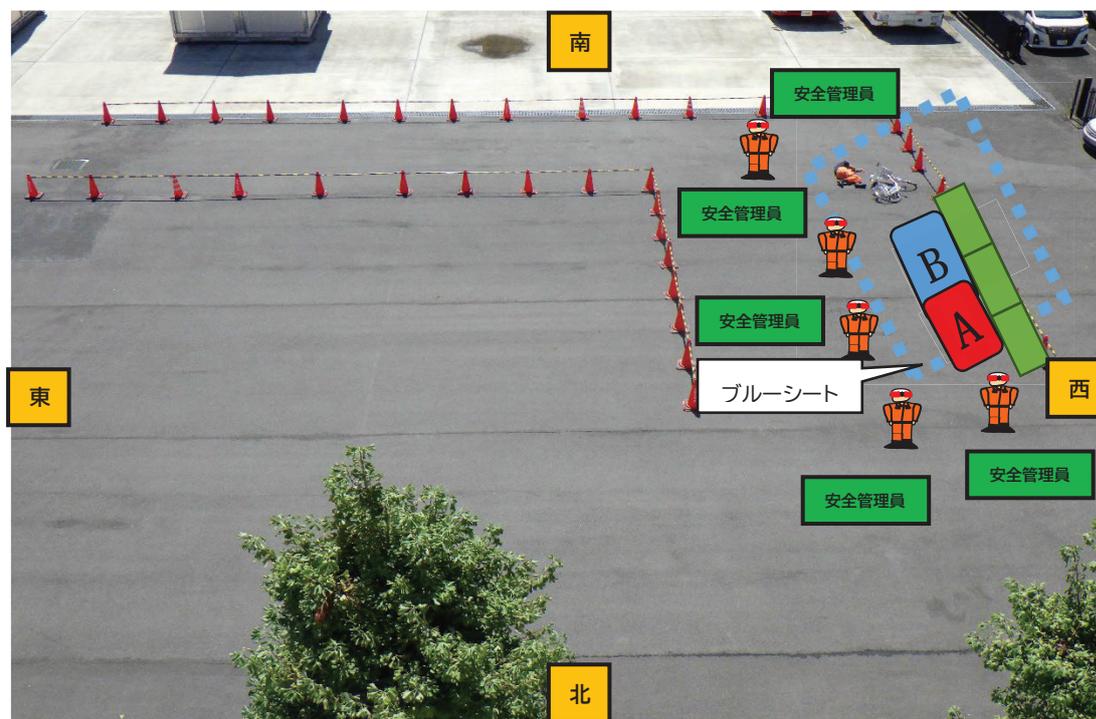


安全管理員配置図（実施班）



安全管理員配置図（教育支援隊）

※想定の都合上、事故車両は実施班と同位置とする。



指令書

覚 知 令和6年10月 3日 13時35分 (第1回目)
令和6年10月 3日 14時05分 (第2回目)

災害種別 救助 (交通救助)

災害場所 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号

指令目標 消防大学校内 訓練場

出動車両 消大救助1、消大タンク1、消大救急1

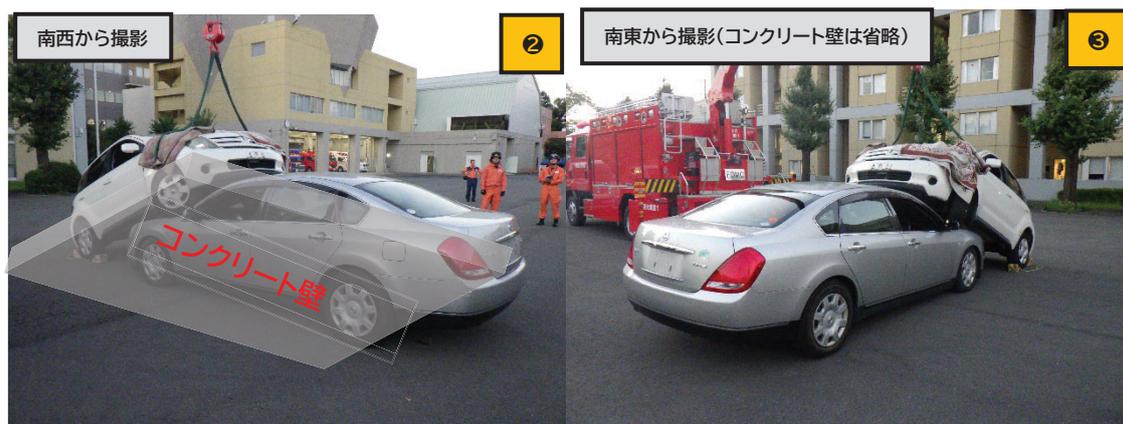
気象状況 天候：晴れ、風向：南、気温：25℃、平均風速：2.5m/s、相対湿度：50%



災害場所状況図（教育支援隊想定）



※訓練使用車両は、写真と同型（ガソリン車）とする。



【訓練制約】

- A車両(下)の片側(運転席 or 助手席)はどちらかに壁を設定する(写真①②参照)
- A車両(下)はドアの変形により片側側面からのみ破壊開放し、進入することが可能(窓ガラスを破壊しての進入はなし)。
- B(上)車両は施錠なし(進入可)。
- A(下)車両の破壊面については、学生と教育支援隊で片側ずつ分けることとする(現示パウチ設定)。



企画総合訓練

救助科第89期 第8班

「高所救出想定」

秋田県 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
阿部 晃治

山口県 下関市消防局 茂刈 正樹

鹿児島県 始良市消防本部 黒川 翔

大阪府 枚方寝屋川消防組合消防本部
上田 陽之

愛知県 衣浦東部広域連合消防局 岩瀬 雅貴

千葉県 成田市消防本部 海老原 誠

～0か100か～

企画総合訓練実施要領

企画：8班
担当：海老原 誠

1 訓練種別

高所救助

2 訓練目的

この訓練は、高所救助活動時において的確に現場状況、要救助者状況を把握するとともに、安全かつ迅速な活動を目的とする。

3 訓練主眼

- (1) 安全管理の徹底
- (2) 迅速と安全のバランス
- (3) 救助資機材の選定方法

4 実施日時

令和6年10月3日（木） 14時50分から16時05分まで

5 実施場所

東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
消防大学校 屋外訓練場 模擬家屋塔（別紙1）

6 訓練概要

(1) 事故概要

2階建て木造店舗兼住宅が土砂崩れに巻き込まれ1階部分が土砂に埋まり、2階部分で要救助者が発生したもの。

(2) 訓練想定

ア 訓練概要アナウンスをした後、出動指令を行う。（別紙7）

イ 消大救助1については、出動車両内で待機し、出動指令後直ちに現着し、活動開始する。消大救急1については、消大救助1車両後方にて待機し、要救助者がGLまで救出された時点で現着する。ただし、訓練の進行度により企画班から指示する場合もある。

ウ 災害地点住宅（ユニットハウス）の2階部分にいる60歳男性1名をGLまで救出後、救急隊に引き継ぎ、隊員が全員脱出した時点で終了とする。また、訓練開始から

20分を経過した場合においても訓練終了とする。

(3) 災害状況

土砂崩れに付随する傷病者（土砂崩れとの直接の関連は無し）の発生。

(4) 要救助者情報

60歳男性、やせ型。通報前は意識あり、接触時はCPA。

(5) 出動隊

出動隊	人員	担当班	備考
消大救助1	6	5班（訓練実施班）	車両あり
消大救急1	3	3班（訓練補助班）	車両なし

(6) 指揮系統

指揮隊については、出動しないため、消大救助1の隊長が指揮を執るものとする。

なお、消防本部及び各隊との無線交信は、消防大学のトランシーバーを使用するものとする。

無線機	台数	無線CH
トランシーバー （黒 2CH）	3	消防波
トランシーバー （赤 3CH）	6	活動波

7 訓練制約

- (1) 土砂崩れの影響により、建物1階及び建物南側、西側、東側は進入不可とする。
- (2) 外からは北側から屋上のみ進入可能とする。
- (3) 2階部分の開口部は南側ベランダの窓のみとする。
- (4) 土砂の上には乗ることはできないものとする。
- (5) 土砂監視員は配置したものとし、訓練実施隊からは出さなくてよい。なお、土砂は安定しており、2次災害のおそれはないものとする。
- (6) 動くロープはエッジガード（ハード）、静止ロープはエッジガード（ソフト）もしくは毛布を使用しエッジ保護を行うこと。

8 安全管理対策

- (1) 安全主任者1名及び安全管理員5名を別紙3及び別紙4のとおり配置する。
- (2) 安全マットの配置については、別紙4のとおりとする。尚、建物北側の安全マットにあつては、訓練中梯子運用時に、安全管理により流動的に配置する。
- (3) 高所作業のため、資器材の落下には十分留意すること。
- (4) 安全管理班は、保安帽（緑色）、ベスト（緑色）及びフルボディハーネスを着用する。
- (5) 安全管理員からの制止の合図（警笛）があった場合には、全ての活動を停止し安全対

策が完了後、活動を再開するものとする。

(6) 活動隊員は安全管理員の指示に従うこと。

9 服装及び個人装備

(1) 消大救助1

救助服、保安帽、フルボディハーネス、編上靴、手袋、その他必要な装備

(2) 消大救急1

救助服、保安帽、編上靴、手袋、その他必要な装備

(3) 安全管理班

救助服、フルボディハーネス（上部安全管理員）、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、警笛、ベスト（緑色）、その他必要な装備

(4) 企画班

救助服、保安帽（緑色）、手袋、編上靴、ベスト（企画班用）、その他必要な装備

10 訓練時系列

時間	内容	実施班	訓練 補助班	安全 管理班	検証班
14:50~14:55	準備	5班	3班	4班	6班
14:55~15:15	訓練				
15:15~15:25	撤収及び準備				
15:25~15:45	訓練	つくば市			
15:45~15:50	撤収	消防本部			
15:50~16:05	検証	全員			

11 訓練小隊編成及び役割分担表

企画班	8班	訓練統制	進行 ナレーション	時間管理	現示員 関係者	現示員 消大本部	全体補助
		海老原誠	阿部晃治	黒川翔	茂刈正樹	上田陽之	岩瀬雅貴
実施班	5班	小隊長	隊員	隊員	隊員	隊員	隊員
		相澤優	坂本豊	岩田大樹	石井一希	村尾修央	大串栄佑
安全管理班	4班	安全管理 主任	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員	安全管理員
		戸口温雄	沼田宙	加藤健次	田村和博	大下圭佑	高橋秀次
訓練補助班	3班	小隊長	隊員	隊員	安全管理 補助	安全管理 補助	安全管理 補助
		佐原通祐	野中拓朗	福島大輔	東平敬弘	青木涼平	西村 正也

検証班	6班	リーダー	検証員	検証員	検証員	検証員	検証員
		後藤友秀	柴田玲	矢島健太郎	宮下英規	弘中孝太	岡根正弥
教育支援隊	つくば市消防本部						

1.2 別紙資料

- (1) 別紙1 訓練実施場所、車両位置
- (2) 別紙2 災害場所イメージ図
- (3) 別紙3 訓練場所及び訓練制約図
- (4) 別紙4 安全管理員、マット配置図
- (5) 別紙5 2階の内部の状況
- (6) 別紙6 屋上の状況
- (7) 別紙7 指令書

1.3 その他

- (1) 訓練終了後、実施班は継続して指揮を執り、速やかに撤収作業を行うこと。
- (2) 教育支援隊は、実施要領の「消大救助1」を自隊に読み替え実施するものとする。
- (3) 学生は教育支援隊が訓練で使用した資機材については、訓練終了後に教育支援隊の指示のもと撤収等の補助をするものとする。
- (4) ドローンによる撮影はユニットハウス屋上の活動を中心に行う。
- (5) 訓練見学者は、訓練見学場所（別紙1）で見学すること（トラテープにて明示）。活動可能エリア内への進入は禁止とする。

訓練実施場所、車両位置



1 災害場所イメージ図



訓練建物

土砂 (進入不可)

山 (進入不可)

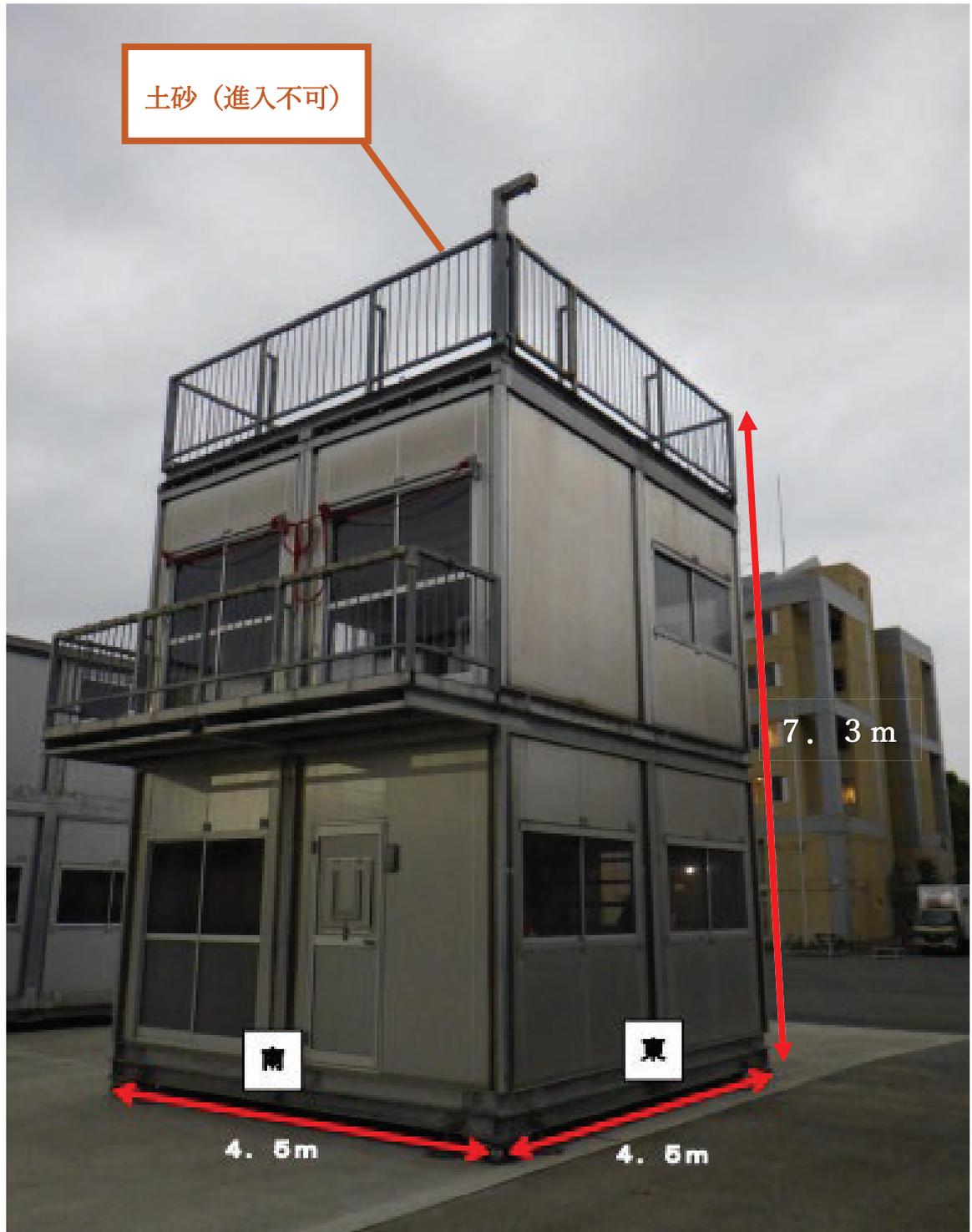
2 訓練場所を災害場所イメージ図と重ねたもの

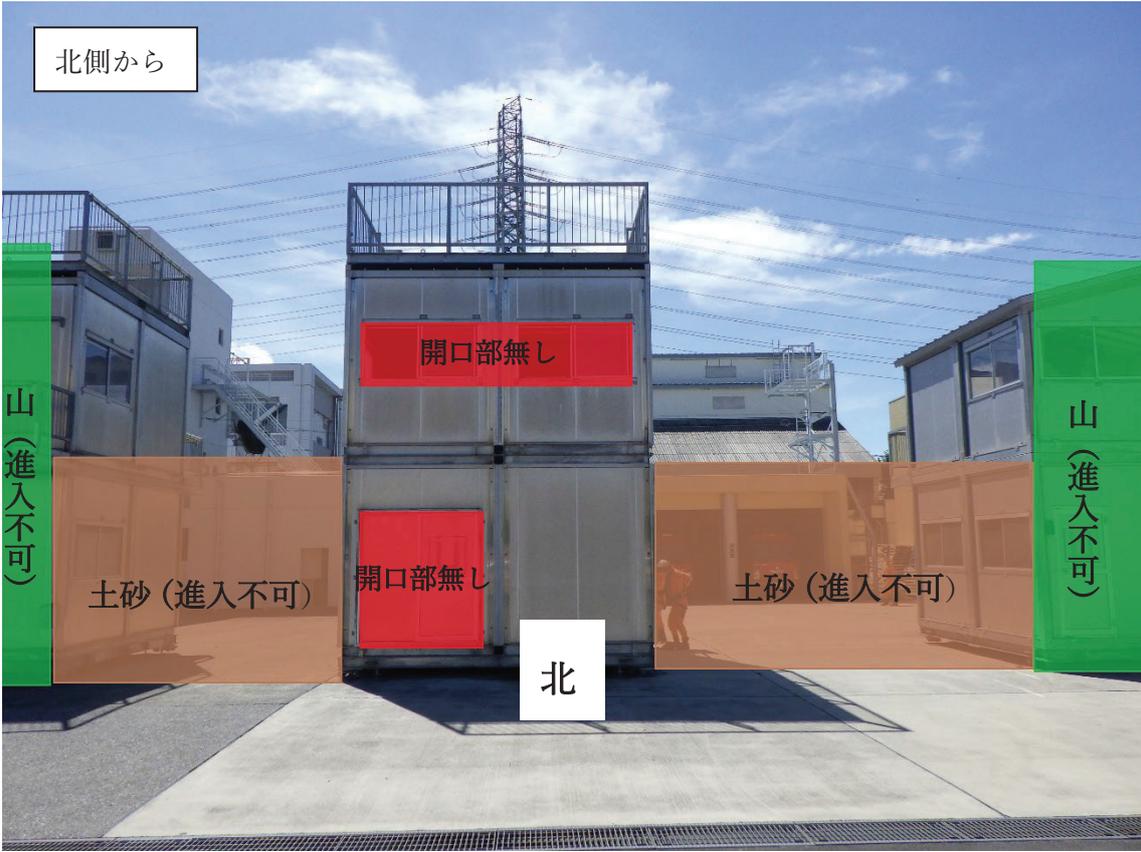


訓練建物

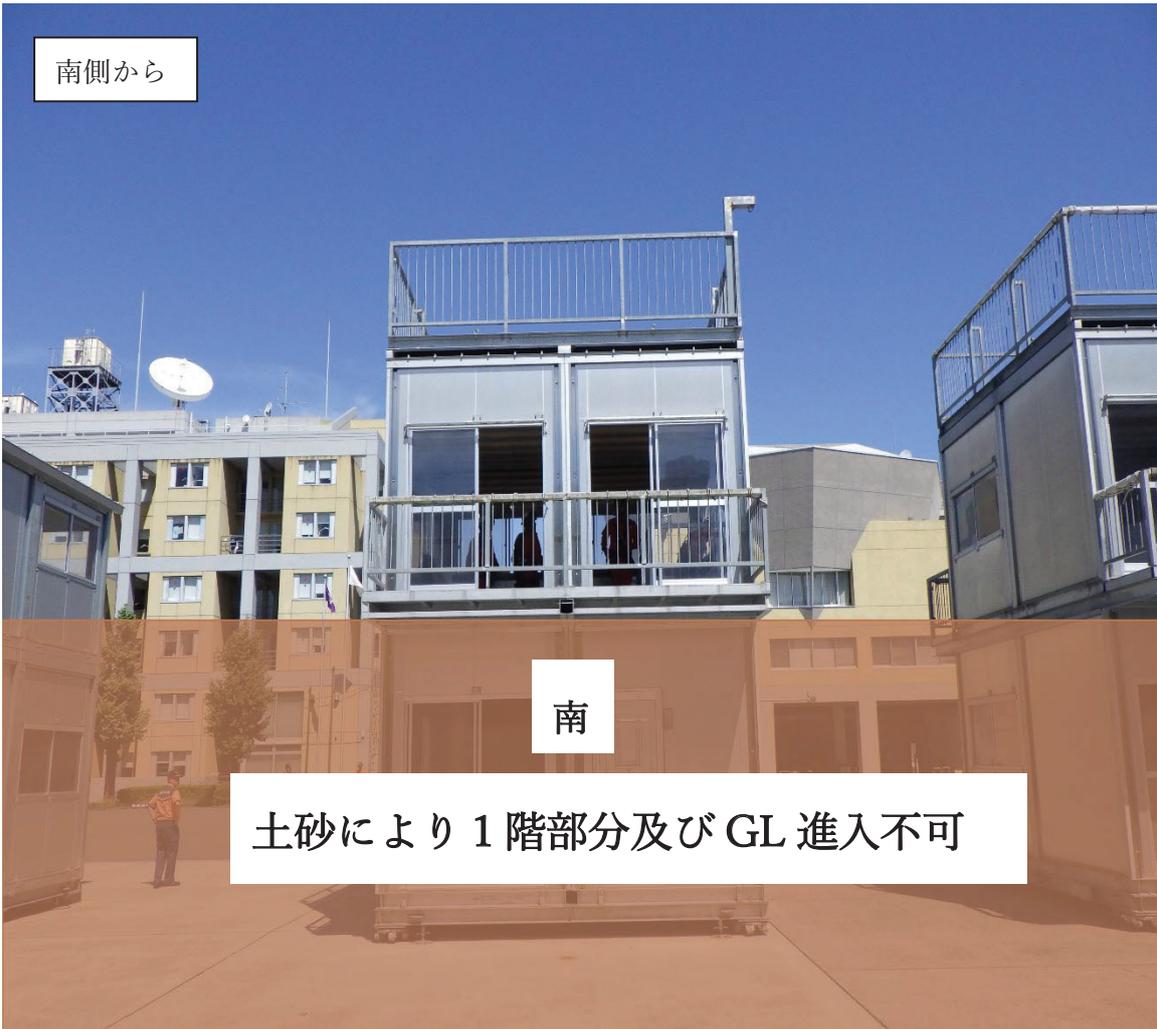
山 (進入不可)

訓練場所及び訓練制約図





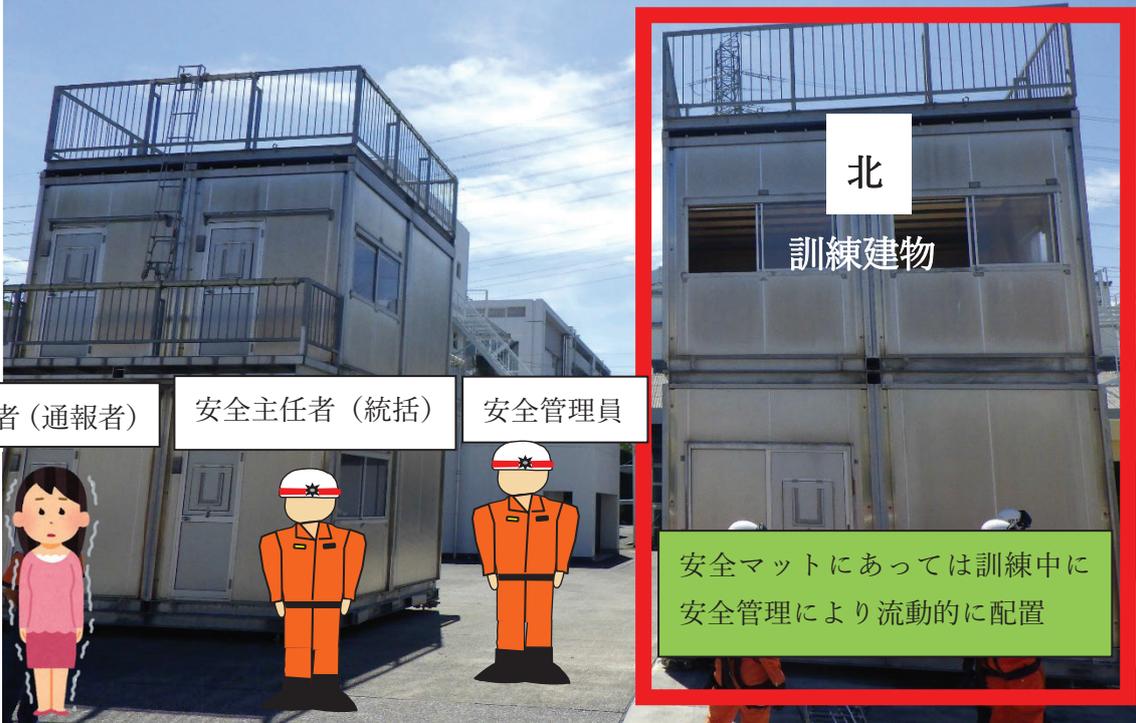
南側から



南

土砂により 1 階部分及び GL 進入不可

北側から



南側から



2 階内部の状況





指令書

覚 知 令和6年10月3日(木) 14時55分(第1回)
令和6年10月3日(木) 15時25分(第2回)

災害種別 高所救助

災害場所 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号

指令目標 消防大学校内 屋外訓練場ユニットハウス

通報内容 60歳男性。土砂崩れの影響により家の2階に閉じ込められている。通報前に電話で話したが、すごく具合が悪そうだったと娘からの通報。

出動車両 消大救助1、消大救急1 (第1回)
教育支援隊、消大救急1 (第2回)

気象状況 天候：晴れ、風向：南、気温：35℃、平均風速：2.5m/s、相対湿度：70%

異常気象 なし



最後に・・・

令和6年1月1日 能登半島沖地震で被災された方々がいち早く日常へ戻れるよう救助科第89期一同祈ると共に、少しでも力になれるようこれからも尽力していきます。

～ 全ての要救助者を救う為に ～

消防大学校 救助科 第89期 一同

訓練映像配信について

【注意事項】

YouTube における限定公開のため、以下の URL 若しくは二次元コードからのみアクセス可能です。

訓練日によってリンク先が異なります。

10月2日

URL

<https://youtube.com/live/V90KG0xlUCU?feature=share>

二次元コード



10月3日

URL

<https://youtube.com/live/WXjWiEnMXfo?feature=share>

二次元コード



※いずれも訓練実施中のみ視聴可(視聴数制限なし。)

